

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教 科： 国語 科 目： 論理国語 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ 新編論理国語 東京書籍 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 文章を正確に理解し、語彙力や文法の知識を駆使して、論理的な文章を構築する能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 文章に対して批判的・創造的に思考し、論理的に自分の意見を表現する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学び、他者との協同作業や意見交換を通じて、社会で必要とされるコミュニケーション能力や感受性を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元1 読む 豊かさと生物多様性 【知識及び技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できるようにする。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできるようにする。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する力を育成する。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する力を育成する。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深める力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く叙述に基づいて筆者の主張を的確に捉え、生物多様性の重要性と課題について、学習課題に沿ってまとめ、理解を深めようとする姿勢を育む。	1 三つの意味段落で述べられている筆者の考えを押さえながら、本文を通読する。（手引き1） 2 本文について、「情報の問い」「意味の問い」「論証の問い」を意識しながら質問を考え、まとめる。（論理の力） 3 生物多様性を大切にするうえで必要な発想について、具体的に読み取り、まとめる。（手引き2） 1 多様な生物によって作られている生態系を大切に考える考え方について読み取り、まとめる。（手引き3） 2 生物多様性保全の課題として挙げられている「南北問題」の内容を読み取り、まとめる。（手引き4） 3 生物多様性についての「質と量」の問題と、それに対する筆者の考えについて読み取り、まとめる。（手引き5） 1 筆者の考える、生物多様性を大切にするために必要なことをまとめる。 2 生物多様性を大切にするために必要なことについて、考えたことを話し合う。（手引き6） 1 「『真の価値』を求めて」を通読し、「豊かさと生物多様性」の筆者が何に価値を見いだしているのか、本文から読み取り、まとめる。（考える楽しみ②……「『真の価値』を求めて」） 2 現代という時代に、何に価値があると思うか、考えたことについてまとめる。	【知識・技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く叙述に基づいて筆者の主張を的確に捉え、生物多様性の重要性と課題について、学習課題に沿ってまとめ、理解を深めようとしている。	○	○	○	7
単元2 読む カフェの開店準備 【知識及び技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できるようにする。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできるようにする。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する力を育成する。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉える力を育成する。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く具体例を通して筆者の思考をたどることでもその考えを理解し、学習課題に沿って自分の経験を振り返って日常生活の在り方についてまとめ、話し合おうとする姿勢を育む。	1 本文を通読して、話の進め方について気づいたことを発表する。（手引き1） 2 具体例を挙げて説明している部分を指摘する。（論理の力） 3 第一・二段に書かれている「喫茶店の開店準備」を巡っての筆者の考えを理解する。（手引き2-1） 1 楽器の演奏に関する考察について理解する。 2 「現在」「過去」「未来」も含め）というものについての筆者の考えを理解し、そのことについて話し合う。（手引き2-2） 3 「行為の習慣化」について、筆者の考えをもとにして考える。（手引き2-3） 1 「痕跡の残らない行為」に対する筆者の考えを理解し、そのことについてどう思うかを話し合う。（手引き3） 2 日常生活の在り方について考え、四百字程度の文章にまとめ、話し合う。（言語活動） 3 「紛らわしい漢字」を通読し、識別の方法を理解した後、間違えやすい熟語や同音異義語の例についても併せて確認する。（言葉の扉③……紛らわしい漢字）	【知識・技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できている。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く具体例を通して筆者の思考をたどることでもその考えを理解し、学習課題に沿って自分の経験を振り返って日常生活の在り方についてまとめ、話し合おうとしている。	○	○	○	7
単元3 中間調査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1

単元4 読む 物語の外から 【知識及び技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できるようにする。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできるようにする。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する力を育成する。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に筆者が述べる「自己」と「物語」の関係を探え、学習課題に沿って「語る」ことの本質について、自分の体験と結び付けながら考えをまとめ、理解を深めようとする姿勢を育む。	1 二人の「語り」の場面で筆者が感じたことに注意しながら、本文を通読する。（手引き1） 2 本文について、「情報の問い」「意味の問い」「論証の問い」を意識した質問を考え、まとめる。（論理の力） 1 筆者の考える、語り部の男性が「一言も出せなくなり、ただ狼狽して、黙り込んでしまった」理由を読み取り、まとめる。（手引き2） 2 第一段の語り部の男性と、第二段の語り部の女性の行動や様子をまとめ、「語り」について理解する。（手引き3） 1 「物語」と「自己」との関係を理解する。（手引き4） 2 「自己」というものはさまざまな物語の寄せ集めである。」について理解する。（手引き5）	【知識・技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に筆者が述べる「自己」と「物語」の関係を探え、学習課題に沿って「語る」ことの本質について、自分の体験と結び付けながら考えをまとめ、理解を深めようとしている。	○	○	○	7
単元5 読む 言葉は「ものの名前」ではない 【知識及び技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できるようにする。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできるようにする。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する力を育成する。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する力を育成する。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く具体例をもとに言語と認識の関係についての筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って言葉の働きについて考えをまとめ、話し合おうとする姿勢を育む。	1 言葉と「もの」の関係に注意しながら、本文を通読する。（手引き1） 2 第一段を読んで、「ギリシャ以来の伝統的な言語観」がどのようなものかを理解する。（手引き2） 1 第二段第一節を読んで、「羊」や「devilish『悪魔の魚』」の例をもとに、「ギリシャ以来の伝統的な言語観」の問題点を理解する。（手引き3） 2 第二段第二節を読んで、具体例をもとに、言葉の「意味の幅」がどのように決まるのかを確認し、「もの」と言葉の関係を理解する。（手引き4・5） 1 ソシュールの言語観をまとめる。（手引き6） 2 本文で、筆者は言語についてのどのような考えに反対しているのか、まとめる。（論理の力） 1 日本語と英語の場合について、筆者の考えを表す具体例を、本文以外の例で考え、話し合う。（言語活動）	【知識・技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く具体例をもとに言語と認識の関係についての筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って言葉の働きについて考えをまとめ、話し合おうとしている。	○	○	○	6
単元6 期末考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
単元7 読む 鏡としてのアンドロイド 【知識及び技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できるようにする。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできるようにする。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する力を育成する。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する力を育成する。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで話題に注意して文章を読み、今までの学習を生かして筆者の研究を踏まえた人間に対する考えを理解したうえで、自分の意見を述べようとする姿勢を育む。	1 取り上げられている話題に注意して、本文を通読する。（手引き1） 2 本文について、「情報の問い」「意味の問い」「論証の問い」を意識しながら質問を考える。（論理の力） 3 「技術開発」にもたらす「新たな意味」とは何かを読み取る。 1 「それが自分の脳であることは論理的には理解できる」とは、どのようなことか、読み取る。（手引き2） 2 「他人は、自分を映しだす鏡のようなものだ」とは、どのようなことか、読み取る。（手引き3） 3 「乏しい表情」と「止まったアンドロイドのような完全な無表情」とは、どのように違うのか、違いをまとめる。（手引き4） 4 「私の研究は自虐的かもしれない。」とあるが、どのような点が「自虐的」だというのか、読み取る。（手引き5） 5 「心は自分と他人を取り巻くさまざまな状況の中に分散している」とは、どのようなことか、読み取る。（手引き6） 6 「人間についての根本的な疑問」と「創造的な活動」との関係を読み取る。 <第3時> 1 「何かを作りだす」ことについての筆者の考えを読み取る。 2 筆者の考えを参考にしながら、「何かを作ること」とは、どのようなことであると考えられるか、話し合う。（言語活動）	【知識・技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで話題に注意して文章を読み、今までの学習を生かして筆者の研究を踏まえた人間に対する考えを理解したうえで、自分の意見を述べようとしている。	○	○	○	7

2 学 期	単元8 読む 科学的「発見」とは 【知識及び技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できるようにする。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできるようにする。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する力を育成する。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文中で挙げられた事例を根拠に、筆者の述べる「観察」という行為の在り方を理解するとともに、自分の体験と結びつけて考えようとする姿勢を養う。	1 一段落を読み、筆者の問題提起を捉える。 2 事例1を通して、筆者が主張したいことを理解する。 3 事例2を通して、筆者が主張したことを理解する。 4 問題提起に対する筆者の主張を理解する。	【知識・技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文中で挙げられた事例を根拠に、筆者の述べる「観察」という行為の在り方を理解するとともに、自分の体験と結びつけて考えようとしている。	○	○	○	7
	単元9 中間考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	単元10 読む ロボットが隣人になるとき 【知識及び技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できるようにする。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできるようにする。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する力を育成する。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する力を育成する。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に筆者の哲学的な思考を、「自由意志を持ったロボットを作ることができる」ことが可能か否かを考えることを通して理解し、学習課題に沿って人間の意志や自由について考えを深め、意見を述べようとする姿勢を育む。	1 「意志」「自由」という言葉の意味に注意しながら、本文を通読する。(手引き1) 2 「この問いは、単純な技術の問題ではない。」とあるが、なぜそういえるのかを読み取る。(手引き2) 3 「近年のAIの発展はこのイメージを崩しつつある。」とは、どのようなことかを読み取る。(手引き3) 1 「『意志』と『欲求』を比較してみよう。」とあるが、意志と欲求はどのように異なるのか読み取り、まとめる。(手引き4) 2 「『意志』というのは約束に似ている」(P223・3)と筆者が考えるのはなぜか、読み取る。 3 「ロボットは社会的な存在になれるだろうか。」(P224・5)という問いに対する筆者の考えを読み取る。 1 「そうはならないだろう。」とあるが、ここで述べられているようなロボットが「自分の意志で自由に行動する」といえないのはなぜか読み取り、まとめる。(手引き5) 2 「対等の隣人」とあるが、どのような点で対等なのか、筆者の考えを読み取る。(手引き6) 3 「的確に表現するために」を読み、自分の考えを相手に的確に伝えるための表現について理解する。(言葉の扉④……的確に表現するために) 1 本文の論証について、任意の部分を選んで反論を考え、まとめる。(論理の力) 2 筆者が考えるような「自分の意志で自由に行動するロボット」が生まれることは望ましいと考えるかどうか、話し合う。(言語活動)	【知識・技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に筆者の哲学的な思考を、「自由意志を持ったロボットを作ることができる」ことが可能か否かを考えることを通して理解し、学習課題に沿って人間の意志や自由について考えを深め、意見を述べようとしている。	○	○	○	7
	単元11 読む もう一つの知性 【知識及び技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できるようにする。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできるようにする。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができるようにする。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する力を育成する。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する力を育成する。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める力を育成する。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりする力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に論拠をたどることで筆者の述べる本来の「知性」の在り方を理解し、今までの学習を生かして自分たちが現代社会を生きるうえで筆者の提案をどのように結び付けることができるか、話し合うとする姿勢を育む。	1 「情報化社会」とはどのような社会を言うのか。また、情報化社会で重要なことは何か、意見を述べ合う。 2 各段に述べられている「知の在り方」に注意しながら、本文を通読する。(手引き1) 3 第一段P272・5行目までを音読し、表現に即して内容を読み取る。 4 第一段の後半部分を音読し、例として挙げられている事項・用語を「情報通」と「知性」の二つのグループに分類する。(手引き2) 5 「この小学生がお父さんより知的な人間とはいえない」といえる根拠として、本文中で述べられていることをまとめる。(論理の力) 6 「血肉になっているような情報」「服のポケットにたくさんの紙片を詰め込んでいるような知性」などの比喩表現を理解する。 1 第二段を読み、冒頭部分を中心に、筆者が考える本来の「知性」の在り方をまとめる。 2 アメリカの先住民や医療現場の話を題材に、科学技術の発達とともに知性がどう変化したか、またトルストイの人生論の話は、どのようなことを説明する目的で紹介されているのかを考えてまとめる。(手引き3) 1 第三段を読み、冒頭の一文の役割を確認するとともに、P276・1行目までを読み、「フリコラージュ」的な知とはどのような知の在り方を言うのか、読み取る。(手引き4) 2 後半部分を読み、本教材における筆者の主張を理解する。(手引き5) 3 筆者の提案する「『フリコラージュ』的な知の可能性」を、自分たちの生活にどう生かせるか、話し合う。(言語活動1) 1 本文に述べられている筆者の意見についてどのように考えるか、六百字程度の文章にまとめ、互いに読み合う。(言語活動2) 2 現代社会に関するさまざまな話題を取り上げた本を読み、現代を生きるために必要な視点について捉える。(ブックガイド②……現代を生きるために)	【知識・技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に論拠をたどることで筆者の述べる本来の「知性」の在り方を理解し、今までの学習を生かして自分たちが現代社会を生きるうえで筆者の提案をどのように結び付けることができるか、話し合うとしている。	○	○	○	7
	単元12 期末考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1

[illegible]

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語 科目 表現の探究

教科：国語 科目：表現の探究 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～ E組

教科担当者：

使用教科書：（ ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 文章を正確に理解し、語彙力や文法の知識を駆使して、論理的な文章を構築する能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 文章に対して批判的・創造的に思考し、論理的に自分の意見を表現する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学び、他者との協同作業や意見交換を通じて、社会で必要とされるコミュニケーション能力や感受性を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
文章を書くうえで必要となる漢字・語彙・文法を習得する。	テーマに対して自分の意見を思考し表現する。	積極的に意見交換をし、学びを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元1 正しい表記で書く 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けること。 【思考力、判断力、表現力等】 文章を正しく整える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記で書くために、積極的に文章を見直そうとしている。	・ワークを活用して文章を書くうえで必要となる仮名遣い、送り仮名、慣用表現を学ばせる。 ・ワークを活用して、係り受けや話し言葉と書き言葉を学び、文章を正しく整える。	【知識・技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けることができる。 【思考・判断・表現】 文章を正しく整える力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 正しい表記で書くために、積極的に文章を見直すことができる。	○	○	○	10
	単元2 目的に合わせて読み手に伝わるような文章を書く 【知識及び技能】 自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかななどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の文章を積極的に読み返したり、他者の意見を踏まえたりして、推敲を重ねている。	・原稿用紙の使い方、小論文の書き方を学ばせる。 ・テーマを選び、それに沿った自分の意見を思考し表現する。 ・意見交換をし、反論を考えさせる。	【知識・技能】 自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考・判断・表現】 テーマに対して自分の意見を思考し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の文章を積極的に読み返したり、他者の意見を踏まえたりして、推敲を重ねることができる。	○	○	○	15
2 学 期	単元3 ディベート 【知識及び技能】 自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。 ・「書くこと」において、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の立場に従って、話し合いながら主張をまとめている。 ・自分の役割に基づいて、積極的にディベートに参加している。	・実社会の問題や生徒自身に関わる事柄の中からテーマを決め、「肯定派」と「否定派」に分かれてクラスでディベートを実施する。 ・ICT機器や書籍、新聞やニュース等を活用し、主張したいことの根拠を集める。 ・異なる立場からの反論を考え、それぞれの立場で立論原稿を書く。	【知識・技能】 自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考・判断・表現】 テーマに対して自分の意見を思考し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の立場に従って、話し合いながら主張をまとめることができる。 ・自分の役割に基づいて、積極的にディベートに参加することができる。	○	○	○	15

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科： 地理歴史 科目： 日本史探究 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ 7 実教日探703 精選日本史探求 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 歴史的事象や地理的現象を正確に理解し、それに基づいた知識を活用する能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 歴史的事実や地理的データを分析し、自分の見解を論理的に整理して表現する力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 自ら学ぶ姿勢を持ち、歴史や地理を通じて社会や文化の多様性に対する理解と共感を深める。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史が世界の一部として成り立っていることを理解し、伝統や文化について深く理解する。また、調査や資料を使って情報を上手にまとめる技能を身につける。	日本の歴史にまつわる事象について考え、幅広い分野から現代とのつながりを探求する能力を養う。過去の歴史から課題・問題を見つけ、それを現代と結び付けて考え、判断する力を育成する。調べた内容をわかりやすく説明する表現力を養う。	生徒が主体的に考える授業を行い、日本史が「楽しい」、「学びたい」という気持ちを育む。日本を深く理解することで他国との違いを認識し、他国や他の文化を尊重する気持ちが強くなる人間性を培う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元1 第1章 国家と文化の形成 【知識及び技能】 ・人類の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代を理解する。 ・大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布をふまえて、弥生文化の形成を考察する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・集落・墓の変容から富の蓄積を理解し、小国が形成される過程を東アジア世界との交流と関連づけて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・原始社会の特色についての考察を踏まえ、時代を通観する問いを表現する。	列島にくらしはじめた人々 農耕がうまれる クニがうまれる ヤマト政権の形成 倭の五王と氏姓制度	【知識・技能】 ・国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。 【思考・判断・表現】 ・黒曜石などの考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などをふまえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。 ・小国の形成から邪馬台国などの小国連合について、環濠集落や武器の出現、「魏志」倭人伝などの文献資料にもとづき、国内外の情勢をふまえて多角的に考察した結果を、根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人類の誕生から日本列島に人々が定住するまでの流れを主体的に追究して、人類と地球との共生をいかに図っていくかという今日的な学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	7
単元2 第2章 古代国家の確立 【知識及び技能】 ・地域の首長の出現から統一国家にいたる過程を、古墳の変容からとらえる。 ・飛鳥文化に世界の諸地域の文化の影響がみられることを理解する。 ・藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について理解する。 ・天平文化における政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目して古代国家の展開を理解する。 ・藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係をふまえて考察する。 ・律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。	(6) 飛鳥の朝廷 (7) 大化改新から壬申の乱へ (8) 律令国家の形成 (9) 東アジアのなかの天平文化 (10) 奈良時代の政治と社会 (11) 平安時代初期の政治と文化 (12) 摂関政治と国風文化 (13) 摂関期の社会と経済	【知識・技能】 ・隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解する。 ・平城京における律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会とのかかわりなどに着目して理解している。 ・藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 【思考・判断・表現】 ・中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出そうとしている。 ・唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察することを通して、摂関政治の社会の特色を明らかにしようとしている。	○	○	○	11
単元3 中間調査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1

1 学 期	単元4 第3章 中世社会の成立 【知識及び技能】 ・院政期前後の土地支配形態をふまえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 ・鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。 ・承久の乱にともなう公武関係の変化に着目して、將軍独裁体制から執権政治の確立にいたる過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・外戚関係や人材登用など、後三条天皇が摂関家に遠慮せず改革をすすめた背景を考察する。 ・鎌倉幕府の成立時期をめぐる所説に関して、それぞれの根拠を明確にして考察する。 ・モンゴル来襲による政治・経済・文化への影響が、幕府の衰退につながっていくことを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古代から中世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。 ・武士の生活と地方支配を通じて、土地に対する実質的な支配権を地頭が掌握するにいたった過程を考察する。 ・非御家人に対する権限拡大など、幕府勢力が西国に浸透したことの意義を考察する。	(14) 院政と中世荘園 (15) 奥州藤原氏と平氏 (16) 治承・寿永の乱と鎌倉幕府 (17) 承久の乱と公武関係 (18) 地頭・御家人と荘園制の変質 (19) 鎌倉幕府の経済・産業と自然環境 (20) モンゴル襲来と日宋・日元交流 (21) 社会の変動と鎌倉幕府の滅亡	【知識・技能】 ・貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 ・平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料からさまざまな情報を読み取り、武士の政治進出について理解している。 ・承久の乱が幕府と朝廷との関係に与えた影響について、諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 ・宋・元などユーラシアとの交流に着目して、モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響について理解している。 【思考・判断・表現】 ・武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転機について根拠を示して表現している。 ・幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。 ・武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察し、根拠を明確にして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。 ・古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとしている。 ・鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとしている。 ・公武関係の変化による武家政権の展開に着目し、鎌倉時代を通じた武家の支配の特質について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10
	単元5 第4章 中世社会の展開 【知識及び技能】 ・「南北朝の動乱と室町幕府の成立」に関する課題を設定し、資料を用いて事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、鎌倉幕府の滅亡から室町幕府の成立にかけての幕府と朝廷の動きについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「倭寇と東アジア国際交流」に関する課題を設定し、資料を用いて事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して室町時代の外交関係について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「自立する戦国大名」に関する課題を設定し、資料を用いて事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して戦国大名の分国支配の発達について理解する。 ・「戦国時代はどのようにして始まったのか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。	(22) 南北朝の内乱 (23) 足利義満と室町幕府 (24) 東アジアの海をゆきかう人々 (25) 惣村と一揆 (26) 戦国時代の幕あけ (27) 室町・戦国時代の流通経済 (28) 戦国時代の政治と社会	【知識・技能】 ・「室町幕府はどのようにして政治体制をととのえていったのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。 【思考・判断・表現】 ・「武家政権と朝廷の関係はどのように変化したのだろうか」などの課題について、社会や経済の変化とその影響などに着目して考察し、その結果を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「武家支配の広がり」と国際交流に関する課題をふまえて見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・現在の日本の地域産業で室町時代に起源をもつものをさぐり、昔と今との関係を探るという学習上の課題を解決しようとしている。	○	○	○	8
	単元6 期末考查 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	単元7 第5章 統一政権の成立 【知識及び技能】 ・織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などとともに、中世から近世への時代の転換を理解する。 ・江戸時代の身分制、都市と町の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ヨーロッパ世界とのかかわりについて貿易、宗教、文化の観点から説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・江戸幕府と諸藩の政策の特徴や違いを地図や絵、史料を使い多角的に考察する。	(29) 「南蛮」との出逢い (30) 織豊政権の全国統一 (31) 東アジアの変動と豊臣政権 (32) 江戸幕府の支配の仕組み (33) 江戸時代の対外関係 (34) 身分制と村・町の生活	【知識・技能】 ・織田信長と豊臣秀吉の政策の意義を多面的・多角的に考察することができる。 ・徳川家康が権力を手中におさめる過程を説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・「豊臣秀吉の死後、なぜ関ヶ原の戦いが起きたのだろうか」という問いに対し多面的・多角的に考察することができる。 ・豊臣秀吉の宗教政策、その後の関ヶ原の戦いの政治的意義を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・外国人が見た「日本」の近世を資料に基づいて多角的に考察することができる。 ・鉄砲伝来に関し、なぜポルトガル人は中国の倭寇船に乗ってきたのだろうか。大航海時代という言葉はヨーロッパを中心とする概念だが、これらの問題点を考え、アジアに立脚点において考えるという学習上の課題を解決しようとしている。 ・アジアや西洋諸国との関係、「鎖国」政策や四つの窓などから近世日本の外交について、多面的・多角的に考察することができる。	○	○	○	8

2 学 期	単元8 第6章 幕藩体制の展開 【知識及び技能】 ・法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などをもとに、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解する。 ・産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などをもとに、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠として表現する。 ・社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「幕藩体制が変容し、維持できなくなったのはなぜだろうか」、「近代化の萌芽はいつごろからみられるのだろうか」など、この項目全体に関わる問いを設定して、生徒に提示し、小項目のねらいにそくした学習を展開できるようにすることが大切である。そのために、それぞれの事象の学習では段階的な課題を設定することが求められる。このような一連の学習を通して、この項目のねらいである幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成の理解にいたるようにする。	(35) 幕府政治の転換 (36) 産業の発展 (37) 交通網の発達と都市の繁栄 (38) 徳川吉宗・田沼意次と財政問題 (39) 商品経済の発達と民衆の運動 (40) 寛政の改革と欧米諸国の日本接近 (41) 江戸時代後期の学問・文化 (42) 天保の改革	【知識・技能】 ・p114の絵①をみて、かぶき者の増えた理由や異様な格好をしている背景を説明することができる。 ・p118の地図①や絵③をみて、当時の五街道をはじめ幹線道路の発展、河川や海上の交通の発展について説明することができる。 ・p129のTopic「現在の天皇家と光格天皇」をみて、江戸時代における天皇家について説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・p115の表⑤をみて、江戸時代の金貨成分比の推移が何を示すのか、成分比を変えた理由は何なのであるのか、1860年に重さが極端に減ったことなどグループワークを通じて多面的・多角的に考察することができる。 ・p123の田沼意次の政治はかつては賄賂政治の代表で評価が低かったが、現在ではロシアとの貿易など新しい面が評価されている。歴史の評価を考えるという学習上の課題を解決しようとしている。 ・「江戸時代における産業の発展は、どのような背景によって生まれたのだろうか」という問いに対し、多面的・多角的に考察することができる。 ・「徳川吉宗と田沼意次の政治について、共通点と異なる点を考えてみよう」という問いに対し、多面的・多角的に考察することができる。 ・「国内の問題（「内憂」）と外国の問題（「外患」）、それぞれの内容・背景と幕府の対応を考えてみよう」という問いに対し多面的・多角的に考察するおとができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・p115の絵④をみて、江戸時代の火事対策を、横浜に大火を設けるなど近代の火事対策との比較をし、災害に対する姿勢について比較していくという学習上の課題を解決しようとしている。 ・経済力が政治力にむすびつくことを示す例から、政治と経済の関係について考えるという学習上の課題を解決しようとしている。	○	○	○	12
	単元9 中間考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	単元10 第7章 大日本帝国の形成 【知識及び技能】 ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などを理解する。 ・近世から近代への歴史の転換と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的にお考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・前の時代との比較などを通して時代の転換について多面的・多角的に考察し、探究に向けた時代を通観する問いを表現する学習を行う。	(43) 開国 (44) 倒幕と「ええじゃないか」 (45) 明治維新 (46) 文明開化 (47) 富国強兵 (48) 国境の画定 (49) 自由民権運動 (50) 激化事件 (51) 大日本帝国憲法	【知識・技能】 ・p145の史料③「日米修好通商条約」をみて、条約の内容や問題点を説明することができる。 ・p152の「ひと 渋沢栄一」をみて、渋沢栄一と殖産興業との関連を説明することができる。 ・p159の表④「自由党と立憲改進黨の比較」をみて、2つの政党の違いを本文記述を参考に説明することができる。 ・p163の史料③の「大日本帝国憲法」をみて、憲法の内容について説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・「開国によって、日本の政治と社会はどのように変容したのだろうか」という問いに対し、多面的・多角的に考察することができる。 ・「徳川幕府から新政府への政権交代を人々は「御一新」とよんだ。そこには、どのような思いがこめられていたのだろうか」という問いに対し、多面的・多角的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・幕末は人気のある時代であるが、それはなぜなのだろうか。現代人の歴史意識を検討して、考えるという学習上の課題を解決しようとしている。	○	○	○	12
	単元11 第8章 大日本帝国とデモクラシー 【知識及び技能】 ・近代から現代にいたる国家や社会の展開について、主題を設定し、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを通じて思考力、判断力、表現力等の育成をはかりつつ、近現代がどのような時代であったかを構造的にとらえる。 ・日清・日露戦争、第一次世界大戦については、戦争が及ぼした影響などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的な地位の変化などについて、推移や展開を考察するための課題を設定し、それぞれの講義と条約などから、形成される国際秩序と我が国の関わり、近隣諸国、諸地域との関係について確認する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日清・日露戦争前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などを通じて、植民地支配をすすめたことや、第一次世界大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化を確認するなどの学習をおこなう。	(52) 日清戦争 (53) 1900年前後の世界と東アジア (54) 日露戦争 (55) 社会問題と地域社会 (56) 大正デモクラシー (57) 第一次世界大戦と日本 (58) 資本主義の成長 (59) 改造の時代 (60) 植民地	【知識・技能】 ・明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などをもとに、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。 ・p164の表③の「条約改正のあゆみ」をみて、条約改正の責任者や交渉内容について説明することができる。 ・p168の絵①「日本とロシアの対立の風刺」をみて、描かれている内容や描かれている国々がどこかを説明することができる。 ・p174の地図①「第一次世界大戦ごろの国際関係」をみて、連合国側と同盟国側の構成を説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、事象の意味や意義、関係性を多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期等を根拠を示して表現している。 ・「帝国主義時代の国と国との関係の特徴は何か、話し合ってみよう」という問いに対し、多面的・多角的に考察することができる。 ・「資本主義の成長は都市・農村の社会をどのようにかえていったのだろうか」という問いに対し、多面的・多角的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「あなたは、当時の様々な立場の人々が日本のおかれた状況やあるべき姿をどのように意識していたと考えられるか」などの、諸事象の解釈や画期を考察し、表現するための課題を設定して、世界を認識したこの時代の人々の意識や判断を考察する学習や、「あなたは、地域社会が近代化をわかせたのはいつだと考えるか、またそれはなぜか」、「あなたは、対外的な戦争は日本の近代化の過程の中で、どのような意味をもったと考えられるか」などの課題を設定して、地域における近代国家の形成についてそれぞれの考えを表現して根拠をもとに議論したり、戦争がもたらした国内的、国際的な変化それぞれの重要性や相互の関係について根拠をもとに考察したことを表現したりするといった学習が考えられる。	○	○	○	12

単元12 期末考查 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
単元13 第9章 アジアの戦争と第二次世界大戦 【知識及び技能】 ・近世から近代への転換の理解や時代を通観する間、近代を展望する仮説をふまえるとともに、「歴史総合」での学習の成果を活用して、近現代の地域・日本と世界の相互の関係を構造的に整理し、多様な視点から歴史に関わる諸事象について深い理解を図る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する学習を通じて、思考力、判断力、表現力等の育成を図りつつ、近現代がどのような時代であったかを構造的にとらえる。 ・前近代の学習で習得した資料を扱う技能を活用し、近代から現代にいたる国家や社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、近現代がどのような時代であったかを理解するとともに、思考力、判断力、表現力等の育成を図る。 【学びに向かう力、人間性等】 「あなたは、戦争が不可避となった画期について、どの出来事がそれにあたると考えるか、当時、どのような根拠にもとづいてそれが選択されたと考えるか、現代において同様の事態を回避するためには何が必要なのだろうか」などの課題を設定して、世界恐慌を契機とした保護貿易主義のひろがりや全体主義の台頭、中国などにおける民族運動の進展などの国際環境と国内の状況とを関連付けて考察したりして、当時の国際状況、国内状況についての考察をふまえ、歴史のなかでどのような判断が、何を根拠におこなわれたのかについて、根拠をもとに考察した結果を表現する。	(61) 普通選挙と治安維持法 (62) 大日本帝国の選択肢 (63) 満洲事変とモダニズム (64) 日中戦争と総力戦 (65) アジア太平洋戦争 (66) 敗戦	【知識・技能】 ・恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦にいたる過程および大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解している。 ・p 189の地図③「北伐と山東出兵」をみて、中国国内の動向と日本との関係を説明することができる。 ・p 194～195の本文記述をみて、アジア太平洋戦争の流れを説明することができる。 ・p 196の写真③や本文記述をみて、戦争によって戦闘員以外の民間人がどのような生活をしていたのかを説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりなどを多面的・多角的に考察し、歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ・p 187の普通選挙法の問題点、治安維持法が普通選挙法と同時に制定された理由、ソ連との国交樹立との関係についてグループワークを通じて多面的・多角的に考察することができる。 ・p 188の「ひと 石橋湛山」をみて、石橋の小日本主義がどのように画期的であったのかを多面的・多角的に考察することができる。 ・「兵士たちはどのような思いで戦場に向かったのだろうか。話し合ってみよう」という課題に対し多面的・多角的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・p 189の写真④と⑤をみて、選挙権をもった人の割合、女性と政治の関係を現在の18歳選挙権との関係にあわせて考えるという学習上の課題を加解決しようとしている。 ・p 190の洲事件の記述を見て、軍隊は政府と同一ではないことを確認するとともに、現在の文民統制がなぜ重要なのかを考えるという学習上の課題を解決しようとしている。 ・p 192のLink「南京事件」をみて、いろいろと意見が分かれる歴史的な問題に冷静に学問的にどのように対応すべきか考えるという学習上の課題を解決しようとしている。	○	○	○	8
3 学期 単元14 第10章 現代日本社会の形成と展開 【知識及び技能】 ・近代から現代にいたる国家や社会の展開について、主題を設定し、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する学習を通じて、思考力、判断力、表現力等の育成を図りつつ、近現代がどのような時代であったかを構造的にとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これまでの学習をふまえ、この科目のまとめとして、現代の日本の課題の形成に関わる歴史について、生徒の生活や生活空間、地域社会との関りをふまえた主題を設定して、より良い社会の実現を視野に多面的・多角的に考察し、歴史的な経緯や根拠をふまえた展望を構想して、その結果を表現する学習をおこなう。	(67) 世界のなかの日本占領 (68) 占領政策と日本国憲法 (69) 朝鮮戦争 (70) 日米安保体制と55年体制 (71) 高度経済成長 (72) ベトナム戦争とアジア (73) 経済大国 (74) 世界の転換と日本社会 (75) グローバル化する世界と日本 (76) 「わたし」たちの社会と世界	【知識・技能】 ・占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興、アジア諸国との関係、高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などをもとに、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の仕組み、国民生活の変容を理解している。 【思考・判断・表現】 ・第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して主題を設定し、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割において、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本と世界の相互の関わり、地域社会の変化、いままでの学習で見出した画期などに着目して、事象の意味や意義、関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察することができる。	○	○	○	12
単元15 学年末考查 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
						合計 105

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済
 教 科： 公民 科 目： 政治・経済 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組
 教科担当者：
 使用教科書：（東京書籍 政経701 『政治・経済』）
 教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 社会の基本的な制度や法制度、経済活動についての知識を深め、社会問題に対する理解を高める能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 社会の課題に対して批判的かつ論理的に思考し、自分の立場を明確にして表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 社会問題に関心を持ち、積極的に学び、他者との意見交換を通じて多角的な視点を身につける姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や、政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、日本および国際社会において国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元1 民主政治の基本原則 【知識及び技能】 民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化、世界のおもな政治体制について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要かを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする。	・民主政治の成立 ・法と民主政治 ・基本的人権の確立 ・現代の民主政治 ・世界のおもな政治体制	【知識・技能】 民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化、世界のおもな政治体制について理解している。 【思考・判断・表現】 法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要かを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	9
	単元2 日本国憲法の基本原則 【知識及び技能】 明治憲法と比べた日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」との関係、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているかを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする。	・日本国憲法の制定と基本原理 ・基本的人権の保障 ・平和主義	【知識・技能】 明治憲法と比べた日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」との関係、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解している。 【思考・判断・表現】 近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているかを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	9

2 学 期	単元3 日本の政治機構・現代政治の特質と課題 【知識及び技能】 国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にはどのような課題があり、どうすればそれを解決できるか多面的・多角的に考察し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする。	・立法・行政・司法 ・地方自治 ・戦後政治と政党 ・選挙と政治意識 ・世論と政治参加	【知識・技能】 国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解している。 【思考・判断・表現】 国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にはどのような課題があり、どうすればそれを解決できるか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	9
	単元4 現代日本の経済 【知識及び技能】 経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民所得と経済成長、物価と景気変動、財政のしくみと役割および租税などの意義、金融のしくみと機能について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、経済活動と福祉の向上との関連ならびに市場経済の機能と限界、持続可能な財政および租税のあり方、金融を通じた経済活動の活性化について、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする。	・現代の資本主義経済 ・現代経済のしくみ ・日本経済の発展と現状 ・福祉社会と日本経済の課題	【知識・技能】 経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民所得と経済成長、物価と景気変動、財政のしくみと役割および租税などの意義、金融のしくみと機能について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考・判断・表現】 個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、経済活動と福祉の向上との関連ならびに市場経済の機能と限界、持続可能な財政および租税のあり方、金融を通じた経済活動の活性化について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	9
	単元5 現代日本の諸課題 【知識及び技能】 現代日本における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 少子高齢社会における社会保障、地域社会の活性化、多様な働き方・生き方の実現、中小企業の意義と課題、日本財政の健全化、持続可能な食料・農業の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かおうとする。	・少子高齢社会における社会保障 ・地域社会の活性化 ・多様な働き方・生き方の実現 ・中小企業の意義と課題 ・日本の財政の健全化 ・持続可能な食料・農業の実現 ・防災と安全・安心な社会の実現	【知識・技能】 現代日本における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 少子高齢社会における社会保障、地域社会の活性化、多様な働き方・生き方の実現、中小企業の意義と課題、日本財政の健全化、持続可能な食料・農業の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かおうとしている。	○	○	○	9
	単元6 現代の国際政治 【知識及び技能】 国際社会の変遷、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、軍縮と紛争防止、日本の国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、国際法の果たす役割および国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする。	・国際政治の特質 ・国際社会と国際法 ・国際連合の役割と課題 ・戦後国際関係の展開と日本 ・冷戦後の国際関係と日本 ・地域主義の動き ・軍縮の動向と課題 ・紛争・難民・テロリズム ・国際社会における日本の役割	【知識・技能】 国際社会の変遷、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、軍縮と紛争防止、日本の国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考・判断・表現】 個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、国際法の果たす役割および国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	9

	単元7 現代の国際経済 【知識及び技能】 貿易の現状と意義、為替レートの変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて、世界の人々のより豊かな生活を実現するためにはどうすればよいのか多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする。	・貿易と国際収支 ・戦後国際経済体制の展開 ・発展途上国の経済 ・グローバル化する世界経済 ・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・人口・貧困・感染症	【知識・技能】 貿易の現状と意義、為替レートの変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考・判断・表現】 貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて、世界の人々のより豊かな生活を実現するためにはどうすればよいのか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
3学期	単元8 国際社会の諸課題 【知識及び技能】 国際社会における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かうことができる。	・グローバル化にともなう社会変容 ・地球環境と資源・エネルギー問題 ・国際的な経済格差の是正 ・イノベーションの促進と成長市場 ・民族問題と紛争の解決 ・持続可能な社会の実現	【知識・技能】 国際社会における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 グローバル化にともなう社会変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際的な経済格差の是正、イノベーションの促進と成長市場、民族問題と紛争の解決、持続可能な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際社会における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かおうとしている。	○	○	○	8
							合計
							70

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学B

教 科： 数学 科 目： 数学B 単位数： 2 単位
対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組
教科担当者：
使用教科書：（ 実教出版「数学B」 ）
教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学の基礎的な概念や定理を理解し、適切に活用して問題を解決する技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】 数学的な問題に対して論理的に思考し、解法を適切に選び出し、過程と結果を明確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 数学的な課題に挑戦し、失敗を学びに変え、粘り強く問題解決に取り組む姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学Bにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けることができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元1 1章 数列 第1節 数列とその和 【知識及び技能】 数列の基本的な知識を身に付け、一般項や和を求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 事象を数列として捉え、その事象を元に考察することが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 数列と和に関心をもち、活用しようとする姿勢を身に着ける。	1. 数列と一般項 2. 等差数列 3. 等比数列	【知識・技能】 ・数列の意味を理解し、一般項から初項や第5項を求めたり、簡単な規則性を持つ数列からその規則性を見つけて一般項を求めたりすることができる。 ・等差数列と等比数列について理解し、一般項や和を求めることができる。 ・自然数の和を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・数列の規則性について考察できる。 ・与えられた2つの項から、等差数列と等比数列の一般項を求めることができる。 ・等差数列の項数を求めてから、その和を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身の回りの数の並びに規則性があるか調べ、数列として一般項を用いて表そうとしている。 ・一般項を用いて数列を表すことのよさをとらえようとしている。	○	○	○	13
	単元2 中間考査			○	○	○	1
	単元3 1章 数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と数学的帰納法 【知識及び技能】 漸化式や数学的帰納法の基本的な概念を理解し、一般項を求めたり式の証明をできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的帰納法を用いて考察し、規則性を見つけたりできるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 漸化式と数学的帰納法の有用性を認識し事象の考察に活用しようとする姿勢を身に着ける。	第2節 いろいろな数列 1. 和を表す記号 2. 階差数列 第3節 漸化式と数学的帰納法 1. 漸化式 2. 数学的帰納法	【知識・技能】 ・和を表す記号 Σ の意味を理解し、 Σ を用いた数列の和の式と Σ を用いない数列の和の式を相互に変換できる。 ・ Σ を用いて表された自然数の和や自然数の2乗の和を計算することができる。 ・階差数列を利用して、もとの数列の一般項を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・各項が積の形で表された数列の和を、 Σ の性質を利用して求めることができる。 ・階差数列ともとの数列の一般項との関係について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ Σ の性質や、自然数の和、自然数の2乗の和を利用して、いろいろな数列の和を求めようとしている。 ・階差数列を利用して、もとの数列の一般項を求めようとしている。	○	○	○	13
	単元4 期末考査			○	○	○	1

2 学 期	単元5 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 【知識及び技能】 確率分布の基本的な概念、性質などを体系的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事象の考察において、確率分布や統計的な推測を利用できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 事象の考察に確率分布が有効であることに関心を持つ。	第2章 統計的な推測 第1節 確率変数と確率分布 1. 確率とその基本性質 2. 確率変数と確率分布 3. 二項分布	【知識・技能】 ・確率の基本的な法則を理解し、排反事象の確率を求めたり、余事象を利用して確率を求めたりすることができる。 ・確率変数の確率分布を、表に表すことができる。 ・確率変数の平均・分散・標準偏差を求めることができる。 ・二項分布の意味を理解している。 ・二項分布にしたがう確率変数の平均・分散・標準偏差を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・組合せを利用して確率変数の平均を求めることができる。 ・二項分布にしたがう確率変数の確率分布を表に表すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身の回りのデータで、確率変数として考えられるものを見つけ、その平均・分散・標準偏差を調べ、データの特徴を把握しようとしている。 ・身の回りのデータで、二項分布を利用して考えようとしている。	○	○	○	13
	単元6 中間考査			○	○	○	1
	単元7 第2章 統計的な推測 第2節 正規分布 第3節 統計的な推測 【知識及び技能】 事象の考察において確率分布や統計的な推測を適切に用いる技能や知識を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 事象を考察する際に、確率分布や統計的な推測を適切に用いることが出来るようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 事象の考察に確率分布や統計的推測を利用しようとする姿勢を育成する。	第2節 正規分布 1. 確率密度関数 2. 正規分布 3. 二項分布と正規分布 第3節 統計的な推測 1. 母集団と標本 2. 標本平均の分布 3. 母平均の推定 4. 仮説検定	【知識・技能】 ・与えられた確率密度関数から、確率変数が特定の範囲となる確率を求めることができる。 ・正規分布にしたがう確率変数を標準化することができる。 【思考・判断・表現】 ・身の回りのデータを、正規分布を用いて考察し、特定の範囲にある個数などを求めることができる。 ・標本平均が特定の範囲となる確率を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身の回りのデータで、正規分布にしたがう確率変数があるか調べ、データの特徴を把握しようとしている。 ・全数調査や標本調査にはどのようなものがあるか調べようとしている。	○	○	○	13
単元8 期末考査			○	○	○	1	
3 学 期	単元9 第3章 数学と社会生活 第1節 図形と測定 第2節 経済と数学 第3節 社会生活における分析 【知識及び技能】 社会生活における問題を数学を活用して解決する意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日常の事象や社会の事象において数や量的関係に着目し問題を数学的に表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などにおける問題を数学を活用し解決しようとする姿勢を身につける。	第1節 図形と測定 1. 平面の敷き詰め 2. 土地の面積と測量 第2節 経済と数学 1. 単利法と複利法 第3節 社会生活と分析 1. 移動平均 2. 回帰直線	【知識・技能】 ・正多角形で平面をしきつめることができる条件を理解できる。 ・単利法と複利法の仕組みを理解し、元利合計を求めることができる。 ・移動平均の意味を理解し、そのグラフを表すことができる。 【思考・判断・表現】 ・正多角形で平面をしきつめることができる条件を考察できる。 ・面積を求めるいろいろな方法について考察できる。 ・均等分割払いにおいて、元金、利率、返済回数、返済の合計額にどのように影響するか考察することができる。 ・PPDACサイクルに基づいて問題解決する方法について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・2地点間の、直線距離と実際に通る道の距離との関係について調べようとしている。 ・元金、利率、返済回数を変えて、いろいろな場合についてローンの返済金額を求めようとしている。 ・身の回りのいろいろなデータについて、回帰直線の方程式を求め、予測しようとしている。	○	○	○	13
	単元10 学年末考査			○	○	○	1
合計							
70							

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教 科： 理科 科 目： 生物基礎 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ 高等学校 新生物基礎 第一学習社 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 科学的な原理や法則を理解し、実験や観察を通じてその知識を適切に活用する能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 実験結果や科学的なデータを分析し、論理的に考察して結論を導き出し、分かりやすく表現する力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 科学的な問題に対して興味を持ち、積極的に学び続け、協力して実験や研究を進める姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に着けている。	自然の事物・現象の中に問題を見出し、見通しを持って観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に着けている。	自然の事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度を身に着けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元1 第1章 生物の特徴 【知識及び技能】 生物の共通性やエネルギーについて基礎知識を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 授業や実験について適切にスケッチや考察を行い考察を行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験や授業の議論に積極的に参加することができる。	地球上の様々な環境には多種多様な生物が生息しており、生物は多様であることを理解する。 原核細胞と真核細胞でそれぞれみられる特徴を理解する。また、真核細胞において細胞小器官の機能の概要を理解する。 生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。 酵素の基本的な特徴について理解する。	【知識・技能】 ・各項目や実験操作について理解している。 【思考・判断・表現】 ・生物の共通性についてスケッチなどで表現し考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察や実験、授業の議論に積極的に加わろうとしている。	○	○	○	16
	単元2 第2章 遺伝子とその働き 【知識及び技能】 生物は様々な形質を持つことや、遺伝子とDNA、染色体、ゲノムの違いについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 DNAの規則性や複製、転写、翻訳の仕組みなどを考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験や授業の議論に積極的に参加することができる。	生物は様々な形質を持ち、それを子孫に伝えている。そのことに遺伝子やDNAがかかわっている。 遺伝子とDNA、染色体についての関係や、それらがどのように生物の形質を決めているのか理解させる。 DNAの遺伝情報はタンパク質合成を通じて発現することを理解させる。 ゲノムの概念を理解させる。	【知識・技能】 DNAの構造や仕組みとともに実験観察に関する知識が適切に身についている。 【思考・判断・表現】 DNAに関する資料から、構造やタンパク質合成について適切に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の議論や実験に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	20
2 学 期	単元3 第3章 ヒトのからだの調節 【知識及び技能】 体内での情報の伝達や体内環境の維持、免疫について適切な知識を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 実験や資料から恒常性やホルモンの働き、免疫系について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験や授業の議論に積極的に参加することができる。	ヒトのからだの調節に情報の仕組みが関係していることを理解させる。 ホルモンと自律神経の働きとの関係について気付かせ体内環境が維持されている仕組みを理解させる。 免疫に関する資料に基づいて病原体を認識・排除する生体防御の仕組みがあることを理解させる。 免疫の仕組みの以上に関する疾患や医療への応用について理解させる。	【知識・技能】 体内環境、生体防御の仕組みについて適切な知識が身についている。 【思考・判断・表現】 実験や資料からヒトの体の調節や生体防御の仕組みについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の議論や実験に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	27
	単元4 第4章 生物の多様性と生態系 【知識及び技能】 植物の生育、バイオームと植生について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 光環境の変化や土壌の発達が遷移の進行に関係することを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 実験や授業の議論に積極的に参加することができる。	地球上に様々な植生が存在し生物と環境との関わり合いで成立していることを理解させる。 植生は変化することをその要因と関連付けて考察させる。 バイオームや遷移の結果として成立していることに気付かせる。	【知識・技能】 植生、バイオームについて正しい知識を身に着けている。 【思考・判断・表現】 実験や資料から遷移の進行やバイオームの決定条件について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の議論や実験に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	27

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 科学探究

教科 理科 の目標：

科目 の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元1 生き物探し 【知識及び技能】 生き物(ダンゴムシ)に関する基本知識を身につける。実験器具の基本操作を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 生き物のデータについての表を書き、班ごとに発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 授業中の話し合いや実験、観察に積極的に取り組む。	生き物(ダンゴムシ)について基礎知識を身に付けスケッチをする。ダンゴムシ生活空間について予想し、ダンゴムシが好きそうな場所について根拠をもとに仮説を立てる。 亀戸中央公園でダンゴムシを実際に探し仮説を検証する。 集めたデータについてさらに実験し、実験について発表する。	【知識・技能】 ダンゴムシについての基礎知識や実験器具、生き物の数え方についての基礎知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 集めたデータを表にして考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の話し合いや観察、実験に積極的に取り組むことができる。	○	○	○	28
2 学期	単元2 一番飛ぶ飛行機選手権 【知識及び技能】 飛行機、ストローグライダーについて飛ぶ理由がだまかに理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ストローグライダーのデータについての表を書き、班ごとに発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 授業中の話し合いや実験、観察に積極的に取り組む。	飛行機が飛ぶ原理について知る。ストローグライダーを作ってみる。 一番飛距離の長いストローグライダーを作るために条件を考える。 1つだけ条件を変えたストローグライダーを作り、飛距離を伸ばすにはどうすれば良いか考察する。 集めたデータをもとにストローグライダーについて発表する。	【知識・技能】 飛行機やストローグライダーについて基本的な知識が身につけている。 【思考・判断・表現】 データについて表やグラフを書き考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の話し合いや観察、実験に積極的に取り組むことができる。	○	○	○	32
3 学期	単元3 ダイラタンシー現象 【知識及び技能】 ダイラタンシー現象についての基礎知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ダイラタンシー現象についてのデータの表を書き、班ごとに発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 授業中の話し合いや実験、観察に積極的に取り組む。	ダイラタンシー現象についての基礎知識を身につける。 ダイラタンシー現象について少しずつ数値を変化させながら実験をしてデータを収集する。 集めたデータについてグラフを書き考察する。 実験結果を発表する。	【知識・技能】 ダイラタンシー現象についての基礎知識を身につける。 【思考・判断・表現】 データについて表やグラフを書き考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の話し合いや観察、実験に積極的に取り組むことができる。	○	○	○	10
							合計
							70

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教 科： 理科 科 目： 化学基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ 新編 化学基礎 数研出版 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 科学的な原理や法則を理解し、実験や観察を通じてその知識を適切に活用する能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 実験結果や科学的なデータを分析し、論理的に考察して結論を導き出し、分かりやすく表現する力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 科学的な問題に対して興味を持ち、積極的に学び続け、協力して実験や研究を進める姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学と物質について調べ学習・実験などを通して、化学の特徴について理解するとともに、科学的に探求する為に必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本な技能を身に付ける。	科学の特徴について問題を見出し見通しを持って調べ学習・実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探求する力を養う。	・化学の特徴に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元1 序章 【知識及び技能】 化学と身の回りの身近な物質について調べ学習・実験などを通して、物質を対象とする学問である化学の特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 化学と身の回りのあるものに関する科学の特徴について問題を見出し見通しを持って調べ学習・実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探求する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 化学と身の回りのあるものに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。	○〇と化学 歴史と化学 文学と化学 アートと化学 スポーツと化学 ファッションと化学 料理と化学 住まいと化学 宇宙と化学 化学の特徴 なぜ化学を学ぶのか？ A探求 Bどの様な視点で考えるのか Cよく似たものを見分けるのは D探求の進め方 実験の基本操作 実験上の注意 ・化学実験・観察に当たって、安全性の確保や適切な実験器具の使用と操作による事故防止を身に付ける。 ・試薬の取り扱い、廃棄物の適切な処理、環境への影響など	【知識・技能】 ・設定したテーマについて情報を収集して仮説を立て、実験を実施することができる。 【思考・判断・表現】 ・実験の結果を分析・考察することができる。 ・実験結果をレポートにまとめたり発表したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な出来事に疑問をもち、化学の探究の進め方に興味をもつ。	○	○	○	4
単元2 第1章 物質の構成 【知識及び技能】 物質の構成について理解するとともに、実験の技能と物質を探求する方法を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の構成について、観察・実験・調べ学習などを行い、物質構成における規則性や関係性を見出し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の構成などに主体的に関り、科学的に探求しようという態度を身に付けている。	1. 混合物と純物質 2. 物質とその成分 3. 物質の三態と熱運動	【知識・技能】 ・混合物を分離する操作として、ろ過、蒸留、分留、昇華法、再結晶、抽出、クロマトグラフィーなどの方法をあげることができる。 【思考・判断・表現】 純物質と混合物の違いが何であるか説明できる。 ・物質を分離する操作がどのようなものであるかを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身のまわりの物質が純物質と混合物に分類されることに興味をもつ。	○	○	○	4
単元3 中間考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1

1 学 期	単元4 第2章 物質の構成粒子 【知識及び技能】 物質の構成粒子・元素の周期律について理解するとともに、実験の技能と物質を探索する方法を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の構成粒子・元素の周期律について、観察・実験・調べ学習などを行い、物質構成における規則性や関係性を見出し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の構成粒子・元素の周期律などに主体的に関り、科学的に探求しようという態度を身に付けている。	1. 原子とその構造 2. イオン 3. 元素の周期表	【知識・技能】 ・原子の構成粒子である陽子・中性子・電子の個数・電荷・質量の関係について理解している。 ・イオンの化学式が正しく書け、化学式でかかれたイオンの名称がわかる。 ・単原子イオンの電子配置を示すことができる。 ・元素の分布および同族元素について理解している。 【思考・判断・表現】 ・どのような原子が安定であるか、電子配置に基づいて説明できる。 ・原子の電子配置から、その原子がどのようなイオンになりやすいかを判断できる。 ・イオンのなりやすさについて考えることができる。 ・価電子の数と化学的性質の関連について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・原子がいくつかの粒子から構成されていることに気づく。 ・同じ元素でも粒子の構成が異なるものがあることに興味をもつ。 ・原子とイオンの違いについて疑問をもつ。 ・各元素の特徴および周期表上の元素の配列について興味をもつ。	○	○	○	6
	単元5 第3章 粒子の結合 【知識及び技能】 粒子の結合（イオン結合・共有結合・金属結合）について理解するとともに、実験の技能と物質を探索する方法を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 粒子の結合（イオン結合・共有結合・金属結合）について、観察・実験・調べ学習などを行い、物質構成における規則性や関係性を見出し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 粒子の結合（イオン結合・共有結合・金属結合）に主体的に関り、科学的に探求しようという態度を身に付けている。	1. イオン結合とイオンからなる物質 2. 分子と共有結合 3. 共有結合の結晶 4. 金属結合と金属	【知識・技能】 ・イオン結晶の名称と組成式を書く方法を理解している。 ・イオンからなる物質の特徴を示すことができる。 ・共有結合とはどのような結合であるか説明できる。 ・極性分子と無極性分子の性質の差異を実験により確認することができる。 ・共有結合の結晶の構造やその性質の関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・イオン結晶中のイオンの配置を示した模型およびイオン結晶の性質について説明することができる。 ・原子間の共有結合を考えることによって分子の構造を予想することができる。 ・分子の形を予想して、極性分子と無極性分子に分類できる。 ・分子間力や分子結晶の性質を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身のまわりにあるイオン結晶の性質に興味をもつ。 ・身のまわりにある分子からなる物質の成りたちについて興味をもつ。 ・通常の共有結合とはできるしくみの異なる配位結合について興味をもつ。 ・分子には極性分子と無極性分子があることに興味をもつ。 ・原子がとても長くつながった分子である高分子化合物に興味をもつ。	○	○	○	7
	単元6 期末テスト 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1

2 学 期	単元7 第1章 物質と化学反応式 【知識及び技能】 物質と化学式について理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 物質と化学式について、観察・実験・調べ学習などを行い、物質構成における規則性や関係性を見出し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物質と化学式に主体的に関り、科学的に探究しようという態度を身に付けている。	1. 原子量・分子量・式量 2. 物質 3. 溶液の濃度 4. 化学反応式と物質	【知識・技能】 ・原子量・分子量・式量の定義を示すことができる。 ・実際の物質の1mol分の量を示すことができる。 ・同温・同圧の気体の場合、1molの体積が共通であることを理解する。 ・目的の濃度の水溶液を調製することができる。 ・化学反応における量的な関係を、化学反応式から読み取ることができる。 ・化学反応式を用いて量的な計算を行うことができる。 【思考・判断・表現】 ・モル質量の概念を使い、粒子の数・質量と物質に関する計算ができる。 ・正しい化学反応式が表せる。 ・化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積変化でとらえることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質の概念について興味をもち、粒子の数・質量・気体の体積との関係について説明できる。 ・溶液の濃さの表し方について興味をもつ。 ・多くの化学変化は化学反応式で表されることがわかる。 ・化学反応式をもとに量的な関係をつかむことができる。	○	○	○	14
	単元8 中間考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	単元9 第2章 酸と塩基の反応 【知識及び技能】 酸と塩基の反応について理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 酸と塩基の反応について、観察・実験・調べ学習などを行い、物質構成における規則性や関係性を見出し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 酸と塩基の反応に主体的に関り、科学的に探究しようという態度を身に付けている。	1. 酸・塩基 2. 水の電離と水溶液のpH 3. 中和反応と塩 4. 中和滴定	【知識・技能】 ・酸・塩基の価数、電離度などの考え方があることを理解し、説明できる。 ・水溶液中のH ⁺ の濃度をpHで表す方法を理解している。 ・中和反応を化学反応式で表すことができる。 ・未知の酸や塩基の濃度を、既知の塩基や酸を用いた中和滴定により決定することができる。 ・中和滴定の器具を正しく扱うことができる。 【思考・判断・表現】 ・酸・塩基の性質をH ⁺ とOH ⁻ で考える方法と、H ⁺ の授受で考える方法から、酸と塩基を見きわめられる。 ・pHの値から酸性、塩基性の強弱が判断できる。 ・水酸化物イオン濃度からpHを求めることができる。 ・塩の水溶液の酸性・中性・塩基性を判断し、説明することができる。 ・滴定曲線におけるpH変化、中和点、使用できる指示薬について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・酸とは何か、塩基とは何かに関心をもつ。 ・水もまた一部が電離しているということに興味をもつ。 ・中和反応がH ⁺ とOH ⁻ の反応であることに気づく。 ・身近な酸・塩基の水溶液も、中和滴定によって濃度が求められることに気づく。	○	○	○	16
	単元10 期末考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1

3 学 期	単元11 第3章 酸化還元反応 【知識及び技能】 酸化還元反応について理解するとともに、実験の技能と物質を探索する方法を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 酸化還元反応について、観察・実験・調べ学習などを行い、物質構成における規則性や関係性を見出し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 酸化還元反応に主体的に関り、科学的に探求しようという態度を身に付けている。	1. 酸化と還元 2. 酸化剤と還元剤 3. 金属の酸化還元反応 4. 酸化還元反応の利用	【知識・技能】 ・電子の授受により酸化還元反応が説明できることを理解している。 ・酸化還元反応の進行を、判断できるようになる。 ・通常、酸と反応する金属と、王水や酸化力をもつ酸とのみ反応する金属との違いを理解している。 ・金属のイオン化傾向を利用して、金属を加工できる。 【思考・判断・表現】 ・酸化還元反応に必ず電子の移動が伴うことに気づく。 ・酸化数を求めることによって酸化還元反応を区別することができるようになる。 ・酸化還元反応の化学反応式を、酸化剤・還元剤のはたらきを示す反応式からつくれるようになる。 ・酸化還元反応における酸化剤と還元剤のはたらきを電子の授受に着目して説明できる。 ・金属のイオン化は電子を放出する酸化還元反応であることに気づく。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・酸化と還元は同時に起こることに気づく。 ・酸化還元反応の複雑な化学反応式も、そのもととなる反応式と電子の授受を考えることによって完成させることができる。 ・金属樹ができることに興味をもつ。 ・身近にある電池の構造や反応のしくみに興味を示す。	○	○	○	11
	単元12 化学が拓く世界 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 ・化学基礎で学習した内容と環境問題との結びつきについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・私たちの暮らしを支える技術と化学の結びつきについて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食品保存や浄水場、化粧品などの暮らしを支える技術と化学の結びつきについて興味をもつ。	○	○	○	3
	単元13 期末考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
							合計
							70

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

使用教科書：（ ）

【知識及び技能】 身体 の健康維持や運動の効果を理解し、実際に体育活動を通じて身体能力を高める技能を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康に関する課題を分析し、自分に適した運動方法や健康管理の方法を選び、適切に実践する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 健康や運動を通じて自己管理能力を高め、協力して活動する姿勢や、他者を尊重する態度を育む。
--

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
身体 の健康維持や運動の効果を理解し、実際に体育活動を通じて身体能力を高める技能を養う。また、運動の安全に対して、自らが取り組めるようにする。	運動や健康に関する課題を分析し、自分に適した運動方法や健康管理の方法を選び、適切に実践する力を養う。	健康や運動を通じて自己管理能力を高め、協力して活動する姿勢や、他者を尊重する態度を育む。また、次の行動を考えられる指示待ちにならない気配りができる人間性を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
	単元1 A 体づくり 【知識及び技能】 心と体は互いに影響していることを理解し、健康の保持増進や体力の向上を図るための運動の計画を立てることができるようになる 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになるに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保すること 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保すること	・オリエンテーション ・体力テスト	【知識・技能】 心と体は互いに影響していることを理解し、健康の保持増進や体力の向上を図るための運動の計画を立てることができるようになる 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになるに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保すること 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保すること	○	○	○	13
1 学 期	単元2 球技：バレーボール 【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする 【思考力、判断力、表現力等】 自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切にする。話し合いに貢献しようとする	・オリエンテーション ・体育ノートの記入 ・基礎スキル各種 ・ネット張り ・スパイク ・ゲーム	【知識・技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする 【思考・判断・表現】 自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切にする。話し合いに貢献しようとする	○	○	○	13
	単元3 球技：バドミントン 【知識及び技能】 相手に応じたラケット操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする 【思考力、判断力、表現力等】 自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切にする。話し合いに貢献しようとする	・オリエンテーション ・基礎スキル各種 ・ネット張り ・ゲーム	【知識・技能】 理解度、技能の習熟度、活用能力、正確さ、学習効果など 【思考・判断・表現】 適切な判断や意思決定能力 自己表現と対話能力 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的な授業参加と自主的な取り組み 課題に対する責任感 自己成長を追求する姿勢	○	○	○	13

2 学 期	単元4 球技：サッカー 【知識及び技能】 役割に応じたボール操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする 【思考力、判断力、表現力等】 自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切にする。話し合いに貢献しようとする	・オリエンテーション ・体育ノートの記入 ・基礎スキル各種 ・ルールの工夫 ・ゲーム	【知識・技能】 理解度、技能の習熟度、活用能力、正確さ、学習効果など 【思考・判断・表現】 適切な判断や意思決定能力 自己表現と対話能力 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的な授業参加と自主的な取り組み 課題に対する責任感 自己成長を追求する姿勢	○	○	○	13	
	単元5 水泳 【知識及び技能】 水泳の各種目において用いられる技術の名称や運動局面の名称があり、それぞれの技術や局面で、動きを高めるための技術的なポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考力、判断力、表現力等】 体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法を見付け、仲間に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳の学習に積極的に取り組もうとしている。水の安全に関する事故防止の心得を遵守するなど、健康・安全に留意している。	一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ることができるようにする。	【知識・技能】 水泳の各種目において用いられる技術の名称や運動局面の名称があり、それぞれの技術や局面で、動きを高めるための技術的なポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法を見付け、仲間に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 水泳の学習に積極的に取り組もうとしている。水の安全に関する事故防止の心得を遵守するなど、健康・安全に留意している。	○	○	○	14	
	単元6 バスケットボール 【知識及び技能】 ルール、個人技能・集団技能を学び、向上させる。 【思考力、判断力、表現力等】 技能を高めるための方策を考え実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に練習に参加し、技能を高めようとする。	・オリエンテーション ・体育ノートの記入 ・基礎スキル各種 ・ルールの工夫 ・ゲーム	【知識・技能】 正しいフォームで各種個人的技能が行われているか。またそれらを生かした集団的スキルが行われているか。ルールを理解しているか。 【思考・判断・表現】 技能を高めるために考えて練習している。またそれが授業ノート、プリント等に適切に表現されている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に練習やゲームに参加し、また雰囲気盛り上げようとしている。	○	○	○	14	
	単元7 ソフトボール 【知識及び技能】 ルール、個人技能・集団技能を学び、向上させる。 【思考力、判断力、表現力等】 技能を高めるための方策を考え実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に練習に参加し、技能を高めようとする。	・オリエンテーション ・体育ノートの記入 ・基礎スキル各種 ・ルールの工夫 ・ゲーム	【知識・技能】 個人的スキルが行われているか。またそれらを生かした集団的スキルが行われているか。ルールを理解しているか。 【思考・判断・表現】 技能を高めるために考えて練習している。またそれが授業ノート、プリント等に適切に表現されている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に練習やゲームに参加し、また雰囲気盛り上げようとしている。	○	○	○	14	
3 学 期	単元8 球技 【知識及び技能】 ・運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯に渡って運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。	・オリエンテーション ・基礎スキル各種 ・ゲーム	【知識・技能】 理解度、技能の習熟度、活用能力、正確さ、学習効果など 【思考・判断・表現】 適切な判断や意思決定能力 自己表現と対話能力 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的な授業参加と自主的な取り組み 課題に対する責任感 自己成長を追求する姿勢	○	○	○	11	
合計								105

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 スポーツ演習

教 科： 保健体育 科 目： スポーツ演習 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ ）

教科 保健体育	の目標：
【知識及び技能】 身体 の健康維持や運動の効果を理解し、実際に 体育活動を通じて身体能力を高める技能を養う。	
【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康に関する課題を分析し、自分に適した運動方法や健康管理の方法を選び、適切に実践する力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】 健康や運動を通じて自己管理能力を高め、協力して活動する姿勢や、他者を尊重する態度を育む。	

科目	の目標：		
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	身体 の健康維持や運動の効果を理解し、実際に体育活動を通じて身体能力を高める技能を養う。また、運動の安全に対して、自らが取り組めるようにする。	運動や健康に関する課題を分析し、自分に適した運動方法や健康管理の方法を選び、適切に実践する力を養う。	健康や運動を通じて自己管理能力を高め、協力して活動する姿勢や、他者を尊重する態度を育む。また、次の行動を考えられる指示待ちにならない気配りができる人間性を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元1 バドミントン バレーボール 目 選択種 目 バスケット ボール ソフトボール サッカー 卓球 バドミントン 【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする 【思考力、判断力、表現力等】 自らが指導計画を作成することで、自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切にする。話し合いに貢献しようとする	選択科目の履修方法と実施種等について実施種目についての、計画・立案・実施についての助言、指導	【知識・技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする 【思考・判断・表現】 指導計画をもとに自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切にする。話し合いに貢献しようとする	○	○	○	24
2 学 期	単元2 バドミントン バレーボール 目 選択種 目 バスケット ボール ソフトボール サッカー 卓球 バドミントン 【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする 【思考力、判断力、表現力等】 自らが指導計画を作成することで、自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切にする。話し合いに貢献しようとする	選択科目の履修方法と実施種等について実施種目についての、計画・立案・実施についての助言、指導	【知識・技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする 【思考・判断・表現】 指導計画をもとに自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切にする。話し合いに貢献しようとする	○	○	○	28

3 学 期	単元3 バドミントン バレーボール 目 ボール ソフトボール サッカー 卓球 バドミントン 【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする 【思考力、判断力、表現力等】 自らが指導計画を作成すること で、自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切に する。話し合いに貢献しようとする	選択科目の履修方法と実施種等について実施種目についての、計画・立案・実施についての助言、指導	【知識・技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする 【思考・判断・表現】 指導計画をもとに自己やチームの課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に取り組み、フェアプレイを大切に する。話し合いに貢献しようとする	○	○	○	18
	合計 70						

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅰ

教科：外国語 科目：論理・表現Ⅰ 単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 A組～ E組

教科担当者：

使用教科書：（Earthrise English logic and Expression I Standard）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 外国語の基本的な文法、語彙、発音を理解し、聞く、話す、読む、書くの技能を高める能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 外国語で自分の考えや意見を論理的に表現し、異文化や異なる視点を理解しながらコミュニケーションを行う力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 外国語を学び続ける姿勢を持ち、異文化に対する理解や敬意を深め、国際的な視野を広げる態度を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語による論理的な発信に必要な語彙・文法・発音・語順などの基礎的な知識を理解し、それらを活用して英文を構成する技能を身に付けている。	伝えたい内容や場面に応じて、学んだ表現や構文を適切に選択・構成し、自分の考えや意図を論理的に英語で表現する力を身に付けている。	自らの課題や目標を意識しながら、表現活動に粘り強く取り組み、振り返りやフィードバックを通して学習方法や内容を主体的に改善しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元1 ■Lesson 1 Introduce yourself to your class 【知識及び技能】 ・〈S+V+C〉〈S+V+O〉〈S+V+O+C〉と〈S+V+O+C〉の意味・用法の違いを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 相手のことを知るために、クラスメートに住んでいるところなどについて質問したり、答えたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 相手のことを知るために、クラスメートに住んでいるところなどについて質問したり、答えたりしようとしている。	前置詞や副詞などの品詞を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 第1文型から第3文型を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 第4文型から第5文型を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 ・〈S+V+C〉〈S+V+O〉〈S+V+O+C〉と〈S+V+O+C〉の意味・用法の違いを理解できる。 【思考・判断・表現】 相手のことを知るために、クラスメートに住んでいるところなどについて質問したり、答えたりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 相手のことを知るために、クラスメートに住んでいるところなどについて質問したり、答えたりできる。	○	○	○	6
単元2 ■Lesson 2 How do you spend your weekend? 【知識及び技能】 動詞の現在形・過去形・現在進行形の意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 週末にしたことについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が週末にしたことについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	動詞の現在形・過去形・現在進行形を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 未来を表すwill, be going to, 現在進行形を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 「子供たちはインターネットの使用に時間を使いすぎている」という論題について、教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 動詞の現在形・過去形・現在進行形の意味・用法を理解できる。 【思考・判断・表現】 週末にしたことについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が週末にしたことについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする。	○	○	○	6
単元3 ■Lesson 3 Where did you go on vacation? 【知識及び技能】 現在完了形の意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分が行ったことがある場所について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が行ったことがある場所についての情報などを整理し、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	現在完了形を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 現在完了進行形・過去完了形を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 「旅行をするときにはどの交通手段を使うのが好きか」という論題について、教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 現在完了形の意味・用法を理解できる。 【思考・判断・表現】 自分が行ったことがある場所について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が行ったことがある場所についての情報などを整理し、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。	○	○	○	6

期	単元4 ■Lesson 4 How can I get there? 【知識及び技能】 can, mayの意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 観光客に適切なルートの案内をするために、地図と経路を見ながら、案内する会話のロールプレイをしている。 【学びに向かう力、人間性等】 観光客に適切なルートの案内をするために、地図と経路を見ながら、案内する会話のロールプレイをしようとしている。	can, mayを教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 must, have toを教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 「公共の場所にはより多くの監視カメラが設置されるべきだ」という論題について、教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 can, mayの意味・用法を理解できる。 【思考・判断・表現】 観光客に適切なルートの案内をするために、地図と経路を見ながら、案内する会話のロールプレイをできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 観光客に適切なルートの案内をするために、地図と経路を見ながら、案内する会話のロールプレイをしようとする。	○	○	○	6
	単元5 ■Lesson 5 Would you like to come with me? 【知識及び技能】 would, could, may[might]の意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 イベントにクラスメートを誘うために、スケジュール表を見ながら、情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしている。 【学びに向かう力、人間性等】 イベントにクラスメートを誘うために、スケジュール表を見ながら、情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしようとしている。	would, could, may[might]を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 should have doneと must have doneを教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 「高校生はクラブに入るべきだ」という論題について、教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 would, could, may[might]の意味・用法を理解できる。 【思考・判断・表現】 イベントにクラスメートを誘うために、スケジュール表を見ながら、情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 イベントにクラスメートを誘うために、スケジュール表を見ながら、情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしようとする。	○	○	○	6
	単元6 ■Lesson 6 Something really Japanese 【知識及び技能】 〈be動詞＋過去分詞〉（受動態）の意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分が選んだ商品について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が選んだ商品について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	〈be動詞＋過去分詞〉（受動態）を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 〈be動詞＋過去分詞〉（受動態）と能動態の違いを教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 「日本のどんな点が観光客をひきつけるのか」という論題について、教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 〈be動詞＋過去分詞〉（受動態）の意味・用法を理解できる。 【思考・判断・表現】 自分が選んだ商品について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が選んだ商品について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする。	○	○	○	6
	単元7 ■Lesson 7 Do you do any volunteer activities? 【知識及び技能】 to do（不定詞の名詞的用法・形容詞的用法）の意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 to do（不定詞の名詞的用法・形容詞的用法）の意味・用法を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が参加したいボランティア活動について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 「すべての高校において、ボランティア・デーを設けるべきだ」という論題について、教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 to do（不定詞の名詞的用法・形容詞的用法）の意味・用法を理解できる。 【思考・判断・表現】 to do（不定詞の名詞的用法・形容詞的用法）の意味・用法を理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が参加したいボランティア活動について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする。	○	○	○	7
	単元8 ■Lesson 8 Let's enjoy school life! 【知識及び技能】 〈want＋0＋to do〉や〈see＋0＋do〉などの意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 部活動に関するインタビューについて、インタビュアーとして質問したり、インタビュアーからの質問に答えたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 部活動に関するインタビューについて、インタビュアーとして質問したり、インタビュアーからの質問に答えたりしようとしている。	を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 〈want＋0＋to do〉や〈see＋0＋do〉などの意味・用法を理解できる。 【思考・判断・表現】 部活動に関するインタビューについて、インタビュアーとして質問したり、インタビュアーからの質問に答えたりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 部活動に関するインタビューについて、インタビュアーとして質問したり、インタビュアーからの質問に答えたりしようとする。	○	○	○	7

単元9 ■Lesson 9 Are you eco-friendly? 【知識及び技能】 doing（動名詞）の意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分が参加したいボランティア活動について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が参加したいボランティア活動について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 doing（動名詞）の意味・用法を理解している。 【思考・判断・表現】 自分が参加したいボランティア活動について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が参加したいボランティア活動について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	7
単元10 ■Lesson 10 What sports do you like? 【知識及び技能】 doing/done（分詞）の限定用法の意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 サッカーの試合に関するインタビューについて、スコアボードを見ながら、情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしている。 【学びに向かう力、人間性等】 サッカーの試合に関するインタビューについて、スコアボードを見ながら情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしようとしている。	を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 doing/done（分詞）の限定用法の意味・用法を理解している。 【思考・判断・表現】 サッカーの試合に関するインタビューについて、スコアボードを見ながら、情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 サッカーの試合に関するインタビューについて、スコアボードを見ながら情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしようとしている。	○	○	○	7
単元11 ■Lesson 11 That's new to me! 【知識及び技能】 〈see+0+doing〉や〈have+0+done〉などの意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな国の労働時間や祝日の数について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな国の労働時間や祝日の数について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 〈see+0+doing〉や〈have+0+done〉などの意味・用法を理解している。 【思考・判断・表現】 さまざまな国の労働時間や祝日の数について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな国の労働時間や祝日の数について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	7
単元12 ■Lesson 12 Which Nobel Prize winner do you admire most? 【知識及び技能】 who, which, that（関係代名詞）の意味・用法の違いを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 日本人のノーベル賞受賞者について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 can, mayの意味・用法を理解している。	を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 who, which, that（関係代名詞）の意味・用法の違いを理解している。 【思考・判断・表現】 日本人のノーベル賞受賞者について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本人のノーベル賞受賞者について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	○	○	○	7
単元13 ■Lesson 13 I'm interested in history 【知識及び技能】 when, how（関係副詞）の意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史上の偉人について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史上の偉人について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 when, how（関係副詞）の意味・用法を理解できる。 【思考・判断・表現】 歴史上の偉人について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史上の偉人について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようことができる。	○	○	○	9

3 学 期	単元14 ■Lesson 14 Various countries around the world 【知識及び技能】 as ~ as, -er[more ~] than…の意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分が行きたい国などについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が行きたい国などについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 as ~ as, -er[more ~] than…の意味・用法を理解できる。 【思考・判断・表現】 自分が行きたい国などについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が行きたい国などについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする。	○	○	○	9	
	単元15 ■Lesson 15 What job are you interested in? 【知識及び技能】 仮定法過去 <If S' + 過去形 [were] ~, S would [could]…>の意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分が興味のある職業についてクラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が興味のある職業についてクラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 を教科書やワークシートによって学習する。学習内容をパワーポイントで提示する。ペアワーク、及びチームワークを行う。 教科書やワークシートによって学習する。ペアワーク、及びチームワークを行う。	【知識・技能】 仮定法過去 <If S' + 過去形 [were] ~, S would [could]…>の意味・用法を理解できる。 【思考・判断・表現】 自分が興味のある職業についてクラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が興味のある職業についてクラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする。	○	○	○	9	
合計								105

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 外国語 科目 総合英語Ⅰ

教 科： 外国語 科 目： 総合英語Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書： （ 入門英文問題精講(4訂版)、中学英語長文2 ）

教科	外国語	の目標：
【知識及び技能】 外国語の基本的な文法、語彙、発音を理解し、聞く、話す、読む、書くの技能を高める能力を養う。		
【思考力、判断力、表現力等】 外国語で自分の考えや意見を論理的に表現し、異文化や異なる視点を理解しながらコミュニケーションを行う力を養う。		
【学びに向かう力、人間性等】 外国語を学び続ける姿勢を持ち、異文化に対する理解や敬意を深め、国際的な視野を広げる態度を育む。		

科目		の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
読解に必要な語彙や文法の基礎知識を習得し、実際の英文でそれを運用できる。	筆者の主張や意図を読み取る力を身につける。	英文を読むことへの関心や目的意識を持ち、自主的に学習に取り組む。
文構造や指示語・接続語などの機能を理解し、情報のつながりを把握できる。	複数の英文情報を比較・整理し、自分の考えを根拠とともに表現できる。	他者の意見や解釈を尊重しながら、協働的に理解を深める姿勢を育む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元1 区と節 【知識及び技能】 文中の区と節の構造を理解し、適切に識別できる。 【思考力、判断力、表現力等】 文脈に応じて区と節を使い分け、意味の異なる英文を構成できる。 【学びに向かう力、人間性等】 文の構造に対する興味関心を持ち、表現の違いを積極的に探求できる。	オリエンテーション 長文読解の学習法について 高校英語の振り返り 高校卒業後、自主的に英語学習をする際に活用できる勉強法やツールを学ばせる。（英語辞書、翻訳ツール、AIの活用法） 名詞節・形容詞節・副詞節の働きと区との違いを理解させる。 句（不定詞句・動名詞句など）の構造と用法を文章の中で扱う。	【知識・技能】 区と節の構造や用法を正確に理解し、識別できている。 【思考・判断・表現】 文脈に応じて区と節を適切に使い、意味のある英文を作成している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文構造に関心を持ち、課題に意欲的に取り組んで学習を深めている。	○	○	○	2
	単元2 主語の把握（前置詞＋名詞） 【知識及び技能】 前置詞句の構造と機能を理解し、主語と修飾語を正しく識別できる。 【思考力、判断力、表現力等】 複雑な語順の文において、文の骨格を分析し、正確に読み取る力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 文構造の理解に粘り強く取り組み、論理的な読解力を高めようとする態度を育成する。	前置詞句が主語でないことを理解し、真の主語を見抜く力を養う。 前置詞＋名詞が修飾語である例を通して識別力を高める。 文構造を図式化し、主語・述語の関係を明確にする練習を行う。	【知識・技能】 前置詞句と主語の違いを理解し、正確に主語を特定している。 【思考・判断・表現】 文構造を分析し、前置詞句に惑わされずに文の骨格を明確にしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文構造の理解に継続して取り組み、論理的に読解しようとする姿勢を示している。	○	○	○	4
	単元3 動詞の把握（受動態＋不定詞） 【知識及び技能】 受動態と不定詞の文構造を理解し、文中の正しい動詞を判断できる。 【思考力、判断力、表現力等】 受動態＋不定詞の構文の意味や意図を理解し、適切に訳出・表現する力を育てる。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な表現に対する興味を持ち、主体的に表現の幅を広げようとする姿勢を育む。	受動態と不定詞の構造を理解し、主語と動詞の関係を正確に把握する。 不定詞の主語との関係に注目し、意味の違いを理解させる。 受動態＋不定詞の文型を整理し、語順と意味を確認する。	【知識・技能】 受動態と不定詞の構造や用法を理解し、適切に識別している。 【思考・判断・表現】 受動態＋不定詞の構文の意味を判断し、適切に訳したり使ったりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 表現の違いに関心を持ち、自ら進んで応用表現を学ぼうとしている。	○	○	○	6
	単元4 動詞の把握（分詞との区別） 【知識及び技能】 分詞と動詞の形・機能の違いを理解し、述語動詞を正確に見抜く力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 分詞か述語かを文脈から判断し、文構造を的確に読み取る力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 曖昧な構造に対して積極的に考え、正しく理解しようとする学習姿勢を育成する。	動詞と形容詞的分詞を区別し、述語動詞を正確に見極める力を養う。 現在分詞・過去分詞の働きを整理し、役割の違いを明確にする。 分詞と述語動詞の位置や形の違いを意識して判断させる。	【知識・技能】 分詞と述語動詞の違いを理解し、文中で正しく識別している。 【思考・判断・表現】 文脈や語順から述語か分詞かを判断し、正しい文構造を導き出している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文法的に曖昧な文にも積極的に向き合い、粘り強く解決しようとしている。	○	○	○	6

2 学 期	単元5 主語の把握（文頭の長い副詞句） 【知識及び技能】 副詞句が主語でないことを理解し、語順や構文の基本に基づいて文を読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 複雑な語順でも主語・述語の関係を見抜き、論理的に文を解析・理解する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 難解な構文にも前向きに取り組み、正確に読み解こうとする意欲を高める。	文頭の副詞句に惑わされず、主語と動詞の一致を正しく捉える。 修飾語と文の骨格（主語・述語）を区別する力を養う。	【知識・技能】 副詞句と主語の違いを理解し、複雑な語順でも主語を正確に把握している。 【思考・判断・表現】 文頭の長い副詞句に惑わされず、文の構造を論理的に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 難解な構文に対しても前向きに取り組み、主体的に理解しようとしている。	○	○	○	6
	単元6 ～ingの働き（動名詞） 【知識及び技能】 動名詞の用法を理解し、文中で正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 動名詞を用いた文を自ら構成し、場面に応じて表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 新しい文法事項に意欲的に取り組み、積極的に学習に参加することができる。	動名詞の基本的な形と主語・目的語での使い方を理解させる。 likeやenjoyなどの動詞の目的語としての動名詞の役割を練習させる。 日常生活や趣味に関する文を動名詞を使って書かせる活動を行う。	【知識・技能】 動名詞の形と用法を理解し、正確に使っている。 【思考・判断・表現】 動名詞を適切に用いて、自分の考えを英語で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に活動に参加し、進んで英語を使おうとしている。	○	○	○	6
	単元7 ～ingの働き（動詞か現在分詞） 【知識及び技能】 動詞と現在分詞の違いを理解し、文中で識別して使い分けができる。 【思考力、判断力、表現力等】 現在分詞を使って場面を描写したり、説明したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 観察力を働かせ、細かな違いに注意して学習する姿勢をもつことができる。	be動詞＋現在分詞による進行形との違いを例文で比較させる。 現在分詞が名詞を修飾する用法を絵や映像を用いて理解させる。 現在分詞を使って、行動や状況を描写する文を作らせる練習を行う。	【知識・技能】 動詞と現在分詞の機能の違いを理解し、使い分けている。 【思考・判断・表現】 現在分詞を使って具体的な情景や動作を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文法的な違いに関心をもち、積極的に理解しようとしている。	○	○	○	5
	単元8 ingの働（分詞構文） 【知識及び技能】 分詞構文の形と意味を理解し、英文の中で使えるようにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 分詞構文を使って理由・時・条件などを表す複文を構成できる。 【学びに向かう力、人間性等】 表現の幅を広げることの大切さを認識し、学習に前向きに取り組むことができる。	分詞構文と接続詞を使った文の変換練習で意味の違いを理解させる。 典型的な分詞構文（～しながら、～したのでなど）のパターンを習得させる。 写真や動画を見て状況を説明する文を分詞構文で作成させる活動を行う。	【知識・技能】 分詞構文の形や意味を理解し、適切に使っている。 【思考・判断・表現】 分詞構文を使って複雑な内容を簡潔に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 難易度の高い文法事項にも積極的に取り組みようとしている。	○	○	○	5
	単元9 関係代名詞と関係副詞 【知識及び技能】 関係代名詞と関係副詞の使い方と違いを理解し、正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 関係詞を使って情報を補足する複文を自分で構成することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の意見や説明を深く理解しようとする姿勢を育てることができる。	who, which, that, when, whereなどの関係代名詞と関係副詞の基本的な用法を理解させる。 関係副詞（when, where, why）の使い方を具体的な例とともに指導する。 関係詞を用いて人物や場所について詳しく説明する作文を行う。	【知識・技能】 関係代名詞と関係副詞の用法を正確に理解し、使っている。 【思考・判断・表現】 関係詞を使った複文を論理的に構成し、情報を整理して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 相手にわかりやすく伝えることを意識しながら文を工夫している。	○	○	○	6
	単元10 等位接続詞と従属接続詞 【知識及び技能】 等位接続詞と従属接続詞の違いを理解し、文の構造に応じて使い分けことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 接続詞を使って因果・対比・選択などの論理的関係を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 意見や主張を明確に伝えるために論理的構成を意識することができる。	and, but, orなどの等位接続詞の役割と使い方を確認させる。 because, although, ifなどの従属接続詞による文の構造を理解させる。 意見文や説明文に接続詞を使って論理の流れを明確にする練習を行う。	【知識・技能】 等位接続詞と従属接続詞の用法を理解し、適切に使っている。 【思考・判断・表現】 接続詞を用いて論理的な文や意見を構成している。 【主体的に学習に取り組む態度】 考えを明確に伝えるために表現を工夫しようとしている。	○	○	○	6

[illegible]

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 外国語 科目 ディベート・ディスカッションⅠ

教科：外国語 科目：ディベート・ディスカッションⅠ 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（なし）

教科 外国語	の目標：
【知識及び技能】 外国語の基本的な文法、語彙、発音を理解し、聞く、話す、読む、書くの技能を高める能力を養う。	
【思考力、判断力、表現力等】 外国語で自分の考えや意見を論理的に表現し、異文化や異なる視点を理解しながらコミュニケーションを行う力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】 外国語を学び続ける姿勢を持ち、異文化に対する理解や敬意を深め、国際的な視野を広げる態度を育む。	

科目	の目標：
【知識及び技能】 現代社会に関する語彙・表現を習得し、論理的に意見を構成するための基本スキルを身に付ける。	
【思考力、判断力、表現力等】 多様な情報を批判的に分析し、自分の考えを論理的・説得的に構築して発信できる。	
【学びに向かう力、人間性等】 異文化や異なる価値観を尊重し、英語を用いた協働的な議論に主体的に取り組む。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元1 ・効果的な自己紹介 ・意見を言う・理由を1つ添える。 「I like... because...」の徹底して、好き・嫌いだけでなく、その理由を伝える。 【知識及び技能】 英字新聞やニュース動画（YouTube）等を通じて、時事問題に関する標準的な語彙や背景知識を理解している。 ディベートやディスカッションに必要な「型」（PREP法、賛成・反対の表明、反論の定型句など）を習得し、適切に使用できる。 単語テストを通じて、継続的に語彙力を強化し、正確な発音や綴りで表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 提示されたトピックに対し、多角的な視点（メリット・デメリットなど）から情報を整理し、自分の立場を判断できる。 ALTや他の生徒とのやり取りにおいて、相手の主張を素早く理解し、根拠に基づいた適切な応答や質問ができる。 パフォーマンステストにおいて、文脈に応じた適切な表現を選択し、聞き手にとって分かりやすい構成でスピーキングができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の意見を伝えるだけでなく、相手の意見を尊重して傾聴し、建設的な議論を成立させようとする態度を持つ。 ALTとのコミュニケーションを積極的に楽しみ、未知のトピックに対しても粘り強く理解・発信しようとする。 評価（単語テストやスピーキングテスト）の結果を振り返り、自らの英語運用能力の向上に向けて主体的に学習を継続する。	・新聞記事（英検3級レベル）のリスニング ・効果的な自己紹介 ・自己紹介原稿の作成 ・自己紹介（プレゼン形式）	【知識・技能】 I like... / I want... 等の基本フレーズと、becauseを用いた理由を正しく発音・表現できる。 【思考・判断・表現】 2つの選択肢から自分に合ったものを1つ選び、その理由を1つ提示している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ALTやペアに対し、アイコンタクトを保ちながら自分の言葉で伝えようとしている。	○	○	○	8
	単元2 ・1対1のショート・インタビュー ・2つの選択肢から1つ選び、理由を1つ述べる。 【知識及び技能】 英字新聞やニュース動画（YouTube）等を通じて、時事問題に関する標準的な語彙や背景知識を理解している。 ディベートやディスカッションに必要な「型」（PREP法、賛成・反対の表明、反論の定型句など）を習得し、適切に使用できる。 単語テストを通じて、継続的に語彙力を強化し、正確な発音や綴りで表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 提示されたトピックに対し、多角的な視点（メリット・デメリットなど）から情報を整理し、自分の立場を判断できる。 ALTや他の生徒とのやり取りにおいて、相手の主張を素早く理解し、根拠に基づいた適切な応答や質問ができる。 パフォーマンステストにおいて、文脈に応じた適切な表現を選択し、聞き手にとって分かりやすい構成でスピーキングができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の意見を伝えるだけでなく、相手の意見を尊重して傾聴し、建設的な議論を成立させようとする態度を持つ。 ALTとのコミュニケーションを積極的に楽しみ、未知のトピックに対しても粘り強く理解・発信しようとする。 評価（単語テストやスピーキングテスト）の結果を振り返り、自らの英語運用能力の向上に向けて主体的に学習を継続する。	・単語テスト20問 ・新聞記事（英検3級レベル）のリスニング ・YouTube動画の視聴とQA ・インタビューの質問を作成 ・2つの選択肢から1つを選びそれに対する理由を考える	【知識・技能】 I like... / I want... 等の基本フレーズと、becauseを用いた理由を正しく発音・表現できる。 【思考・判断・表現】 2つの選択肢から自分に合ったものを1つ選び、その理由を1つ提示している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ALTやペアに対し、アイコンタクトを保ちながら自分の言葉で伝えようとしている。	○	○	○	6

	単元3 ・比較して選ぶ（意志決定） 「A is better than B because…」の構文を使って、選択の理由を伝える。 【知識及び技能】 英字新聞やニュース動画（YouTube）等を通じて、時事問題に関する標準的な語彙や背景知識を理解している。 ディベートやディスカッションに必要な「型」（PREP法、賛成・反対の表明、反論の定型句など）を習得し、適切に使用できる。 単語テストを通じて、継続的に語彙力を強化し、正確な発音や綴りで表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 提示されたトピックに対し、多角的な視点（メリット・デメリットなど）から情報を整理し、自分の立場を判断できる。 ALTや他の生徒とのやり取りにおいて、相手の主張を素早く理解し、根拠に基づいた適切な応答や質問ができる。 パフォーマンステストにおいて、文脈に応じた適切な表現を選択し、聞き手にとって分かりやすい構成でスピーキングができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の意見を伝えるだけでなく、相手の意見を尊重して傾聴し、建設的な議論を成立させようとする態度を持つ。 ALTとのコミュニケーションを積極的に楽しみ、未知のトピックに対しても粘り強く理解・発信しようとする。 評価（単語テストやスピーキングテスト）の結果を振り返り、自らの英語運用能力の向上に向けて主体的に学習を継続する。	・単語テスト20問 ・新聞記事（英検3級レベル）のリスニング ・YouTube動画の視聴とQA ・議論を呼んでいる二択問題をグループごとに考える。 ・2つの選択肢から1つを選びそれに対する理由を考える	【知識・技能】 A is better than B 等の比較表現や、“How about you?” 等の質問表現を適切に使える。 【思考・判断・表現】 2つの選択肢を比較し、相手に伝わる具体的な理由（便宜性、価格、好み等）を選んで述べている。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ内で他者の意見を尊重して聞き、合意形成のために積極的に発言している。	○	○	○	6
	単元4 ・3人1組のディスカッション ・旅行先や証食のメニューを相談して決める。なぜそれを選択したのか言えるようにする。 【知識及び技能】 英字新聞やニュース動画（YouTube）等を通じて、時事問題に関する標準的な語彙や背景知識を理解している。 ディベートやディスカッションに必要な「型」（PREP法、賛成・反対の表明、反論の定型句など）を習得し、適切に使用できる。 単語テストを通じて、継続的に語彙力を強化し、正確な発音や綴りで表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 提示されたトピックに対し、多角的な視点（メリット・デメリットなど）から情報を整理し、自分の立場を判断できる。 ALTや他の生徒とのやり取りにおいて、相手の主張を素早く理解し、根拠に基づいた適切な応答や質問ができる。 パフォーマンステストにおいて、文脈に応じた適切な表現を選択し、聞き手にとって分かりやすい構成でスピーキングができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の意見を伝えるだけでなく、相手の意見を尊重して傾聴し、建設的な議論を成立させようとする態度を持つ。 ALTとのコミュニケーションを積極的に楽しみ、未知のトピックに対しても粘り強く理解・発信しようとする。 評価（単語テストやスピーキングテスト）の結果を振り返り、自らの英語運用能力の向上に向けて主体的に学習を継続する。	・単語テスト20問 ・新聞記事（英検3級レベル）のリスニング ・YouTube動画の視聴とQA ・旅行先をグループごとに話し合い決定する。なぜそこを選んだのか、英語で言えるようにその土地の魅力を考える。 ・2つの選択肢から1つを選びそれに対する理由を考える	【知識・技能】 A is better than B 等の比較表現や、“How about you?” 等の質問表現を適切に使える。 【思考・判断・表現】 2つの選択肢を比較し、相手に伝わる具体的な理由（便宜性、価格、好み等）を選んで述べている。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ内で他者の意見を尊重して聞き、合意形成のために積極的に発言している。	○	○	○	8
2	単元5 ・反論への準備（Opinion & Reason 2） ・反対の意見を理由を2つ添えて言う。 ・接続詞が使えるようにする。 【知識及び技能】 英字新聞やニュース動画（YouTube）等を通じて、時事問題に関する標準的な語彙や背景知識を理解している。 ディベートやディスカッションに必要な「型」（PREP法、賛成・反対の表明、反論の定型句など）を習得し、適切に使用できる。 単語テストを通じて、継続的に語彙力を強化し、正確な発音や綴りで表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 提示されたトピックに対し、多角的な視点（メリット・デメリットなど）から情報を整理し、自分の立場を判断できる。 ALTや他の生徒とのやり取りにおいて、相手の主張を素早く理解し、根拠に基づいた適切な応答や質問ができる。 パフォーマンステストにおいて、文脈に応じた適切な表現を選択し、聞き手にとって分かりやすい構成でスピーキングができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の意見を伝えるだけでなく、相手の意見を尊重して傾聴し、建設的な議論を成立させようとする態度を持つ。 ALTとのコミュニケーションを積極的に楽しみ、未知のトピックに対しても粘り強く理解・発信しようとする。 評価（単語テストやスピーキングテスト）の結果を振り返り、自らの英語運用能力の向上に向けて主体的に学習を継続する。	・単語テスト20問 ・新聞記事（英検3級レベル）のリスニング ・YouTube動画の視聴とQA ・ALTに自分たちの作成した旅行パッケージを売り込むために、相手の旅行先に対する反対意見を考える。 ・反対意見を2つの理由を添えて発表する。	【知識・技能】 First, Second... 等の接続詞や、“I agree/disagree” 等の反対意見の型を正しく使える。 【思考・判断・表現】 1つの主張に対し、多角的な視点から2つ以上の理由を構成し、論理の一貫性を保っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 相手の反論に対しても、“I see, but...” 等の表現を使い、対話を継続しようと試みている。	○	○	○	8

学 期	単元6 ・簡易ディベート (2 vs 2) ・「制服は必要か？」など身近な話題について肯定派と否定派に分かれて自分の意見とその理由を伝える。 【知識及び技能】 英字新聞やニュース動画 (YouTube) 等を通じて、時事問題に関する標準的な語彙や背景知識を理解している。 ディベートやディスカッションに必要な「型」(PREP法、賛成・反対の表明、反論の定型句など) を習得し、適切に使用できる。 単語テストを通じて、継続的に語彙力を強化し、正確な発音や綴りで表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 提示されたトピックに対し、多角的な視点(メリット・デメリットなど) から情報を整理し、自分の立場を判断できる。 ALTや他の生徒とのやり取りにおいて、相手の主張を素早く理解し、根拠に基づいた適切な応答や質問ができる。 パフォーマンステストにおいて、文脈に応じた適切な表現を選択し、聞き手にとって分かりやすい構成でスピーキングができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の意見を伝えるだけでなく、相手の意見を尊重して傾聴し、建設的な議論を成立させようとする態度を持つ。 ALTとのコミュニケーションを積極的に楽しみ、未知のトピックに対しても粘り強く理解・発信しようとする。 評価(単語テストやスピーキングテスト) の結果を振り返り、自らの英語運用能力の向上に向けて主体的に学習を継続する。	・単語テスト20問 ・新聞記事 (英検3級レベル) のリスニング ・YouTube動画の視聴とQA 「制服は必要か？」賛成派と反対派の2つのグループに分かれて、それぞれの意見とその理由を2つ考える。 ・反対意見を2つの理由を添えて発表する。	【知識・技能】 First, Second... 等の接続詞や、“I agree/disagree” 等の反対意見の型を正しく使える。 【思考・判断・表現】 1つの主張に対し、多角的な視点から2つ以上の理由を構成し、論理の一貫性を保っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 相手の反論に対しても、“I see, but...” 等の表現を使い、対話を継続しようと試みている。	○	○	○	8
	単元7 ・データや根拠を引用し、自分の意見に説得力を持たせる。 ・「According to...」などの表現を使って、商業高校らしい話題について意見を述べる。 【知識及び技能】 英字新聞やニュース動画 (YouTube) 等を通じて、時事問題に関する標準的な語彙や背景知識を理解している。 ディベートやディスカッションに必要な「型」(PREP法、賛成・反対の表明、反論の定型句など) を習得し、適切に使用できる。 単語テストを通じて、継続的に語彙力を強化し、正確な発音や綴りで表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 提示されたトピックに対し、多角的な視点(メリット・デメリットなど) から情報を整理し、自分の立場を判断できる。 ALTや他の生徒とのやり取りにおいて、相手の主張を素早く理解し、根拠に基づいた適切な応答や質問ができる。 パフォーマンステストにおいて、文脈に応じた適切な表現を選択し、聞き手にとって分かりやすい構成でスピーキングができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の意見を伝えるだけでなく、相手の意見を尊重して傾聴し、建設的な議論を成立させようとする態度を持つ。 ALTとのコミュニケーションを積極的に楽しみ、未知のトピックに対しても粘り強く理解・発信しようとする。 評価(単語テストやスピーキングテスト) の結果を振り返り、自らの英語運用能力の向上に向けて主体的に学習を継続する。	・単語テスト20問 ・新聞記事 (英検3級レベル) のリスニング ・YouTube動画の視聴とQA 「制服は必要か？」賛成派と反対派の2つのグループに分かれて、それぞれの意見とその理由を2つ考える。理由を述べる際にデータを引用して、説得力を持たせる。 ・反対意見を2つの理由を添えて発表する。	【知識・技能】 According to... 等、外部情報やデータを引用する表現を文脈に合わせて活用できる。 【思考・判断・表現】 商業的トピックにおいて、自身の経験だけでなく、具体的な具体例や数字を用いて説得力を高めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 単語テストやAsahi Weeklyでの学習語彙を、実際の議論の中で自ら進んで活用しようとしている。	○	○	○	6
	単元8 ・より幅広く商業・経済に関連した話題についてディスカッションを行う。 ・「現金 vs キャッシュレス」などの身近な話題について2つのグループに分かれてディスカッションする。 【知識及び技能】 英字新聞やニュース動画 (YouTube) 等を通じて、時事問題に関する標準的な語彙や背景知識を理解している。 ディベートやディスカッションに必要な「型」(PREP法、賛成・反対の表明、反論の定型句など) を習得し、適切に使用できる。 単語テストを通じて、継続的に語彙力を強化し、正確な発音や綴りで表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 提示されたトピックに対し、多角的な視点(メリット・デメリットなど) から情報を整理し、自分の立場を判断できる。 ALTや他の生徒とのやり取りにおいて、相手の主張を素早く理解し、根拠に基づいた適切な応答や質問ができる。 パフォーマンステストにおいて、文脈に応じた適切な表現を選択し、聞き手にとって分かりやすい構成でスピーキングができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の意見を伝えるだけでなく、相手の意見を尊重して傾聴し、建設的な議論を成立させようとする態度を持つ。 ALTとのコミュニケーションを積極的に楽しみ、未知のトピックに対しても粘り強く理解・発信しようとする。 評価(単語テストやスピーキングテスト) の結果を振り返り、自らの英語運用能力の向上に向けて主体的に学習を継続する。	・単語テスト20問 ・新聞記事 (英検3級レベル) のリスニング ・YouTube動画の視聴とQA 「制服は必要か？」賛成派と反対派の2つのグループに分かれて、それぞれの意見とその理由を2つ考える。理由を述べる際にデータを引用して、説得力を持たせる。 ・反対意見を2つの理由を添えて発表する。	【知識・技能】 According to... 等、外部情報やデータを引用する表現を文脈に合わせて活用できる。 【思考・判断・表現】 商業的トピックにおいて、自身の経験だけでなく、具体的な具体例や数字を用いて説得力を高めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 単語テストやAsahi Weeklyでの学習語彙を、実際の議論の中で自ら進んで活用しようとしている。	○	○	○	8

[illegible]

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 家庭 科目 家庭総合

教科： 家庭 科目： 家庭総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書： （ 2東書 家総701「家庭総合 自立・共生・創造」 ）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】 家庭生活に必要な基本的な知識や技術（料理、衣服、住居など）を理解し、実生活に役立てる能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 家庭に関する課題に対して創造的に解決策を考え、適切に判断し、実践的に表現する力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 自立した生活を営むための意識を持ち、他者との協力を大切にし、家庭や社会での役割を理解し、実践する姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元1 衣生活の科学と文化 【知識及び技能】 ・衣生活を取り巻く課題、日本と世界の衣文化など、被服と人との関わりについて理解を深めさせる。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、身体特性と被服の機能及び着装について理解させるとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができるようにする。 ・被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生及び被服管理について科学的に理解させ、衣生活の自立に必要な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装や日本の衣文化の継承・創造について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の充実向上を図るために実践する態度を育てる。	衣生活をつくる 1 被服の役割を考える ・被服の機能 2 被服を入手する ・被服の表示 ・被服の材料 3 被服を管理する ・被服の手入れ ・洗剤と漂白剤の働き 4 被服を作る ・被服の構成 ・採寸とサイズ ・被服製作 5 衣生活の文化と知恵 ・生活文化と被服 ・世界の民族衣装 6 これからの衣生活 ・被服の生産と消費 ・環境に配慮した衣生活	【知識・技能】 ・衣生活を取り巻く課題、日本と世界の衣文化など、被服と人との関わりについて理解を深めている。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、身体特性と被服の機能及び着装について理解しているとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。 ・被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生及び被服管理について科学的に理解し、衣生活の自立に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装や日本の衣文化の継承・創造について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	23
	単元2 期末考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1

[illegible]

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 家庭 科目 保育基礎

教科 家庭 の目標：

科目 の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元1 ガイダンス 子どもの保育 【知識及び技能】 保育の意義と方法、保育の環境の特徴と役割について理解を深めさせる 【思考力、判断力、表現力等】 子供の心身の状態や発達に応じた保育の方法とその環境について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫できる力を育成する 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの保育の方法や保育の環境について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に実践する態度を育てる	保育の意義 保育の方法 保育の環境	【知識・技能】 保育の意義と方法、保育の環境の特徴と役割について理解を深めている 【思考・判断・表現】 子供の心身の状態や発達に応じた保育の方法とその環境について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもの保育の方法や保育の環境について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に実践しようとしている	○	○	○	18
	単元2 子供の発達 【知識及び技能】 生涯発達における乳幼児期について、基本的な発達の特性と心身の様々な機能の発達を発達時期ごとの子どもの姿を通して理解を深めさせる 【思考力、判断力、表現力等】 乳幼児期の子どもの健全な心身の発達について課題を発見し、解決に向けて考察し、工夫する力を身に付けさせる 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの発達について自ら学び保育に主体的かつ協働的に実践する態度を育てる	子供の発達の特性 乳児期の発達 幼児期の発達	【知識・技能】 生涯発達における乳幼児期について、基本的な発達の特性と心身の様々な機能の発達を発達時期ごとの子どもの姿を通して理解を深めている 【思考・判断・表現】 乳幼児期の子どもの健全な心身の発達について課題を発見し、解決に向けて考察し、工夫する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもの発達について自ら学び保育に主体的かつ協働的に実践しようとしている	○	○	○	5
	単元3 定期考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○		1
	単元4 子供の文化 【知識及び技能】 子供の文化、遊びと表現活動について理解を深め、関連する技術を身に付けることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 子供の健やかな、発達を促す遊びや表現活動について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する力を育てる。 【学びに向かう力、人間性等】 子供の文化について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に実践しようとする態度を育成する。	子供の文化の意義 子供の遊びと表現活動 子供の文化を支える場	【知識・技能】 子供の文化、遊びと表現活動について理解を深め、関連する技術を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 子供の健やかな、発達を促す遊びや表現活動について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 子供の文化について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に実践しようとしている。	○	○	○	25

2 学 期	単元5 子どもの生活と養護 【知識及び技能】 子供の生活と養護について体系的に理解し、子供の健康的な生活を支える保育の技術を身に付けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 子供の生活と適切な用語について、課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する力を育てる 【学びに向かう力、人間性等】 子供の生活と養護について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に実践しようとする態度を育成する。	乳幼児期の生活の特徴と養護 生活習慣の形成 健康管理と事故防止	【知識・技能】 子供の生活と養護について理解を深し、適切な生活習慣の形成や健康と安全管理に関する保育の技術を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 子供の生活と適切な用語について、課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 子供の生活と養護について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に実践しようとしている。	○	○	○	2
	単元6 定期考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				1
3 学 期	単元7 子どもの生活と養護 【知識及び技能】 子供の生活と養護について体系的に理解し、子供の健康的な生活を支える保育の技術を身に付けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 子供の生活と適切な用語について、課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する力を育成する 【学びに向かう力、人間性等】 子供の生活と養護について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に実践しようとする態度を育成する。	乳幼児期の生活の特徴と養護 生活習慣の形成 健康管理と事故防止	【知識・技能】 子供の生活と養護について理解を深し、適切な生活習慣の形成や健康と安全管理に関する保育の技術を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 子供の生活と適切な用語について、課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 子供の生活と養護について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に実践しようとしている。	○	○	○	12
	単元8 子供の福祉 【知識及び技能】 児童観の変遷や児童福祉の理念と制度について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 子供の福祉を支える場の役割について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する力を育てる 【学びに向かう力、人間性等】 子供の福祉について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組もうとする。	児童館の変遷 児童福祉の理念と関係法規・制度 子供の福祉を支える弁場	【知識・技能】 児童観の変遷や児童福祉の理念と制度について理解できる。 【思考・判断・表現】 子供の福祉を支える場の役割について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 子供の福祉について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組もうとする。	○	○	○	5
	単元9 定期考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和8年度（3学年用）

教科 商業

科目 総合実践

教科：商業

科 目：総合実践

単位数：3 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：川口/花香/重石/蔵田/宇野/加藤喜/本多

使用教科書：使用なし

教科 商業

の目標：

【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、ビジネスを通じ地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。 商業の各分野について実務に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	商業の各分野の学習に関連する職業や業務に関して、地域や産業界と連携して具体的な実務について理解を深める学習活動及び実務に即して知識、技術などを総合的に活用する学習活動を通して、ビジネスを担う担当者としての意識を高めるとともに、ビジネスの実務に対応することができるようにする。	ビジネスの実務における課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 ビジネスの実務に対応する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
単元1 開始業務・オリエンテーション 会社組織を意識した市場取引 【知識及び技能】 会社組織を意識した授業 簿記や情報処理、商業の総合的な知識を必要とする科目であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 会社組織の一員であり、自らの会社を営む責任感と他会社と協働して発展していく学習の心構えを養う。 【学びに向かう力、人間性等】 自らが会社を営む責任感を態度で示し、他会社と協働して発展していく学習の心構えを記録で残り営業日誌に反映させる。	・開始業務・オリエンテーション ・会社組織を意識した市場取引 ・授業を受けるにあたっての注意点 ・会社の開始に必要な準備 会社開業の業務と同時に1学期には、ビジネスマナー・ベン習字・ビジネスに携わる身だしなみの検査など幅広い実践内容を学ぶ。	【知識・技能】 会社組織を意識した授業であり、かつ簿記や情報処理、商業の総合的な知識を必要とする科目であることを理解する。 【思考・判断・表現】 会社組織の一員であり、自らの会社を営む責任感と他会社と協働して発展していく学習の心構えを養い、営業日誌に記録させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの会社を営む責任感を時間厳守、正しい身だしなみ、および授業準備で表し、他会社と協働して発展していく心構えを記録に残す。	○	○	○	5
単元2 開始業務・開業時に必要な取引 開業時の財務状況から必要な伝票、帳簿作成など簿記の知識からなる業務。 【知識及び技能】 開業仕訳、伝票記入、当座預金出納帳作成、小切手帳や領収証の作成等、主に簿記に関する知識と実務技能から開業の準備をする。 【思考力、判断力、表現力等】 具体的な開業に関わる知識と技能について学び、簿記や財務会計の授業からの応用を自らの会社開業という形で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の会社が開業の運びとなり、さらなる発展を目指すように思える力を養う。	・開始業務・開業時に必要な取引 ・開業時の財務状況から必要な伝票、帳簿作成など簿記の知識からなる業務。	【知識・技能】 開業仕訳、伝票記入、当座預金出納帳作成、小切手帳や領収証の作成等、主に簿記に関する知識と実務技能から開業の準備をする。 【思考・判断・表現】 具体的な開業に関わる知識と技能について学び、簿記や財務会計の授業からの応用を自らの会社開業という形で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己の会社が開業の運びとなり、さらなる発展を目指すように思える力を養う。	○	○	○	5

1 学 期	単元3 指定取引 仕入業務、販売業務 【知識及び技能】 市場の相手、価格を指定して取引をする。売買取引の商品の流れを確認したら相手市場に電話によるアプローチを経て、仕入業務、販売業務を行う。 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネス基礎で学んだ売買取引の流れを応用できるか。相手市場と正しい手順で商品売買の取引ができるか学習する。 【学びに向かう力、人間性等】 仕入取引、販売取引とも売買に必要な取引業務および書類作成が多い。また相手とのコミュニケーション能力も必要なため、実務における課題解決の力を養うことができる。	指定取引 ・売買取引の商品の流れ ・相手市場の確認 ・仕入業務、販売業務	【知識・技能】 市場の相手、価格を指定して取引をする。売買取引の商品の流れを確認したら相手市場に電話によるアプローチを経て、仕入業務、販売業務を行う。 【思考・判断・表現】 ビジネス基礎で学んだ売買取引の流れを応用できるか。相手市場と正しい手順で商品売買の取引ができること。 【主体的に学習に取り組む態度】 仕入取引、販売取引とも売買に必要な取引業務および書類作成が多い。また相手とのコミュニケーション能力も必要なため、実務における課題解決の力を付ける。	○	○	○	9
	単元4 月末業務 給料の支払い 等 【知識及び技能】 簿記、財務会計の知識から仕訳、伝票起票、帳簿締め切り等の処理を行う。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの会社月末業務を行い、一連の会社業務の流れを理解する。簿記、財務会計の知識から正しい仕訳、伝票起票、帳簿締め切り等の処理を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 自らの会社月末業務を行い、一連の会社業務の流れを理解する。簿記、財務会計の知識から正しい仕訳、伝票起票、帳簿締め切り等の処理を行う。	月末業務 ・給料の支払い ・水道光熱費の処理 ・未払金の処理 ・帳簿の締め切り	【知識・技能】 簿記、財務会計の知識から仕訳、伝票起票、帳簿締め切り等の処理を行う。 【思考・判断・表現】 自らの会社月末業務を行い、一連の会社業務の流れを理解する。簿記、財務会計の知識から正しい仕訳、伝票起票、帳簿締め切り等の処理を行う。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	5
	単元5 自由取引 仕入業務、販売業務 【知識及び技能】 市場の相手、価格を自分で交渉して取引をする。売買取引の商品の流れを確認したら相手市場に電話によるアプローチを経て、仕入業務、販売業務を行う。 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネス基礎で学んだ売買取引の流れを応用できるか。相手市場と正しい手順で商品売買の取引ができるか学習する。 【学びに向かう力、人間性等】 仕入取引、販売取引とも売買に必要な取引業務および書類作成が多い。また相手とのコミュニケーション能力も必要なため、実務における課題解決の力を養うことができる。	自由取引 ・売買取引の商品の流れ ・相手市場の確認 ・仕入業務、販売業務 指定取引と違い、価格交渉や相手の決定にコミュニケーション能力が大いに必要となる。	【知識・技能】 市場の相手、価格を自分で交渉して取引をする。売買取引の商品の流れを確認したら相手市場に電話によるアプローチを経て、仕入業務、販売業務を行う。 【思考・判断・表現】 ビジネス基礎で学んだ売買取引の流れを応用できるか。相手市場と正しい手順で商品売買の取引ができること。 【主体的に学習に取り組む態度】 仕入取引、販売取引とも売買に必要な取引業務および書類作成が多い。また相手とのコミュニケーション能力も必要なため、実務における課題解決の力を付ける。	○	○	○	5
	単元6 1学期のまとめ ・会社設立と売買業務の流れ まとめ ・ビジネスマナー 確認 ・期末考査確認 ・提出物の整理、片づけ 【知識及び技能】 1学期のまとめ ・会社設立と売買業務の流れ まとめ ・ビジネスマナー 確認 ・期末考査確認 ・提出物の整理、片づけ 【思考力、判断力、表現力等】 1学期に学習した内容を提出物、考査に反映することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 1学期に学んだ内容を活かし、2学期ではさらなる学びにつなげることができる。	1学期のまとめ ・会社設立と売買業務の流れ まとめ ・ビジネスマナー 確認 ・期末考査確認 ・提出物の整理、片づけ	【知識・技能】 1学期のまとめ ・会社設立と売買業務の流れ ・ビジネスマナー 確認 ・期末考査確認 ・提出物の整理、片づけ 理解していること 【思考・判断・表現】 1学期に学習した内容を提出物、考査に反映できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1学期に学んだ内容を活かし、2学期ではさらなる学びにつなげることができる。	○	○	○	3

2 学 期	単元7 キャリア甲子園ガイダンス 【知識及び技能】 会社組織を理解する。 会社組織の中での自分の役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 与えられた業務から、必要な業務を洗い出し、仕事を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 会社組織の中で、積極的に業務を遂行する。	・2学期ガイダンス ・キャリア甲子園とは ・チーム（部署）を作る ・社長へのヒアリング ・社内会議Ⅰ ・担当業務の遂行 ・社内会議Ⅱ ・社内会議Ⅱ ・社長への提案 ・業務の振り返り ・キャリア甲子園 ・企業を決定する ・企業を調査研究する	【知識・技能】 会社組織を理解することができる。 会社組織の中での自分の役割を理解することができる。 【思考・判断・表現】 、必要な業務を洗い出し、仕事を見出すことができるか。集めたデータをもとに分析ができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 会社組織の中で、積極的に業務を遂行しようとしているか。	○	○	○	5
	単元8 企業からのテーマ分析 【知識及び技能】 企業の調査・研究をする 【思考力、判断力、表現力等】 与えられたテーマを分析し、思考し、企画として表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 チームワークを意識し、相手の意見を踏まえながら企画をまとめる	・テーマを分析する ・新しい企画を考える ・新しい企画を考える ・ブラッシュアップする ・企画書と発表資料の作成	【知識・技能】 企業の基本情報をまとめることができる。 マーケティングの手法を用いて分析することができる。 【思考・判断・表現】 与えられたテーマをデータや資料を根拠に分析し、企画書に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 チームワークを意識し、相手の意見を踏まえながら企画をまとめることができる。	○	○	○	9
	単元9 新商品やサービスの企画 【知識及び技能】 企画書にまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 商品やサービスの企画をブラッシュアップしていく。 【学びに向かう力、人間性等】 ブラッシュアップしながら、仲間と協働しながら企画を仕上げていく。	・企画書と発表資料の作成 ・企画書と発表資料の作成 ・企画書と発表資料の作成 ・企画書プレゼン提出	【知識・技能】 企画書にまとめる。 【思考・判断・表現】 商品やサービスの企画をブラッシュアップしていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 ブラッシュアップしながら、仲間と協働しながら企画を仕上げていく。	○	○	○	9
	単元10 新商品やサービスの企画 【知識及び技能】 企画書にまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 商品やサービスの企画をブラッシュアップしていく。 【学びに向かう力、人間性等】 ブラッシュアップしながら、仲間と協働しながら企画を仕上げていく。	・企画書と発表資料の作成 ・企画書と発表資料の作成 ・企画書と発表資料の作成 ・企画書プレゼン提出	【知識・技能】 企画書にまとめる。 【思考・判断・表現】 商品やサービスの企画をブラッシュアップしていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 ブラッシュアップしながら、仲間と協働しながら企画を仕上げていく。	○	○	○	9
	単元11 新商品やサービスの企画 【知識及び技能】 チームでまとめた企画をプレゼンテーションする。 【思考力、判断力、表現力等】 チームで考案した企画を的確に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 チームで企画した内容を積極的に発表する。他チームの発表を主体的に聞く。	・企画プレゼン発表 ・企画プレゼン発表 ・企画プレゼン発表 ・活動の振り返り	【知識・技能】 チームでまとめた企画をプレゼンテーションすることができる。 【思考・判断・表現】 チームで考案した企画を的確に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 チームで企画した内容を積極的に発表することができる。。他チームの発表を主体的に聞くことができる。	○	○	○	5
	単元12 新商品やサービスの企画 【知識及び技能】 チームでまとめた企画をプレゼンテーションする。 【思考力、判断力、表現力等】 チームで考案した企画を的確に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 チームで企画した内容を積極的に発表する。他チームの発表を主体的に聞く。	・企画プレゼン発表 ・企画プレゼン発表 ・企画プレゼン発表 ・活動の振り返り	【知識・技能】 チームでまとめた企画をプレゼンテーションすることができる。 【思考・判断・表現】 チームで考案した企画を的確に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 チームで企画した内容を積極的に発表することができる。。他チームの発表を主体的に聞くことができる。	○	○	○	7
	単元13 ライフデザイン：正社員とフリーターの違いについて 【知識及び技能】 正社員とフリーターの雇用形態、生涯賃金の違いについて学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 講義で得た知識や学びを通して自分の考えをまとめ、発表できる力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 講義を聞く姿勢、自主的に調べる力、自己の考えと他者の意見の違いを比較するなどの学びに向かう態度を養う。	自分の人生を計画的かつ豊かに送るために、高校卒業後のライフイベントをひとつひとつ取り上げ、そのイベントから必要となる資金を考え計算し、ライフイベントの知識も併せて学ぶ。 ライフイベントに関係のある事柄を調べ、より確かな情報を収集し、自分の人生の計画に役立てるを目指す。 ・正社員とフリーターの雇用形態、生涯賃金の違いを学習する。	【知識・技能】 講師の派遣も検討し、正社員とフリーターの雇用形態、生涯賃金の違いについて学ぶ。 【思考・判断・表現】 講義で得た知識や学びを通して自分の考えを発表できるようする。 【主体的に学習に取り組む態度】 講義を聞く姿勢、自主的に調べる力、自己の考えと他者の意見の違いを比較するなどの学びに向かう力をつける。	○	○	○	4

3 学 期	単元14 ライフデザイン：生活設計・マネープランについて 【知識及び技能】 マネープランの教材を通して知識・技能を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの生涯設計を思考し、具体的なプランを作成し発表、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自らの生涯設計を思考し、具体的なプランを作成し発表、表現すると同時に他者のプランとの違いを比較するなど学びに向かう力を養う。	・「生活設計・マネープラン」教材を使用して学習する。	【知識・技能】 マネープランの教材として金融経済教育推進機構による資料なども活用し、知識・技能を得る。 【思考・判断・表現】 自らの生涯設計を思考し、具体的なプランを作成し発表、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの生涯設計を思考し、具体的なプランを作成し発表、表現すると同時に他者のプランとの違いを比較するなど学びに向かう力を付ける。	○	○	○	8
	単元15 ライフデザイン：生命保険について 【知識及び技能】 講師の派遣、生命保険文化センターからの資料等、生命保険について幅広い知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 生命保険に対する知識を得て、自分の考えをまとめる。自らの生涯について生命保険との関わりを考え、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 自らの生涯設計の中で生命保険について考えたことを発表し、他者の考えとの違いを比較するなど学びに向かう力を養う。	・生命保険について「ほけんのキホンfor beginners」他、資料や講師から学ぶ。	【知識・技能】 講師の派遣、生命保険文化センターからの資料等、生命保険について幅広い知識を得る。 【思考・判断・表現】 生命保険に対する知識を得て、自分の考えをまとめる。自らの生涯について生命保険との関わりを考え、発表できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの生涯設計の中で生命保険について考えたことを発表し、他者の考えとの違いを比較できる。	○	○	○	4
	単元16 ライフデザイン：資産形成について 【知識及び技能】 金融庁HPの第4章などを参照し、資産形成に必要な知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 資産形成について必要な知識や資産形成の方法において伴うリスクなどを学び、自らの生涯において関わり方を考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自らの生涯設計の中で資産形成について考えたことを発表し、他者の考えとの違いを比較するなど学びに向かう力を養う。	・資産形成について、貯める・増やすを考える。	【知識・技能】 金融庁HPの第4章などを参照し、資産形成に必要な知識を得る。 【思考・判断・表現】 資産形成について必要な知識や資産形成の方法において伴うリスクなどを学び、自らの生涯において関わり方を考えられるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの生涯設計の中で資産形成について考えたことを発表し、他者の考えとの違いを比較できる。	○	○	○	8
	単元17 ライフデザイン：自身のライフプランの作成 【知識及び技能】 「10代からまなぶパーソナルファイナンス」「若手社会人のマネー&ライフプラン」「学生生活マネー&キャリア」「君とみらいとライフプラン」を使用し、自分のライフプランシートを作成する。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の知識に加え、今まで学んだ知識から自らのライフイベントを考え、ライフプランシートを作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 自らのライフプランシートを作成・発表し、他者のプランとの違いを比較するなど学びに向かう力を養う。	・「10代からまなぶパーソナルファイナンス」「若手社会人のマネー&ライフプラン」「学生生活マネー&キャリア」「君とみらいとライフプラン」を使用し、自分のライフプランシートを作成する。	【知識・技能】 「10代からまなぶパーソナルファイナンス」「若手社会人のマネー&ライフプラン」「学生生活マネー&キャリア」「君とみらいとライフプラン」を使用し知識を得る。 【思考・判断・表現】 上記の知識に加え、今まで学んだ知識から自らのライフイベントを考え、ライフプランシートを作成する力を付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らのライフプランシートを作成・発表し、他者のプランとの違いを比較できる力を付ける。	○	○	○	5
	合計						

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 商業 科目 課題研究（ローカルコレレート）

教 科： 商業 科 目： 課題研究（ローカルコレレート） 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ ）

教科 商業	の目標：
【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。	
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。	
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。	

科目	の目標：		
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	地域に根差した調査・研究を行い（現状の課題発見・分析・解決や提案の企画・設計・制作・プレゼンテーション）に関する基礎的な流れや知識を理解するとともに、必要に応じたコンテンツ作成と必要なツールの活用ができる	地域や企業の組織が抱えている課題を6つの側面から考えられる思考力を養う。 市場や顧客のニーズを分析し、地域活性化に向けた経済活動やサービス戦略について論理的に考察する力を養う 多様なツールを活用して分かりやすく表現する力を養う	主体的に役割を果たし、他者と協働しながら課題解決に取り組む態度を養うとともに、実社会における責任感や倫理観、働くことへの意欲を育成する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元1 ・ガイダンス ・授業の目的としての地域や企業の組織が抱えている課題を6つの側面から考える 【知識及び技能】 本授業の目的を的確に把握し、独自の調査・研究活動を行うことができる 【思考力、判断力、表現力等】 本授業の目的を的確に把握し、与えられた課題を表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に役割を果たそうとする態度を身に付ける	・授業の目的と年間の流れの理解 ・授業の目的としての地域や企業の組織が抱えている課題を6つの側面から考える	【知識・技能】 本授業の目的を的確に把握し、独自の調査・研究活動を行うことができる 【思考・判断・表現】 本授業の目的を的確に把握し、与えられた課題を表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に役割を果たそうとする態度を身に付ける				8
	単元2 ・問いの立て方と6Qs（Locus） ・市場調査と情報収集（Locus） ・顧客・地域課題の発見（Locus） 【知識及び技能】 問いの立て方や6Qsの視点、情報収集の方法について理解し、基礎的な調査技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 地域の抱える問題を考察し、課題を6つの視点で捉え、適切な問いを設定し、その内容を整理・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域の置かれた状況を多面的に捉え、課題を主体的に見つけようとする態度を養う。	・問いの立て方の基本 ・6Qs（シックスキューズ）の理解と活用 ・身近な課題の発見方法 ・市場調査の方法（アンケート・観察など） ・情報収集の方法（インターネット・資料活用） ・収集した情報の整理と分析	【知識・技能】 問いの立て方や6Qs、情報収集の方法を理解し、適切に活用できる。 【思考・判断・表現】 課題を多面的に捉え、適切な問いを設定し、論理的に整理して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な課題に関心を持ち、主体的に調査・探究しようとしている。				12
	単元3 ・企業研究 ・地域に根差した企業とグローバル展開の企業を考察する 【知識及び技能】 課題に応じた内容について、理解し、多様なツールを活用した調査・探求ができる 【思考力、判断力、表現力等】 調査・研究の段階で、適切に状況を把握し分析する能力と表現する活用方法を判断し表現できる 【学びに向かう力、人間性等】 多様なツールを活用し、グループワークを通して状況に応じた柔軟性と協調性を発揮できる	・企業研究に伴う多様なツールを使いこなす ・地域の特性を理解し、活性化に向けた考察ができる ・プレゼンテーション	【知識・技能】 課題に応じた内容について、理解し、多様なツールを活用した調査・探求ができる 【思考・判断・表現】 調査・研究の段階で、適切に状況を把握し分析する能力と表現する活用方法を判断し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 多様なツールを活用し、グループワークを通して状況に応じた柔軟性と協調性を発揮できる				15

2 学 期	単元4 期末考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				12
	単元5 ・課題制作 【知識及び技能】 チラシやポスターを通じて、地域に貢献するために、自分たちができることを整理してまとめることができる 【思考力、判断力、表現力等】 提携先に宣伝するために、チラシに必要な要件定義ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 多様なツールを活用し、グループワークを通して状況に応じた柔軟性と協調性を発揮できる	・課題制作 ・制作物の設計 ・ラフ案の作成 ・制作物の制作 ・プレゼンテーション	【知識・技能】 チラシやポスターを通じて、地域に貢献するために、自分たちができることを整理してまとめることができる 【思考・判断・表現】 提携先に宣伝するために、チラシに必要な要件定義ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様なツールを活用し、グループワークを通して状況に応じた柔軟性と協調性を発揮できる				12
	単元6 ・課題の設定 ・地域における現状分析と具体的な提案 【知識及び技能】 市場や顧客のニーズを分析し、地域活性化に向けた経済活動やサービス戦略について論理的に考察することができる 【思考力、判断力、表現力等】 経済活動やサービス戦略について論理的考察のもと、具体的な活動を表現できる 【学びに向かう力、人間性等】 チラシやポスターを通じて、地域に貢献しようとする態度と意欲を養う。	・提携先の設定 ・地域の特性をとらえ、状況把握と展望を考察する	【知識・技能】 市場や顧客のニーズを分析し、地域活性化に向けた経済活動やサービス戦略について論理的に考察することができる 【思考・判断・表現】 経済活動やサービス戦略について論理的考察のもと、具体的な活動を表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 チラシやポスターを通じて、地域に貢献しようとする態度と意欲を養う。				12
	単元7 ・賑わいのある活性化した街を創出していく手法 ・施設整備や改善、イベントの開催やその方法と内容 【知識及び技能】 地域における関係団体との関係づくり 【思考力、判断力、表現力等】 施策を検討し実施に向けた研究を行うとともに、販売促進グッズ等の考察と作成に向けた表現 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組み、他者のアイデアへの理解と共感しあう態度を養う	・関係団体を考察し必要な手立てを分析する ・協力関係構築に向けた方策を考察し、提案力を養う	【知識・技能】 地域における関係団体との関係づくり 【思考・判断・表現】 施策を検討し実施に向けた研究を行うとともに、販売促進グッズ等の考察と作成に向けた表現 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に取り組み、他者のアイデアへの理解と共感しあう態度を養う				10
3 学 期	単元8 ・課題制作：活動に必要なアイテムの制作 ・プレゼンテーション 【知識及び技能】 必要なアイテムの制作と改良を行う 【思考力、判断力、表現力等】 必要とされるアイテムの実効性と効果を分析し、改善点を認識し改良する 【学びに向かう力、人間性等】 調査・探求活動で得られたデータと制作物を用いて、協力関係団体との交渉を实践する	・課題制作 ・制作物の課題分析と改良する能力を養う ・協力関係団体との協業体制を構築する	【知識・技能】 必要なアイテムの制作と改良を行う 【思考・判断・表現】 必要とされるアイテムの実効性と効果を分析し、改善点を認識し改良する 【主体的に学習に取り組む態度】 調査・探求活動で得られたデータと制作物を用いて、協力関係団体との交渉を实践する				12
	単元9 ・成果発表準備 ・成果発表 【知識及び技能】 発表資料の作成方法やプレゼンテーションの基本を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの活動内容や成果を分かりやすく整理し、相手に伝えるように表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の発表を尊重しつつ、自らの考えを積極的に発信しようとする態度を養う。	・発表資料の構作成 ・プレゼンテーション資料の作成 ・発表練習 ・成果発表の実施 ・相互評価と振り返り	【知識・技能】 発表資料作成やプレゼンテーションの方法を理解している。 【思考・判断・表現】 活動内容を整理し、分かりやすく伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に発表に取り組み、他者の意見も尊重している。				12
							合計
							105

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 商業 科目 課題研究（ソーシャルデザイン）

教科： 商業 科目： 課題研究（ソーシャルデザイン） 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書： （ なし ）

教科 商業	の目標：
【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。	
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。	
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。	

科目	の目標：		
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	社会的な問題を解決するためにはどのような問題があるか調査しよりよい社会をつくるために自分たちに何ができるのかを考える。	問題解決に向けて、現状把握をし、多角的な視点で問題を明確化し、原因を分析する。社会的な問題に対する解決策を立案する。また、ビジネスとして、成長できるような立案にすることを心掛ける。	社会的な構成員の一員として主体的な役割を、問題解決に取り組む態度を養うとともに、実社会における責任感や倫理観、ビジネスとして課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元1 ・ ガイダンスと社会的な問題 【知識及び技能】 商業の各分野の学習で身に付けた知識と技能について、実務に即して深化・総合化を図り、課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 深化・統合化された知識、技能などを活用し、課題を(再)発見し、科学的な根拠に基づいてよりよく解決することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習しようとする態度が見られる。	・ 授業の目的と年間の流れの理解 ・ 社会的な問題は何であるかを考え調査する。	【知識・技能】 商業の各分野の学習で身に付けた知識と技能について、実務に即して深化・総合化を図り、課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付けた。 【思考・判断・表現】 深化・統合化された知識、技能などを活用し、課題を(再)発見し、科学的な根拠に基づいてよりよく解決することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習しようとする態度が見られた。	○	○	○	8
	単元2 ・ 問いの立て方と6Qs ・ 市場調査と情報収集（Locu s） ・ 顧客・地域課題の発見（Locu s） 【知識及び技能】 商業の各分野の学習で身に付けた知識と技能について、実務に即して深化・総合化を図り、課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 深化・統合化された知識、技能などを活用し、課題を(再)発見し、科学的な根拠に基づいてよりよく解決することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習しようとする態度が見られる。	・ 問いの立て方の基本を理解する。 ・ 6Qs（シックスキューズ）の理解と活用	【知識・技能】 商業の各分野の学習で身に付けた知識と技能について、実務に即して深化・総合化を図り、課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付けた。 【思考・判断・表現】 深化・統合化された知識、技能などを活用し、課題を(再)発見し、科学的な根拠に基づいてよりよく解決することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習しようとする態度が見られた。	○	○	○	12
	単元3 ・ 地域のサプライチェーンについて（Locu s） 【知識及び技能】 商業の各分野の学習で身に付けた知識と技能について、実務に即して深化・総合化を図り、課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 深化・統合化された知識、技能などを活用し、課題を(再)発見し、科学的な根拠に基づいてよりよく解決することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習しようとする態度が見られる。	・ 地域のサプライチェーンを通じ身近にあるモノやコトの成り立ちがわかるようになる。	【知識・技能】 商業の各分野の学習で身に付けた知識と技能について、実務に即して深化・総合化を図り、課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付けた。 【思考・判断・表現】 深化・統合化された知識、技能などを活用し、課題を(再)発見し、科学的な根拠に基づいてよりよく解決することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習しようとする態度が見られた。	○	○	○	15

2 学 期	単元4 国連で採択されたSDG sについて調査する。 【知識及び技能】 商業の各分野の学習で身に付けた知識と技能について、実務に即して深化・総合化を図り、課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 深化・統合化された知識、技能などを活用し、課題を(再)発見し、科学的な根拠に基づいてよりよく解決することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習しようとする態度が見られる。	SDG sについて企業がどのような取り組みをしているか調査し、発表する。	【知識・技能】 商業の各分野の学習で身に付けた知識と技能について、実務に即して深化・総合化を図り、課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付けた。 【思考・判断・表現】 深化・統合化された知識、技能などを活用し、課題を(再)発見し、科学的な根拠に基づいてよりよく解決することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習しようとする態度が見られた。	○	○	○	12
	単元5 地域活性化やサステナブルコミュニティについて調査する。 【知識及び技能】 商業の各分野の学習で身に付けた知識と技能について、実務に即して深化・総合化を図り、課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 深化・統合化された知識、技能などを活用し、課題を(再)発見し、科学的な根拠に基づいてよりよく解決することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習しようとする態度が見られる。	地域活性化やサステナブルコミュニティについて調査し、発表する。	【知識・技能】 商業の各分野の学習で身に付けた知識と技能について、実務に即して深化・総合化を図り、課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付けた。 【思考・判断・表現】 深化・統合化された知識、技能などを活用し、課題を(再)発見し、科学的な根拠に基づいてよりよく解決することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習しようとする態度が見られた。	○	○	○	12
	単元6 気候変動について調査し、気候変動によって引き起こされる害を調査する。 【知識及び技能】 商業の各分野の学習で身に付けた知識と技能について、実務に即して深化・総合化を図り、課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 深化・統合化された知識、技能などを活用し、課題を(再)発見し、科学的な根拠に基づいてよりよく解決することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習しようとする態度が見られる。	気候変動について調査し、また気候変動によって引き起こされる害を調査する。その後発表を行う。	【知識・技能】 商業の各分野の学習で身に付けた知識と技能について、実務に即して深化・総合化を図り、課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付けた。 【思考・判断・表現】 深化・統合化された知識、技能などを活用し、課題を(再)発見し、科学的な根拠に基づいてよりよく解決することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習しようとする態度が見られた。	○	○	○	10
	単元7 少子化・高齢化する社会についての問題や課題解決の方法を考え発表する。 【知識及び技能】 商業の各分野の学習で身に付けた知識と技能について、実務に即して深化・総合化を図り、課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 深化・統合化された知識、技能などを活用し、課題を(再)発見し、科学的な根拠に基づいてよりよく解決することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習しようとする態度が見られる。	少子化・高齢化する社会についての問題や課題解決の方法を考え発表することができた。	【知識・技能】 商業の各分野の学習で身に付けた知識と技能について、実務に即して深化・総合化を図り、課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付けた。 【思考・判断・表現】 深化・統合化された知識、技能などを活用し、課題を(再)発見し、科学的な根拠に基づいてよりよく解決することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習しようとする態度が見られた。	○	○	○	12
3 学 期	単元8 人生100年時代のライフサイクル・リスクについての問題や課題解決の方法を考え発表する。 【知識及び技能】 商業の各分野の学習で身に付けた知識と技能について、実務に即して深化・総合化を図り、課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 深化・統合化された知識、技能などを活用し、課題を(再)発見し、科学的な根拠に基づいてよりよく解決することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習しようとする態度が見られる。	人生100年時代のライフサイクル・リスクについての問題や課題解決の方法を考え発表できた。	【知識・技能】 商業の各分野の学習で身に付けた知識と技能について、実務に即して深化・総合化を図り、課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付けた。 【思考・判断・表現】 深化・統合化された知識、技能などを活用し、課題を(再)発見し、科学的な根拠に基づいてよりよく解決することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習しようとする態度が見られた。	○	○	○	12

期	単元9 食×テクノロジー＝フードテック で食の問題を解決できるよう、課題解決の方法を考え発表する。 【知識及び技能】 商業の各分野の学習で身に付けた知識と技能について、実務に即して深化・総合化を図り、課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 深化・統合化された知識、技能などを活用し、課題を(再)発見し、科学的な根拠に基づいてよりよく解決することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習しようとする態度が見られる。	食×テクノロジー＝フードテック で食の問題を解決できるよう、課題解決の方法を考え発表できた。	【知識・技能】 商業の各分野の学習で身に付けた知識と技能について、実務に即して深化・総合化を図り、課題の解決に生かすことができる知識と技能を身に付けた。 【思考・判断・表現】 深化・統合化された知識、技能などを活用し、課題を(再)発見し、科学的な根拠に基づいてよりよく解決することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を解決する力の向上を目指して、自ら学習しようとする態度が見られた。	○	○	○	12
合計							
105							

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 商業 科目 課題研究(プロモーションデザイン)

教科： 商業 科目： 課題研究(プロモーションデザイン) 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ ）

教科 商業	の目標：
【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。	
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。	
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。	

科目	の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
プロモーション活動の一連の流れ（現状の課題発見・分析・解決や提案の企画・設計・制作・プレゼンテーション）に関する基礎的な流れや知識を理解するとともに、ツールを活用して制作することができる。	学校や企業といった組織が抱えている課題を6つの側面から考えられる思考力を養う。 市場や顧客のニーズを分析し、デザインを通して、販売・サービス戦略について論理的に考察する力を養う。 ツールを活用して分かりやすく表現する力を養う。	主体的に役割を果たし、他者と協働しながら課題解決に取り組む態度を養うとともに、実社会における責任感や倫理観、働くことへの意欲を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元1 ・ガイダンス ・授業の目的と使用ツールについて ・課題制作① 【知識及び技能】 本授業の目的を的確に把握し、デザインツールCanvaの設定をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 Canvaを活用して、与えられた課題を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に役割を果たそうとする態度を身に付ける。	・授業の目的と年間の流れの理解 ・Canvaの設定 ・課題制作①	【知識・技能】 本授業の目的を的確に把握し、デザインツールCanvaの設定をすることができる。 【思考・判断・表現】 Canvaを活用して、与えられた課題を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に役割を果たそうとする態度を身に付ける。	○	○	○	8
	単元2 ・問いの立て方と6Qs（Locus） ・市場調査と情報収集（Locus） ・顧客・地域課題の発見（Locus） 【知識及び技能】 問いの立て方や6Qsの視点、情報収集の方法について理解し、基礎的な調査技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 地域を学校に置き換え、学校における課題を6つの視点で捉え、適切な問いを設定し、その内容をデザインで整理・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な学校を多面的に関心を持ち、課題を主体的に見つけようとする態度を養う。	・問いの立て方の基本 ・6Qs（シックスキューズ）の理解と活用 ・身近な課題の発見方法 ・市場調査の方法（アンケート・観察など） ・情報収集の方法（インターネット・資料活用） ・収集した情報の整理と分析	【知識・技能】 問いの立て方や6Qs、情報収集の方法を理解し、適切に活用できる。 【思考・判断・表現】 課題を多面的に捉え、適切な問いを設定し、論理的に整理して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な課題に関心を持ち、主体的に調査・探究しようとしている。	○	○	○	12
	単元3 ・課題制作② ・プレゼンテーション 【知識及び技能】 課題に応じた内容について、理解し、デザインツールを使って制作することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 課題制作で設計思考し、プレゼンテーションを通して、適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題制作に主体的に取り組む、他者の制作物からも積極的に学び取ろうとする態度を養う。	・課題制作② ・制作物の設計 ・ラフ案の作成 ・制作物の制作 ・プレゼンテーション	【知識・技能】 課題に応じた内容について、理解し、デザインツールを使って制作することができる。 【思考・判断・表現】 課題制作で設計思考し、プレゼンテーションを通して、適切に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題制作に主体的に取り組む、他者の制作物からも積極的に学び取ろうとしている。	○	○	○	15

	単元4 期末考査 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	12
	単元5 ・課題制作③（自分たちを売り込む） 【知識及び技能】 チラシやポスターを通じて、地域に貢献するために、自分たちができることを整理してまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 提携先に宣伝するために、チラシに必要な要件定義ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 チラシやポスターを通じて、地域に貢献しようとする態度と意欲を養う。	・課題制作③ ・制作物の設計 ・ラフ案の作成 ・制作物の制作 ・プレゼンテーション	【知識・技能】 チラシやポスターを通じて、地域に貢献するために、自分たちができることを整理してまとめることができる。 【思考・判断・表現】 提携先に宣伝するために、チラシに必要な要件定義ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 チラシやポスターを通じて、地域に貢献しようとする意欲がある。	○	○	○	12
2 学期	単元6 ・課題の設定 ・提携先を探す 【知識及び技能】 チラシやポスターを通じて、地域に貢献するために、提携先を自分たちで探す。 【思考力、判断力、表現力等】 自分たちを売り込むチラシを活用し、提携先に向けて、チラシ・ポスター制作を依頼することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 チラシやポスターを通じて、地域に貢献しようとする態度と意欲を養う。	・提携先の開拓 ・自分たちの売り込み（自作チラシを活用） ・制作物の受注	【知識・技能】 チラシやポスターを通じて、地域に貢献するために、提携先を自分たちで探す。 【思考・判断・表現】 自分たちを売り込むチラシを活用し、提携先に向けて、チラシ・ポスター制作を依頼することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 チラシやポスターを通じて、地域に貢献しようとする意欲がある。	○	○	○	12
	単元7 ・課題制作④（提携先のチラシ制作） 【知識及び技能】 提携先の業務内容を理解し、要望や課題に応じた制作物を設計することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 提携先の課題を解決できる内容の要件を思考し、要望に沿った制作物を適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題制作に主体的に取り組み、他者の制作物からも積極的に学び取ろうとする態度を養う。	・課題制作④ ・制作物の要件定義 ・ラフ案の作成 ・制作物の制作	【知識・技能】 提携先の業務内容を理解し、要望や課題に応じた制作物を設計することができる。 【思考・判断・表現】 提携先の課題を解決できる内容の要件を思考し、要望に沿った制作物を適切に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題制作に主体的に取り組み、他者の制作物からも積極的に学び取ろうとしている。	○	○	○	10
3 学期	単元8 ・課題制作④（校正とブラッシュアップ） ・プレゼンテーション 【知識及び技能】 提携先と何度か校正を行うために必要なコミュニケーション力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 提携先が求めている制作物は何かを思考判断し、適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 提携先に最後まで責任をもって制作物を納品する態度を養う。	・課題制作④（ブラッシュアップと納品） ・初校～納品までの流れ ・提携先とのコミュニケーション ・制作物のブラッシュアップ ・プレゼンテーション	【知識・技能】 提携先と何度か校正を行うために必要なコミュニケーションをとることができる。 【思考・判断・表現】 提携先が求めている制作物は何かを思考判断し、適切に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 提携先に最後まで責任をもって制作物を納品することができる。	○	○	○	12
	単元9 ・成果発表準備 ・成果発表 【知識及び技能】 発表資料の作成方法やプレゼンテーションの基本を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの活動内容や成果を分かりやすく整理し、相手に伝わるように表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の発表を尊重しつつ、自らの考えを積極的に発信しようとする態度を養う。	・発表資料の構成作成 ・プレゼンテーション資料の作成 ・発表練習 ・成果発表の実施 ・相互評価と振り返り	【知識・技能】 発表資料作成やプレゼンテーションの方法を理解している。 【思考・判断・表現】 活動内容を整理し、分かりやすく伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に発表に取り組み、他者の意見も尊重している。	○	○	○	12
							合計
							105

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 商業 科目 課題研究（ビジネスツーリズム）

教科： 商業 科 目： 課題研究（ビジネスツーリズム） 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書： （ なし ）

教科 商業	の目標：
【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。	
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。	
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。	

科目	の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地域の課題について実務に則して体系的、系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けさせる。	身近な地域の課題を発見し、ビジネスに携わる者として、科学的な根拠に基づき、またツーリズムの手法を用いて創造な思考によりに解決する力を養う。	与えられた課題に対して、課題解決に努め、周りと協力しながら主体的かつ協働的に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元1 ・ ツーリズム調査 ・ 自分の興味のあるツーリズムについて調査、発表 【知識及び技能】 世の中のツーリズムについて理解し、調査する。 【思考力、判断力、表現力等】 ツーリズムの内容を論理的に整理・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 世の中のツーリズムに関心を持ち、課題を主体的に見つけようとする態度を養う。	・ ツーリズムについての調査 ・ 特徴や課題、具体例 ・ 発表資料の作成 ・ 発表	【知識・技能】 ツーリズムについて、情報収集の方法を理解し、適切に活用できる。 【思考・判断・表現】 課題を多面的に捉え、適切な問いを設定し、論理的に整理して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な課題に関心を持ち、主体的に調査・探究しようとしている。	○	○	○	10
	単元2 ・ 問いの立て方と6Qs（Locus） ・ 市場調査と情報収集（Locus） ・ 顧客・地域課題の発見（Locus） 【知識及び技能】 問いの立て方や6Qsの視点、情報収集の方法について理解し、基礎的な調査技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 顧客や地域の課題を多面的に捉え、適切な問いを設定し、その内容を論理的に整理・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な社会や地域に関心を持ち、課題を主体的に見つけようとする態度を養う。	・ 問いの立て方の基本 ・ 6Qs（シックスキューズ）の理解と活用 ・ 身近な課題の発見方法 ・ 市場調査の方法（アンケート・観察など） ・ 情報収集の方法（インターネット・資料活用） ・ 収集した情報の整理と分析	【知識・技能】 問いの立て方や6Qs、情報収集の方法を理解し、適切に活用できる。 【思考・判断・表現】 課題を多面的に捉え、適切な問いを設定し、論理的に整理して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な課題に関心を持ち、主体的に調査・探究しようとしている。	○	○	○	10
	単元3 ・ 地域の調べ学習 ・ 6 Q s から見た地域の課題 【知識及び技能】 問いの立て方や6Qsの視点、情報収集の方法について理解し、基礎的な調査技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 顧客や地域の課題を多面的に捉え、適切な問いを設定し、その内容を論理的に整理・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な社会や地域に関心を持ち、課題を主体的に見つけようとする態度を養う。	・ 問いの立て方の基本 ・ 6Qs（シックスキューズ）の理解と活用 ・ 身近な課題の発見方法 ・ 市場調査の方法（アンケート・観察など） ・ 情報収集の方法（インターネット・資料活用） ・ 収集した情報の整理と分析	【知識・技能】 問いの立て方や6Qs、情報収集の方法を理解し、適切に活用できる。 【思考・判断・表現】 課題を多面的に捉え、適切な問いを設定し、論理的に整理して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な課題に関心を持ち、主体的に調査・探究しようとしている。	○	○	○	14
	単元4 期末考査			○	○	○	1

2 学 期	単元5 ・まちづくりコンテストに向けて調査、研究 【知識及び技能】 問いの立て方や6Qsの視点、情報収集の方法について理解し、地域の基礎的な調査技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 地域の課題を多面的に捉え、適切な問いを設定し、その内容を論理的に整理・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な社会や地域に関心を持ち、課題を主体的に見つけようとする態度を養う。	・まちづくりコンテストにむけて、身近な地域の課題を発見するよう促す。	【知識・技能】 問いの立て方や6Qs、情報収集の方法を理解し、適切に活用できる。 【思考・判断・表現】 課題を多面的に捉え、適切な問いを設定し、論理的に整理して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な課題に関心を持ち、主体的に調査・探究しようとしている。	○	○	○	10
	単元6 ・ツーリズムの仕組みを利用した課題解決案を発見 ・SDGsの内容を調べる 【知識及び技能】 問いの立て方や6Qsの視点、情報収集の方法について理解し、地域の基礎的な調査技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 地域の課題を多面的に捉え、適切な問いを設定し、その内容を論理的に整理・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な社会や地域に関心を持ち、課題を主体的に見つけようとする態度を養う。	・発見した課題について、ツーリズムの仕組みを利用して解決策を考えさせる。	【知識・技能】 問いの立て方や6Qs、情報収集の方法を理解し、適切に活用できる。 【思考・判断・表現】 課題を多面的に捉え、適切な問いを設定し、論理的に整理して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な課題に関心を持ち、主体的に調査・探究しようとしている。	○	○	○	10
	単元7 ・中間発表 ・仮説を立てる ・フィールドワーク 【知識及び技能】 問いの立て方や6Qsの視点、情報収集の方法について理解し、地域の基礎的な調査技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 地域の課題を多面的に捉え、適切な問いを設定し、その内容を論理的に整理・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な社会や地域に関心を持ち、課題を主体的に見つけようとする態度を養う。	・身近な地域の課題についての解決策をまとめて中間発表を行うよう促す。 ・フィールドワークを行い、仮説を立てるよう指導する。	【知識・技能】 問いの立て方や6Qs、情報収集の方法を理解し、適切に活用できる。 【思考・判断・表現】 課題を多面的に捉え、適切な問いを設定し、論理的に整理して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な課題に関心を持ち、主体的に調査・探究しようとしている。	○	○	○	10
	単元8 ・仮説の検証 ・結論の主張、提言 【知識及び技能】 問いの立て方や6Qsの視点、情報収集の方法について理解し、地域の基礎的な調査技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 地域の課題を多面的に捉え、適切な問いを設定し、その内容を論理的に整理・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な社会や地域に関心を持ち、課題を主体的に見つけようとする態度を養う。	・身近な地域の課題についての解決策の仮説を検証する ・結論の主張	【知識・技能】 問いの立て方や6Qs、情報収集の方法を理解し、適切に活用できる。 【思考・判断・表現】 課題を多面的に捉え、適切な問いを設定し、論理的に整理して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な課題に関心を持ち、主体的に調査・探究しようとしている。	○	○	○	10
	単元9 ・動画の撮影 ・発表の準備 【知識及び技能】 問いの立て方や7Qsの視点、情報収集の方法について理解し、地域の基礎的な調査技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 地域の課題を多面的に捉え、適切な問いを設定し、その内容を論理的に整理・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な社会や地域に関心を持ち、課題を主体的に見つけようとする態度を養う。	・動画の効果的な撮影 ・発表の準備	【知識・技能】 問いの立て方や7Qs、情報収集の方法を理解し、適切に活用できる。 【思考・判断・表現】 課題を多面的に捉え、適切な問いを設定し、論理的に整理して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な課題に関心を持ち、主体的に調査・探究しようとしている。	○	○	○	6

3 学 期	単元10 ・発表の準備 ・成果発表 【知識及び技能】 発表資料の作成方法やプレゼンテーションの基本を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの活動内容や成果を分かりやすく整理し、相手に伝わるように表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の発表を尊重しつつ、自らの考えを積極的に発信しようとする態度を養う。	・発表資料の構成作成 ・プレゼンテーション資料の作成 ・発表練習 ・成果発表の実施 ・相互評価と振り返り	【知識・技能】 発表資料作成やプレゼンテーションの方法を理解している。 【思考・判断・表現】 活動内容を整理し、分かりやすく伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に発表に取り組み、他者の意見も尊重している。	○	○	○	12
	単元11 ・活動内容のまとめ ・レポート作成 【知識及び技能】 ・活動内容をレポートにまとめる 【思考力、判断力、表現力等】 自らの活動内容や成果を分かりやすく整理し、相手に伝わるように文章をまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自らの考えを積極的に発信しようとする態度を養う。	・レポート資料の構成作成 ・成果発表の実施 ・相互評価と振り返り	【知識・技能】 レポート資料作成やプレゼンテーションの方法を理解している。 【思考・判断・表現】 活動内容を整理し、分かりやすく伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に発表に取り組み、他者の意見も尊重している。	○	○	○	12
合計							
105							

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 商業 科目 課題研究 (K0T0マーケットデザイン)

教科： 商業 科目： 課題研究 (K0T0マーケットデザイン) 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ なし ）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
企業活動の一連の流れ（企画・仕入・販売・会計・決算）に関する基礎的な知識を理解するとともに、役割分担のもとで必要な実務的技能（市場調査、商品管理、販売活動、会計処理等）を身に付ける。	市場や顧客のニーズを分析し、自らの班の課題を発見するとともに、販売戦略や商品構成等について論理的に考察し、適切に判断し、分かりやすく表現する力を養う。	組織の一員として主体的に役割を果たし、他者と協働しながら課題解決に取り組む態度を養うとともに、実社会における責任感や倫理観、働くことへの意欲を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元1 ・ガイダンスと会社設立 ・組織編成と役割分担 【知識及び技能】 企業活動の基本的な流れや組織の役割について理解し、各部署の役割に応じた基礎的な業務内容を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 組織運営における役割分担の意義を考え、自らの役割について適切に判断し、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 組織の一員としての自覚を持ち、主体的に役割を果たそうとする態度を身に付ける。	・授業の目的と年間の流れの理解 ・会社設立の意義と基本的な仕組み ・組織構成（社長・各部署）の役割理解 ・役職決定と役割分担の方法 ・チームビルディングと協働の基礎	【知識・技能】 企業活動や組織の基本的な仕組みを理解し、各役割の業務内容を説明できる。 【思考・判断・表現】 組織の中での自分の役割を考え、適切に判断し、その内容を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 組織の一員として主体的に活動に参加しようとしている。	○	○	○	8
	単元2 ・問いの立て方と6Qs（Locus） ・市場調査と情報収集（Locus） ・顧客・地域課題の発見（Locus） 【知識及び技能】 問いの立て方や6Qsの視点、情報収集の方法について理解し、基礎的な調査技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 顧客や地域の課題を多面的に捉え、適切な問いを設定し、その内容を論理的に整理・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 近な社会や地域に関心を持ち、課題を主体的に見つけようとする態度を養う。	・問いの立て方の基本 ・6Qs（シックスキューズ）の理解と活用 ・身近な課題の発見方法 ・市場調査の方法（アンケート・観察など） ・情報収集の方法（インターネット・資料活用） ・収集した情報の整理と分析	【知識・技能】 問いの立て方や6Qs、情報収集の方法を理解し、適切に活用できる。 【思考・判断・表現】 課題を多面的に捉え、適切な問いを設定し、論理的に整理して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な課題に関心を持ち、主体的に調査・探究しようとしている。	○	○	○	12
	単元3 ・ターゲット設定と商品企画 ・販売実習①（試行販売） ・販売結果の振り返りと改善 ・販売実習②（改善販売） 【知識及び技能】 ターゲット設定や商品企画の基本を理解し、販売実習を通して販売活動の基礎的技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 販売結果を分析し、課題を見いだすとともに、改善策を考え、その内容を適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 実習に主体的に取り組む、結果を振り返りながら継続的に改善しようとする態度を養う。	・ターゲット設定の方法 ・商品企画の立案（アイデア出し） ・販売計画の作成 ・販売実習①（試行販売）の実施 ・売上・販売状況の記録 ・販売結果の分析と課題の整理 ・改善策の検討 ・販売実習②（改善販売）の実施	【知識・技能】 ターゲット設定や商品企画、販売の基礎的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 販売結果を分析し、課題を見だし、改善策を考え表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実習に積極的に取り組み、改善に向けて主体的に行動している。	○	○	○	15

2 学 期	単元4 ・事業計画の見直しと戦略立案 ・仕入計画と原価計算 ・販売戦略とプロモーション 【知識及び技能】 事業計画、原価計算、販売戦略に関する基礎的な知識を理解し、計画立案に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 これまでの実習結果を踏まえ、より効果的な販売戦略や仕入計画を考察し、適切に判断・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 班で協働しながら、より良い成果を目指して主体的に計画を見直そうとする態度を養う。	・事業計画の見直し方法 ・販売戦略の立案（価格・場所・方法） ・仕入計画の立案 ・原価計算の基礎 ・利益の考え方と計算 ・プロモーション（広告・POP等）の工夫	【知識・技能】 事業計画、原価計算、販売戦略の基礎を理解している。 【思考・判断・表現】 実習結果を踏まえ、効果的な戦略を考え判断し、説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 班で協働しながら主体的に計画の見直しに取り組んでいる。	○	○	○	12
	単元5 ・販売実習③（本格販売①） ・販売分析と改善① 【知識及び技能】 販売活動や分析の方法について理解し、販売実習を通して実践的な技能を高める。 【思考力、判断力、表現力等】 販売データや顧客の反応をもとに課題を分析し、改善策を具体的に考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 結果に基づいて改善に取り組み、より良い販売活動を目指して粘り強く取り組む態度を養う。	・販売実習③（本格販売①）の準備と実施 ・接客・販売技術の向上 ・売上データの収集 ・顧客ニーズの把握 ・販売結果の分析① ・改善点の整理と共有	【知識・技能】 販売活動や分析の方法を理解し、実践できる。 【思考・判断・表現】 販売データを分析し、具体的な改善策をえることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 改善に向けて粘り強く取り組んでいる。	○	○	○	12
	単元6 ・販売実習④（本格販売②） ・販売分析と改善② 【知識及び技能】 販売実習の経験を踏まえ、より高度な販売技能や分析手法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 複数回の販売結果を比較・分析し、より効果的な改善策を論理的に導き出すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 協働しながら課題解決に取り組み、主体的に行動を改善しようとする態度を養う。	・販売実習④（本格販売②）の準備と実施 ・販売方法の改善と実践 ・データの比較分析（前回との比較） ・効果的な販売戦略の検討 ・販売結果の分析② ・さらなる改善策の検討	【知識・技能】 販売や分析の技能をさらに高め、適切に活用できる。 【思考・判断・表現】 複数回の結果を比較し、より良い改善策を導き出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 協働して課題解決に取り組み、行動を改善しようとしている。	○	○	○	12
	単元7 ・販売実習⑤（最終販売） 【知識及び技能】 これまでに習得した販売や運営に関する知識・技能を総合的に活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 最終販売に向けて最適な方法を判断し、成果を最大化するための工夫を行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 責任感を持って役割を果たし、最後まで主体的に取り組む態度を養う。	・販売実習⑤（最終販売）の企画 ・役割の最終確認と運営 ・販売活動の総合的実践 ・成果の最大化に向けた工夫 ・販売活動の振り返り	【知識・技能】 これまでの知識・技能を総合的に活用できる。 【思考・判断・表現】 最終販売に向けて最適な方法を判断し、工夫して実践できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 責任感を持って最後まで主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
3 学 期	単元8 ・売上分析と経営分析 ・決算と会計処理 ・課題の整理と改善提案 【知識及び技能】 売上分析や決算処理の基本を理解し、経営状況を把握するための技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 間の活動を振り返り、成果と課題を分析し、今後の改善策を論理的に整理することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 活動全体を主体的に振り返り、次につなげようとする態度を養う。	・売上データの整理 ・経営分析（売上・利益・原価） ・決算処理の基礎 ・活動全体の振り返り ・課題の整理 ・改善提案の作成	【知識・技能】 売上分析や決算処理の基礎を理解し、活用できる。 【思考・判断・表現】 活動を振り返り、成果と課題を分析し、改善策を整理できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 活動全体を振り返り、次に生かそうとしている。	○	○	○	12

期	単元9 ・成果発表準備 ・成果発表 【知識及び技能】 発表資料の作成方法やプレゼンテーションの基本を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの活動内容や成果を分かりやすく整理し、相手に伝わるように表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の発表を尊重しつつ、自らの考えを積極的に発信しようとする態度を養う。	・発表資料の構成作成 ・プレゼンテーション資料の作成 ・発表練習 ・成果発表の実施 ・相互評価と振り返り	【知識・技能】 発表資料作成やプレゼンテーションの方法を理解している。 【思考・判断・表現】 活動内容を整理し、分かりやすく伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に発表に取り組み、他者の意見も尊重している。	○	○	○	12
							合計
							105

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 商業 科目 課題研究（金融リテラシーを学ぶ）

教科： 商業 科目： 課題研究（金融リテラシーを学ぶ） 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ なし ）

教科 商業	の目標：
【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。	
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。	
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。	

科目	の目標：
【知識及び技能】 金融リテラシーについて理解するとともに、個々の内容を十分理解し、将来の資産運用に生かすことのできる知識と技能を身につける。	
【思考力、判断力、表現力等】 自分の人生を計画的かつ豊かに送るために、株式会社や証券市場について真摯に考え、学んだ結果を他者に伝え、他者の意見を聞くことができる。	
【学びに向かう力、人間性等】 自ら学ぶ態度を持ち、非常に積極的で主体的に取り組む姿勢が身につける。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元1 ガイダンスと金融リテラシーを学ぶ意義 【知識及び技能】 金融リテラシーについて理解するとともに、個々の内容を十分理解し、将来の資産運用に生かすことのできる知識と技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の人生を計画的かつ豊かに送るために、株式会社や証券市場について真摯に考え、学んだ結果を他者に伝え、他者の意見を聞くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら学ぶ態度を持ち、非常に積極的で主体的に取り組む姿勢が身につける。	・授業の目的と年間の流れの理解 はじめに 億り人とは 参考文献について	【知識・技能】 金融リテラシーについて理解するとともに、個々の内容を十分理解し、将来の資産運用に生かすことのできる知識と技能を身につける。 【思考・判断・表現】 自分の人生を計画的かつ豊かに送るために、株式会社や証券市場について真摯に考え、学んだ結果を他者に伝え、他者の意見を聞くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら学ぶ態度を持ち、非常に積極的で主体的に取り組む姿勢が身につける。	○	○	○	8
	単元2 ・問いの立て方と6Qs（Locus） ・市場調査と情報収集（Locus） ・顧客・地域課題の発見（Locus） 【知識及び技能】 問いの立て方や6Qsの視点、情報収集の方法について理解し、基礎的な調査技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 顧客や地域の課題を多面的に捉え、適切な問いを設定し、その内容を論理的に整理・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 近な社会や地域に関心を持ち、課題を主体的に見つけようとする態度を養う。	・問いの立て方の基本 ・6Qs（シックスキューズ）の理解と活用 ・身近な課題の発見方法 ・市場調査の方法（アンケート・観察など） ・情報収集の方法（インターネット・資料活用） ・収集した情報の整理と分析	【知識・技能】 問いの立て方や6Qs、情報収集の方法を理解し、適切に活用できる。 【思考・判断・表現】 課題を多面的に捉え、適切な問いを設定し、論理的に整理して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な課題に関心を持ち、主体的に調査・探究しようとしている。	○	○	○	12
	単元3 株式会社・証券市場について調査、研究し、金融リテラシーを高める。体験する機会のない、証券市場を仮想体験することにより、その仕組みと役割、投資家、上場会社、金融機関等の考え方を理解する。 【知識及び技能】 ・株式会社と証券市場について関連付けて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・課題について調査でき、結果をまとめられる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・資産管理の方法を理解している。 ・株式指標について理解し、利用することができる。	証券市場とは 株式会社の資金調達方法 株主とは 株価変動の要因 株式指標 調査結果のまとめ	【知識・技能】 ・株式会社と証券市場について関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 ・課題について調査でき、結果をまとめられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資産管理の方法を理解している。 ・株式指標について理解し、利用することができる。				24

	単元4 金融リテラシーについて理解するとともに、個々の内容を十分理解し、将来の資産運用に生かすことのできる知識と技能を身につける。また、株価変動の背後にある「経済・社会の動き」に関心を持ち、新聞記事を読み、理解できるようにする。 【知識及び技能】 ・株式会社と証券市場について関連付けて理解している。	個々の株式会社の調査 模擬売買取引	【知識・技能】 ・株式会社と証券市場について関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 ・課題について調査でき、結果をまとめられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資産管理の方法を理解している。 ・株式指標について理解し、利用することができる。				37
2 学期	単元5 調べる項目の意味を理解し、どのような視点で会社を見たらよいかを実践する。会社研究することにより、「なぜ、その業界、会社、仕事なのか」の自身の考えが深める。 【知識及び技能】 ・株式会社について調査できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・調査の結果をもとに投資する会社を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・資産管理の方法を理解している。	結果のまとめ 結果からの考察	【知識・技能】 ・株式会社について調査できる。 【思考・判断・表現】 ・調査の結果をもとに投資する会社を判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資産管理の方法を理解している。				12
3 学期	単元6 自分の意見を他者に伝える、また、他者の意見を聞くことができるようになる。 【知識及び技能】 発表資料作成やプレゼンテーションの方法を理解している。 発表資料作成し、発表ができる 【思考力、判断力、表現力等】 活動内容を整理し、分かりやすく伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に発表に取り組み、他者の意見も尊重している。	結果のまとめ 結果からの考察	【知識・技能】 発表資料作成やプレゼンテーションの方法を理解している。 発表資料作成し、発表ができる 【思考・判断・表現】 活動内容を整理し、分かりやすく伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に発表に取り組み、他者の意見も尊重している。				12
							合計
							105

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 商業 科目 財務会計Ⅱ

教 科： 商業 科 目： 財務会計Ⅱ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ 7 実教 商業 7 4 2 財務会計Ⅱ ）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
財務会計Ⅱでは、企業の財務状況を正確に把握するための基本的な会計処理技術を習得することを目指します。資産、負債、純資産、収益、費用などの会計処理に関する理論と実務を学び、連結財務諸表や税効果会計、リース会計など複雑なテーマを体系的に理解します。	財務会計Ⅱを通して、会計データの分析を行い、企業の経営状況を正確に評価できる思考力を養います。さまざまな会計基準やルールを適切に判断し、実際の事例に基づいて論理的に表現する能力を高め、問題解決能力を育成します。	財務会計Ⅱでは、実務に役立つ会計知識を積極的に学び、自己学習を通じて問題解決能力を高めます。また、チームでの議論や課題解決を通じて協力する力を養い、専門的な倫理観を持ち、社会的責任を果たす姿勢を育てます。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1	単元1 1章 財務会計の基本概念 【知識及び技能】 財務報告の目的と財務諸表の構成要素を理解し、正確に説明できる能力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 財務諸表の認識と測定方法を理解し、実際のデータを用いて論理的に分析できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 財務会計に関する学びを深め、課題解決に向けて積極的に取り組む姿勢を育む。	財務報告の目的 財務諸表の構成要素 財務諸表の構成要素の認識と測定	【知識・技能】 財務報告の目的や財務諸表の構成要素について正確に理解し、知識を基に正しく説明できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 財務諸表の認識と測定方法に関する理解を活かし、具体的な事例を通じて論理的に分析・表現できるかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 財務会計の理解を深め、グループディスカッションや個別学習に積極的に取り組み、自ら課題に挑戦する態度を評価する。	○	○	○	6
	単元2 2章 資産負債アプローチと収益費用アプローチ 【知識及び技能】 資産負債アプローチと収益費用アプローチの意味を理解し、利益計算との関連を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 各アプローチの違いを分析し、具体的な事例を基にその適用方法を論理的に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 会計アプローチに対する理解を深め、実務に活かす方法を積極的に学び、探求する態度を育む。	資産負債アプローチと収益費用アプローチの意味 資産負債アプローチ・収益費用アプローチと利益計算	【知識・技能】 資産負債アプローチと収益費用アプローチの意味とそれぞれの特徴について正確に説明できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 両アプローチの違いと利益計算への影響について、具体的な事例を使って論理的に分析し、表現できるかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 会計アプローチに関する学びを深め、授業や課題に積極的に取り組み、自ら学びを進める姿勢を評価する。	○	○	○	6
	単元3 3章 会計基準の国際的統合 【知識及び技能】 わが国の会計基準の特徴と、国際会計基準への対応を理解し、会計基準の統合過程を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 会計基準の国際的統合の重要性を分析し、わが国の対応策について論理的に評価し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 会計基準の統合に関する学びを深め、国際的視野を持って学習に取り組む姿勢を育む。	わが国の会計基準 会計基準の国際的統合 わが国の会計基準の特徴と国際会計基準への対応	【知識・技能】 わが国の会計基準と国際会計基準の特徴、対応方法について正確に理解し、説明できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 会計基準の国際的統合の過程における課題と対応策を論理的に分析し、具体的な意見を表現できるかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 会計基準の国際的統合に関して積極的に学び、グループディスカッションや自主学習を通じて深める姿勢を評価する。	○	○	○	6

学期	単元4 4章 資産会計 【知識及び技能】 資産の評価基準や評価方法、減損の会計処理について理解し、実務に即した技術を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 資産の評価や減損処理に関する理論を適用し、具体的な事例を基に論理的に説明できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 資産会計に関する学びを深め、実務に活かす方法を積極的に学び、探求する姿勢を育む。	資産の評価基準 資産の評価方法 減損の会計処理	【知識・技能】 資産評価基準や評価方法、減損処理に関する知識を正確に理解し、実務において適用できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 資産の評価や減損処理に関する理論を活用し、実際の事例を分析して論理的に解答を導く能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 資産会計に関して積極的に学び、実務の中でその知識を活かす方法を模索する態度を評価する。	○	○	○	6
	単元5 5章 負債会計 【知識及び技能】 負債の意味と評価方法、社債、退職給付引当金、資産除去債務の計上と評価基準を理解し習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 各負債項目の評価方法を適用し、理論を実務事例に基づき論理的に分析できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 負債会計に関する理解を深め、実務に役立つ知識を積極的に学び、解決策を模索する姿勢を育む。	負債の意味と評価 社債 退職給付引当金 資産除去債務	【知識・技能】 負債の意味、評価方法、社債や退職給付引当金などの基本的な知識を正確に理解し、実務に適用できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 各負債項目の会計処理や評価方法を適切に判断し、具体的な事例を用いて論理的に説明できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 負債会計に関連する知識を積極的に学び、課題解決に向けて自ら探求し、実務に活かす方法を模索する姿勢を評価する。	○	○	○	6
	単元6 6章 純資産会計 【知識及び技能】 純資産の分類とその意味、新株予約権、分配可能額の計算方法、株主資本等変動計算書の作成方法を理解し習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 純資産に関する理論を適用し、実際の財務諸表に基づいて計算・作成し、論理的に説明できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 純資産会計に関する理解を深め、実務での活用方法を積極的に学び、問題解決に取り組む姿勢を育む。	純資産の意味と分類 新株予約権 分配可能額の計算 株主資本等変動計算書の作成	【知識・技能】 純資産の意味、分類、新株予約権、分配可能額の計算方法、株主資本等変動計算書作成について、正確に理解し、実務に応用できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 財務諸表における純資産の計算や表現方法を論理的に判断し、具体的な事例を通じて適切に説明できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 純資産会計の学習を積極的に深め、自己学習やディスカッションを通じて理解を深め、課題解決に向けて主体的に取り組む姿勢を評価する。	○	○	○	6
	単元7 7章 損益会計 【知識及び技能】 収益と費用の基本的な概念、損益計算基準（収益認識基準）を理解し、商品販売および工事契約における会計処理方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 収益認識基準や損益計算方法を具体的な事例に適用し、適切な会計処理を行い、論理的に説明できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 損益会計に関する知識を深め、実務に役立つ計算方法や判断基準を積極的に学び、問題解決に取り組む姿勢を育む。	収益と費用 損益計算の基準「収益認識に関する会計基準」 商品販売の形態と会計処理 工事契約	【知識・技能】 収益と費用の認識、損益計算基準に関する知識を正確に理解し、実務に適用できる能力を評価する。商品販売や工事契約の会計処理を正確に行えるか。 【思考・判断・表現】 収益認識基準や損益計算方法を活用し、商品販売や工事契約の事例に対して適切に分析・判断し、論理的に説明できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 損益会計の学習を積極的に深め、実務における課題解決に向けて自主的に取り組む姿勢を評価する。	○	○	○	6
	単元8 8章 リース会計 【知識及び技能】 リース取引の意味と分類、ファイナンス・リースおよびオペレーティング・リースの会計処理を理解し、正しく実行できる技能を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 各リース取引の会計処理方法を具体的な事例に基づいて分析し、適切に判断・表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 リース会計に関する知識を積極的に学び、実務での問題解決に役立てるための探求心を育む。	リース取引の意味と分類 ファイナンス・リース取引の借手の会計処理 オペレーティング・リース取引の借手の会計処理 ファイナンス・リース取引の貸手の会計処理	【知識・技能】 リース取引の分類や、借手・貸手の会計処理方法について正確に理解し、実務に適用できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 ファイナンス・リースやオペレーティング・リース取引の会計処理を論理的に判断し、事例を通じて適切に表現できるかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 リース会計に関連する学びを深め、実務上の課題に対して積極的に取り組む姿勢を評価する。	○	○	○	6

2 学 期	単元9 9章 税効果会計 【知識及び技能】 利益と課税所得の関係、税効果会計の基本的な意味、一時差異や繰延税金資産・負債の処理方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 税効果会計における一時差異や繰延税金資産・負債の計算方法を実務に基づいて論理的に適用できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 税効果会計について積極的に学び、課題解決に取り組む姿勢を育み、実務に役立つ知識を身につける。	利益と課税所得 税効果会計の意味 一時差異と繰延税金資産・負債	【知識・技能】 税効果会計の基本的な概念、利益と課税所得の関係、一時差異・繰延税金資産・負債について正確に理解し、適用できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 税効果会計における一時差異や繰延税金資産・負債の計算方法を適切に判断し、論理的に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 税効果会計に関する理解を深め、実務や課題に積極的に取り組み、問題解決に向けて主体的に学ぶ姿勢を評価する。	○	○	○	6
	単元10 10章 外貨換算会計 【知識及び技能】 外貨建取引の意義と為替換算、為替差損益の計算、外貨建項目の会計処理を理解し、適切に実行する。 【思考力、判断力、表現力等】 外貨建取引の会計処理を分析し、為替予約を利用したリスク管理方法を実務に基づき表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 外貨換算に関する知識を深め、課題に対して主体的に取り組み、実務に活かせる能力を育む。	外貨建取引の意義 為替換算と為替差損益 外貨建取引の基本的な会計処理 外貨建項目の決算時の会計処理 為替予約	【知識・技能】 外貨建取引の意義、為替換算の方法、為替差損益の計算、外貨建項目の決算時の処理方法について理解し、実務に適用できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 為替差損益や外貨建項目の会計処理について論理的に判断し、具体的なケースに基づいて適切に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 外貨換算会計に関する学習を積極的に深め、実務上の課題解決に向けて自らの知識を活用し、学ぶ姿勢を評価する。	○	○	○	6
	単元11 11章 キャッシュ・フロー計算書 【知識及び技能】 キャッシュ・フロー計算書の意義や必要性、表示区分や作成手続きを理解し、直接法・間接法による作成方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 キャッシュ・フロー計算書の作成手順を理解し、直接法と間接法の違いを適切に分析し、論理的に表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 キャッシュ・フロー計算書に関する学びを深め、実務に活かせる知識を積極的に学び、課題解決に取り組む姿勢を育む。	キャッシュ・フロー計算書の意義と必要性 キャッシュ・フロー計算書の表示区分 キャッシュ・フローの表示方法 キャッシュ・フロー計算書の作成手続き 直接法によるキャッシュ・フロー計算書の作成例 間接法によるキャッシュ・フロー計算書の作成例	【知識・技能】 キャッシュ・フロー計算書の意義、表示区分、作成手順について理解し、直接法・間接法を用いて正確に作成できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 直接法と間接法の作成方法を比較し、各方法の適用方法について論理的に分析し、適切に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 キャッシュ・フロー計算書に関する知識を積極的に学び、実務で役立つ技術を習得し、課題解決に向けて主体的に学ぶ姿勢を評価する。	○	○	○	6
	単元12 12章 企業結合会計 【知識及び技能】 企業結合会計の基本概念と合併会計の手続きを理解し、会計処理方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 企業結合会計の理論と合併会計の適用方法を分析し、具体的な事例を基に論理的に説明できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 企業結合会計に関する学びを深め、実務で活用できる知識を積極的に学び、問題解決に取り組む姿勢を育む。	企業結合会計の意味 合併会計	【知識・技能】 企業結合会計と合併会計の基礎的な知識を正確に理解し、実務で適切に会計処理を行えるかを評価する。 【思考・判断・表現】 企業結合会計と合併会計に関する理論を具体的な事例に基づき論理的に分析し、説明できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業結合会計に関する理解を深め、実務での適用に向けて積極的に学び、問題解決に取り組む姿勢を評価する。	○	○	○	6
	単元13 13章 連結財務諸表の作成（その1） 【知識及び技能】 連結財務諸表の目的や連結の範囲を理解し、連結決算手続きや支配獲得日後の財務諸表作成方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 支配獲得日の連結貸借対照表の作成手順を理解し、実際の事例を通じて論理的に説明できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 連結財務諸表の作成方法に関する知識を深め、実務で適用できる力を積極的に学び、解決策を模索する姿勢を育む。	連結財務諸表の目的と連結の範囲 連結決算の手続き 支配獲得日における連結貸借対照表の作成 支配獲得日後における連結財務諸表の作成	【知識・技能】 連結財務諸表の目的、連結範囲、連結決算の手続きについて正確に理解し、実際の財務諸表作成に適用できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 支配獲得日や支配獲得日後の連結財務諸表作成方法を論理的に分析し、具体的な事例を通じて適切に表現できるかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 連結財務諸表作成に関する学びを積極的に深め、授業や課題に対して自主的に取り組み、実務に活かす姿勢を評価する。	○	○	○	5

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 商業 科目 マーケティング

教 科： 商業 科 目： マーケティング 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ 7 実教 商業718 マーケティング / 7 実教 商業738 観光ビジネス ）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
マーケティング（または観光ビジネス）に関する基本的な概念や実務的な知識を体系的に理解し、関連する技術（市場分析、製品企画など）を習得する。また、地域や企業における事例など、実際の観光ビジネスと関連づけられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ観光ビジネスに関する知識と技術を身に付けている。	マーケティングに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて問題を解決する能力を養う。創造的なアイデアや戦略を生み出し、それを論理的に表現する力を育む。様々な知識や技術などを活用し、観光ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、工夫してよりよく解決する力を育む。	ビジネス環境においてマーケティングを効果的に活用する力を高め、マーケティングの課題に対して主体的かつ協働的に取り組む態度を育てる。ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら観光ビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、アイデアの考案などに責任をもって取り組んでいる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元1 第1章 観光ビジネスの概要 【知識及び技能】 観光ビジネスの基本的な概念や理解し、自分たちが何気なく訪れている観光地はどのような魅力や問題があり、それを観光資源としてどのように使われているのかを考える力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 観光ビジネスの役割や特徴について多面的に考察し、自分の考えを言葉や図で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 観光ビジネスに関心を持ち、社会との関わり方を意識しながら主体的に学習に取り組む力を養う。	1. 観光ビジネスの担い手と特徴 ①ステークホルダー ②観光ビジネスの特徴 ③観光ビジネスの効果 2. 観光ビジネスの動向 ①観光客の推移（グラフ読み取り） ②訪日外国人観光客増加の要因 ③訪日外国人観光客減少の要因	【知識・技能】 観光ビジネスの基本概念、動向、日本の観光政策について理解し、観光ビジネスを考える上でに必要な知識を習得している。また観光客数の推移グラフの読み取りが十分にすることができるかを評価する。 【思考・判断・表現】 観光ビジネスを行う上での課題を論理的に分析し、創造的に解決策を提案できる力を養う。観光客数の変化や地域の魅力発見について自分の意見を書くことができるかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 観光ビジネスの知識を積極的に学び、グループ活動を通じて協力的に取り組んでいるかを評価する。	○	○	○	6
	単元2 第1章 観光ビジネスの概要 【知識及び技能】 日本が行っている観光政策についてどのような政策が行われているか理解し、政策を地域でどのように活用しているかを考える力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の観光政策や観光地経営への取り組みについてなぜその政策が行われているのか考察することができる。また、観光ビジネスと地域の関わりについて現状を踏まえて地域の新たな魅力について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な地域の課題を考え、それに対する解決策や提案をこれまでの学習を踏まえ、主体的に学習に取り組む力を養う。	3. 日本の観光政策 ①日本の観光政策の主な取り組み ②日本の観光立国へのあゆみ ③観光立国推進法と基本計画 4. 観光ビジネスと地域 ①地域の現状 ②地域の活性化と観光ビジネス	【知識・技能】 国の観光政策の目的やその対象を理解したうえで日本はどのように観光立国へと歩みを進めてきたのか理解することができるかを評価する。 【思考・判断・表現】 どのような取り組みを行うことで地域の魅力がより伝わるか分析し、実際の事例に基づいて自分たちにできることを判断できているかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本が抱えている地域の現状について積極的に学び、授業やグループ活動に参加し、自己の理解を深めるために努力し、他者と協力して学習を進める姿勢を評価する。	○	○	○	5
	単元3 中間考査(授業内テスト) 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1

単元4 第3章 観光ビジネスのマーケティング 【知識及び技能】 観光ビジネスにおけるマーケティングについて観光統計やその目的、行動パターンなどについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 観光ビジネスにおけるマーケティングに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光ビジネスにおけるマーケティング計画を立案して実施し、評価・改善することができる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 観光ビジネスにおけるマーケティングについて自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、マーケティングに主体的かつ協働的に取り組む態度を育てる。	1. 観光ビジネスの顧客 2. 観光ビジネスにおけるマーケティングの意義 3. 観光ビジネスのマーケティング戦略 ○グループ実習 「観光プラン作成」 マイクロツーリズム：近場の観光地（地元周辺で楽しむ近場旅行）を考えてみましょう。	【知識・技能】 観光ビジネスにおけるマーケティングについて観光統計やその目的、行動パターンなどについての理解度と、それらを実務に適用する技能を評価する。 【思考・判断・表現】 課題発見やそれを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光ビジネスにおけるマーケティング計画を立案して実施し、評価・改善することができる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループワークやディスカッションを通じて主体的に学びを深め、協働して問題解決に向かう態度を評価する。	○	○	○	9
単元5 第4章 観光資源の発見と活用 【知識及び技能】 観光資源の概要や観光資源のマネジメント、観光政策についてなぜそのような政策がとられているかなどを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 観光資源の活用に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光資源の活用に関する計画を立案して実施し、評価・改善する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 観光資源と観光政策について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	1. 観光資源とは何か 2. 観光資源の保護と保全	【知識・技能】 観光資源と観光政策について企業などにおける事例と関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 観光資源の活用に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光資源の活用に関する計画を立案して実施し、評価・改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 観光資源と観光政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、観光資源の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	5
単元6 期末考査(授業内テスト) 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
単元7 1章 マーケティングの概要 【知識及び技能】 マーケティングの基本的な概念と歴史、現代市場における適応方法を理解し、SWOT分析や市場環境分析などの技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 マーケティング戦略を論理的に分析し、創造的なアイデアを提案し、他者にわかりやすく表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 マーケティングの課題に対して積極的に学び、グループ活動やディスカッションを通じて協力しながら学習に取り組む姿勢を育む。	1, マーケティングの歴史と発展 2, 現代の市場とマーケティング 3, マーケティングの環境の分析 4, マーケティング・マネジメント	【知識・技能】 マーケティングの基本概念、歴史、市場分析手法（SWOT分析など）を理解し、マーケティング戦略に必要な知識を習得する。 【思考・判断・表現】 マーケティング課題を論理的に分析し、創造的に解決策を提案できる力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 マーケティングの知識を積極的に学び、グループ活動を通じて協力的に取り組む姿勢を育む。	○	○	○	7
単元8 2章 消費者行動の理解 【知識及び技能】 消費者行動の基本的な概念、購買意思決定の過程、消費者の心理と行動の関係を理解し、消費者行動に影響を与える要因を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 消費者の意思決定過程を分析し、購買行動における心理的な要因を論理的に考察し、具体的な事例を通じて表現する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 消費者行動を理解し、実生活における消費者の心理や行動に積極的に関心を持ち、学びを深める姿勢を育む。	1, 消費者の心理と行動の関係 2, 購買意思決定過程 3, 消費者行動に影響を与える要因	【知識・技能】 消費者行動に関する基本的な概念、購買意思決定の過程、消費者心理の理論を正確に理解し、適切に説明・応用できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 消費者行動に影響を与える要因を分析し、実際の事例に基づいてその影響を論理的に判断し、明確に表現できるかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 消費者行動について積極的に学び、授業やグループ活動に参加し、自己の理解を深めるために努力し、他者と協力して学習を進める姿勢を評価する。	○	○	○	7
単元9 中間考査(授業内テスト) 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1

学期	単元10 3章 市場調査 【知識及び技能】 市場調査の基本的な概念や手順、 調査の種類（定性調査・定量調 査）について理解し、仮説検証の 方法や調査対象の選定方法を習得 する。 【思考力、判断力、表現力等】 市場調査の手順に基づいて、仮説 を立て、収集したデータを分析 し、調査結果を論理的かつ適切に 表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 市場調査に関する学びを積極的に 深め、調査活動を通じて他者と協 働し、自己の学びを広げる姿勢を 育む。	1，市場調査の概要 2，市場調査の手順 3，仮説検証の手順 4，実態懸賞の方法	【知識・技能】 市場調査の基本的な概念や手順、調査方法 （定性調査・定量調査）の理解度と、それ らを実務に適用する技能を評価する。 【思考・判断・表現】 仮説検証の手順を踏まえた調査計画や実 施、データ分析の過程において、論理的に 判断し、調査結果をわかりやすく表現する 能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 市場調査に積極的に関わり、グループ ワークやディスカッションを通じて主體的 に学びを深め、協働して問題解決に向かう 態度を評価する。	○	○	○	7
	単元11 4章 STP 【知識及び技能】 セグメンテーション、ターゲティ ング、ポジショニング（STP）の 基本概念を理解し、それぞれの手 法や変数、条件を習得する。ポジ ションingの作成方法と創造的な 方法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 市場のセグメントを適切に選定 し、ターゲット市場を分析・判断 して、適切なポジショニング戦略 立案・表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 市場のセグメントを適切に選定 し、ターゲット市場を分析・判断 して、適切なポジショニング戦略 立案・表現できる能力を養う。	1,S：セグメンテーション 2,T：ターゲティング 3,P：ポジショニング	【知識・技能】 STPの基本的な概念（セグメンテーション、 ターゲティング、ポジショニング）の理解 度と、実際のマーケティング活動における 技術の応用能力を評価する。 【思考・判断・表現】 セグメンテーションやターゲティングを基 に、市場分析やポジショニング戦略を論理 的に分析し、適切に表現できる能力を評価 する。 【主体的に学習に取り組む態度】 STP戦略に関する学びに積極的に取り組み、 ディスカッションやグループワークを通じ て協力的に学び、主体的に取り組む姿勢を 評価する。	○	○	○	7
	単元12 期末考査(授業内テスト) 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
3 学 期	単元13 9章 マーケティングのひろがり 【知識及び技能】 さまざまなマーケティング戦略 （製品ライフサイクル別、市場地 位別）、サービスマーケティン グ、小売マーケティング、観光地 マーケティング、グローバルマ ーケティング、ソーシャルマーケ ディングの基本概念を理解し、そ れぞれの戦略や特性を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 マーケティング戦略や手法を分析 し、具体的な市場や状況に応じた 戦略立案し、適切に表現・提案 する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 マーケティングの多様な領域につ いて積極的に学び、実際の市場や 社会における課題に対して創造的 に取り組む姿勢を育む。	(1)さまざまなマーケティング戦略 ①製品ライフサイクル別の戦略 ②市場地位別の戦略 (2)サービス・マーケティング ①サービスの定義と特性 ②サービス・エンカウンター (3)小売マーケティング ①出店 ②仕入計画 ③陳列 ④在庫管理 (4)観光地マーケティング ①観光地マーケティングの概要 ②観光地マーケティングの課題 (5)グローバル・マーケティング ①文化と消費者行動 ②海外市場における戦略 (6)ソーシャル・マーケティング ①非営利組織のマーケティング ②社会的責任のマーケティング	【知識・技能】 各マーケティング戦略（製品ライフサイク ル別、市場地位別など）や手法について理 解し、適切に適用できる知識・技能を評価 する。 【思考・判断・表現】 マーケティング戦略を状況に合わせて分析 し、実際のケースに基づいた適切な戦略を 提案し、論理的に表現できる能力を評価す る。 【主体的に学習に取り組む態度】 マーケティングに関する学びを積極的に深 め、さまざまな分野（小売、観光、グロー バル、ソーシャルなど）における戦略に対 して主体的に学び、グループ活動などを通 じて協力する姿勢を評価する。	○	○	○	12
	単元14 学年末考査(授業内テスト) 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
							合計
							105

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 商業 科目 グローバル経済

教 科： 商業 科 目： グローバル経済 単位数： 3 単 位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ 7実教 商業734 グローバル経済 ）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
グローバル経済に関する基礎的な知識を習得し、国際経済の動向や各国間の経済的なつながり、貿易、投資などの仕組みを理解できるようにする。具体的な事例を用い、経済政策や国際取引の理解を深め、実務的な知識を身につける。	経済現象に対する理解を基に、問題解決に向けた論理的な思考を促進する。国際経済の動向や政策の影響を分析し、経済的な判断を行う力を養う。問題に対して自分の考えを的確に表現し、ディスカッションを通じて批判的思考を深める。	国際経済について学び、積極的に情報を収集して自己学習を促進する。異なる文化や価値観を理解し、国際的な視野を広げることで、グローバル社会で活躍できる姿勢を育む。また、協調性を持って意見交換を行い、課題解決に取り組む態度を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
1 学 期	単元1 1章 グローバル化が進展する社会① 【知識及び技能】 グローバル化の概念を理解し、世界がどのように繋がっているかを学び、身近に感じる海外との関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 グローバル化の進展が社会に与える影響を分析し、多角的に考察することで、論理的な表現力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 国際的な視野を広げ、多様性を受け入れる態度を身につけ、積極的に異文化や価値観に触れる姿勢を育む。	1 国境を越えて広がる世界 ① 身近に感じる海外 ② 狭くなった世界 ③ グローバル化とは 2 グローバル化する社会 ① グローバル市場の成立 ② 金融とグローバル化 ③ 企業とグローバル化 ④ 社会の多様性とグローバル化	【知識・技能】 グローバル化に関する基礎的な知識を習得し、具体的な事例を通して理解を深める力を評価する。 【思考・判断・表現】 グローバル化の概念を論理的に説明し、グローバル市場や社会の多様性について自分の考えを適切に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 グローバル化に関する学びに積極的に取り組み、自己学習を進め、国際的な問題に関心を持つ姿勢を評価する。		○	○	○	11
	単元2 1章 グローバル化が進展する社会② 【知識及び技能】 グローバル化と地域経済統合、経済発展に関する基礎知識を学び、グローバル化の影響を実例を通じて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 グローバル化の進展が地域経済に与える影響や、発展途上国における課題を多角的に考察し、論理的に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化に伴う諸問題に対する自らの意見を持ち、積極的に学ぶことで国際社会に対する理解を深める。	3 グローバル化と地域経済統合の動き 4 グローバル化と経済発展 5 グローバル化の諸問題	【知識・技能】 グローバル化と地域経済統合、経済発展に関する知識を理解し、実際の事例と関連付けて適用できるかを評価する。 【思考・判断・表現】 グローバル化の進展や課題を論理的に考察し、自己の意見を適切に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 グローバル化に伴う課題に関心を持ち、積極的に学び続ける態度や、自己学習を進める姿勢を評価する。		○	○	○	11
	単元3 2章 経営のグローバル化① 【知識及び技能】 多国籍企業の事業展開や、企業がグローバル化する理由を理解し、経営戦略や海外進出方法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 企業が海外進出する際の課題を分析し、戦略的な判断を行う力を養い、具体的に表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 グローバル経営に関する課題を理解し、積極的に学び、異なる経済文化に対する理解を深める姿勢を育む。	1 多国籍企業とグローバル経営 ① 多国籍企業の事業展開 ② 企業がグローバル化する理由 ③ 多国籍企業の経営戦略 2 企業の海外進出とグローバル経営の難しさ ① 進出する国・地域の選択 ② 海外進出の方法 ③ 海外直接投資を行う理由 ④ グローバル経営の難しさ	【知識・技能】 多国籍企業の経営戦略や海外進出方法について、実際の事例をもとに理解し、適切に説明できる力を評価する。 【思考・判断・表現】 企業の海外進出時の課題を論理的に分析し、自分の考えを明確に表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 グローバル経営の学びに積極的に取り組み、自己学習を進め、実務への応用を目指す姿勢を評価する。		○	○	○	10

2 学 期	単元4 2章 経営のグローバル化② 【知識及び技能】 グローバル経営の現状と課題を理解し、マザー工場システムや現地化の重要性、企業の課題を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 グローバル経営における技術移転や異文化適応の問題を論理的に考察し、解決策を提案できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 グローバル経営の課題に取り組み、異文化理解を深め、自己学習を進める姿勢を育成する。	3 グローバル経営の現状 ① マザー工場システムと技術移転・技術指導 ② 海外拠点の役割の変化 ③ 現地化 ④ 小売業・サービス業のグローバル化 4 グローバル経営の課題 ① 保護主義的通商政策とグローバル経営 ② 研究開発のグローバル化 ③ 異文化適応 ④ グローバル統合とローカル適応	【知識・技能】 グローバル経営の現状と課題を正確に理解し、具体的な事例をもとに説明できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 異文化適応や研究開発のグローバル化などの課題を論理的に分析し、実行可能な解決策を提案できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 グローバル経営の学びに積極的に取り組み、自己学習を通じて問題解決に向けた考えを深める姿勢を評価する。	○	○	○	10
	単元5 2章 経営のグローバル化③ 【知識及び技能】 グローバル経営に伴う労働問題、環境問題、SDGsの重要性を理解し、企業の社会的責任を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 労働問題や環境問題に対する企業の対応策を評価し、社会的責任を果たす方法を論理的に表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化による企業の社会的責任に関心を持ち、積極的に学ぶことで、持続可能な社会に貢献する姿勢を育成する。	5 グローバル化に伴う企業の社会的責任 ① グローバル経営と労働問題 ② グローバル経営と環境問題 ③ グローバル経営とSDGs	【知識・技能】 労働問題、環境問題、SDGsに関連する知識を理解し、企業がどのように社会的責任を果たすかを説明できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 企業の社会的責任に対する自分の考えを論理的に整理し、課題解決の方法を表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 SDGsや社会的責任に関して積極的に学び、問題解決に向けて主体的に取り組む姿勢を評価する。	○	○	○	11
	単元6 3章 経済のグローバル化① 【知識及び技能】 経済のグローバル化に伴う人材の移動や貿易の国際秩序、地域経済統合などの基礎知識を習得し理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ダイバーシティ経営や外国人労働者の問題を分析し、経済における自由な取引や国際収支を論理的に説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化の進展がもたらす影響を理解し、多様な価値観を受け入れ、積極的に学び続ける姿勢を育成する。	1 人材のグローバル化 ① 経済のグローバル化と外国人労働者 ② ダイバーシティとダイバーシティ経営 ③ 賃金体系の変化 ④ 人材のグローバル化の現状と課題 2 財とサービスのグローバル化 ① 自由な取引の重要性 ② 貿易の国際秩序 ③ 地域経済統合の進展 ④ 国際収支	【知識・技能】 グローバル経済に関する基本的な知識を習得し、人材のグローバル化や貿易の国際秩序について説明できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 経済のグローバル化に伴う課題を分析し、解決策を論理的に考察できる力を評価する。意見を明確に表現できることを重視。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済のグローバル化に関連する問題に関心を持ち、積極的に調査し学ぶ姿勢を評価する。学習を通じて国際的視野を広げる態度を評価する。	○	○	○	11
	単元7 3章 経済のグローバル化② 【知識及び技能】 金融市場、金融商品、外国為替、ICTの発展など、金融と情報のグローバル化に関する基本的な知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 金融と情報のグローバル化の現状や課題を分析し、その影響を論理的に説明し、解決策を考える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化に伴う金融や情報の重要性を理解し、積極的に学び続け、社会に対する理解を深める姿勢を育成する。	3 金融のグローバル化 ① 金融とは何か ② 金融商品 ③ 金融機関 ④ 金融市場 ⑤ 日本の金融 ⑥ 外国為替 ⑦ 金融のグローバル化の現状 4 情報のグローバル化 ① 情報通信技術（ICT）の発達 ② 個人情報の利用と管理・保護 ③ 情報のグローバル化の現状 ④ 情報のグローバル化と課題	【知識・技能】 金融市場や情報通信技術の基本的な概念を理解し、金融商品や外国為替について適切に説明できる知識を評価する。 【思考・判断・表現】 グローバル化における金融と情報の影響を深く考察し、課題解決に向けて論理的に意見を表現できる能力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 金融や情報技術の学習に積極的に取り組み、自分の考えを深め、実生活に応用できる態度を評価する。	○	○	○	10
	単元8 4章 市場と経済① 【知識及び技能】 需要と供給の理論に基づき、価格決定や市場均衡のメカニズムを理解し、市場の役割と課題を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 需要と供給の変化による市場の動きや価格決定の仕組みを分析し、論理的に説明できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 市場メカニズムを理解し、現実の経済問題にどう適用できるかを考え、積極的に学び続ける姿勢を育成する。	1 需要と供給による市場の理論 ① 財と資源配分 ② 需要と供給 ③ 価格決定の仕組み ④ 需要と供給の変化と均衡 ⑤ 市場の役割と課題	【知識・技能】 需要と供給、価格決定の仕組み、市場均衡についての基本的な知識を理解し、説明できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 市場の仕組みを分析し、価格の変動や市場均衡に関する問題を解決するための論理的思考力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 市場経済の学びに対して積極的に取り組み、実生活での市場の役割や課題に関心を持つ態度を評価する。	○	○	○	11

3 学 期	単元9 4章 市場と経済② 【知識及び技能】 GDPや実質GDP、物価指数を理解し、経済成長の要因や景気循環の影響を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 実質GDPと名目GDPの違いや景気循環の要因を分析し、経済成長と物価変動について論理的に説明できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 経済成長の要因や景気循環の重要性を理解し、実社会の問題として意識しながら学ぶ姿勢を育成する。	2 経済成長 ① GDP ② 実質GDPと名目GDP ③ 実質GDPと経済成長率 ④ 物価指数と実質GDP ⑤ 経済成長の要因 3 景気循環とインフレーション ① 景気指標 ② 景気循環の要因 ③ 景気循環と物価変動の弊害	【知識・技能】 GDPや実質GDP、物価指数、景気指標についての基本的な知識を理解し、それらを正確に使いこなせる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 経済成長や景気循環に関する課題を分析し、経済指標を使って問題解決を図る論理的思考力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済学の基本概念や現実社会における経済の影響に対し、積極的に調査し、問題解決に向けて学び続ける姿勢を評価する。	○	○	○	10
	単元10 4章 市場と経済③ 【知識及び技能】 政府の役割や予算制度、税制、社会保障制度など、経済政策の基本的な仕組みと機能を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 財政赤字、国債、金融政策の影響を分析し、政策が経済に与える影響について論理的に説明できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 経済政策の現状と課題に積極的に関心を持ち、社会全体に与える影響について深く学び続ける姿勢を育成する。	4 経済政策 ① 政府の役割 ② 国の予算制度 ③ 社会保障制度 ④ 税 ⑤ 財政赤字と国債 ⑥ 地方財政 ⑦ 財政の現状と課題 ⑧ 貨幣と金融政策 ⑨ 金融政策の現状と課題	【知識・技能】 政府の役割、税制、社会保障、財政赤字、金融政策についての基本的な知識を理解し、事例に基づいて適切に説明できる能力を評価する。 【思考・判断・表現】 経済政策の現状と課題を深く分析し、政策が社会や経済に及ぼす影響を論理的に表現できる力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 政府の経済政策やその効果について学び、積極的に学習に取り組む、実社会に関連付けて考え続ける態度を評価する。	○	○	○	10
							合計
							105

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 商業 科目 ビジネス法規

教 科： 商業 科 目： ビジネス法規 単位数： 3 単 位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ 7実教商業740 ビジネス法規 ）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身に付け、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビジネスに関する法規について実務に即して体系的・系統的に理解する。	法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として法的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元1 法の概要 【知識及び技能】 法の概要について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 法の意義と課題について、ビジネスの適切な展開と関連付けて見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 法の概要について自ら学び、法規に基づく適切なビジネスに主体的かつ協働的に取り組む。	・ビジネスにおける法の役割 ・法の体系と解釈・適用 ・権利・義務と財産権	【知識・技能】 法の概要について理解している。 【思考・判断・表現】 法の意義と課題について、ビジネスの適切な展開と関連付けて見出している。 【主体的に学習に取り組む態度】 法の概要について自ら学び、法規に基づく適切なビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	15
	単元2 企業活動と法規 【知識及び技能】 企業活動に係る法規について企業における事例と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 企業活動に関する課題を発見し、法的な根拠に基づいて、課題への対応策を考案して実施し、評価・改善する。 【学びに向かう力、人間性等】 企業活動に係る法規について自ら学び、法規に基づく適切な企業活動に主体的かつ協働的に取り組むこと。	・株式会社の特徴と機関 ・契約 ・資金調達と金融取引 ・組織再編と清算・再建 ・競争秩序の確保	【知識・技能】 企業活動に係る法規について企業における事例と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 企業活動に関する課題を発見し、法的な根拠に基づいて、課題への対応策を考案して実施し、評価・改善している。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業活動に係る法規について自ら学び、法規に基づく適切な企業活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	25
2 学 期	単元3 知的財産と法規 【知識及び技能】 知的財産に係る法規について企業における事例と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 知的財産の保護と活用に関する課題を発見し、法的な根拠に基づいて、保護し活用する方策を考案する。 【学びに向かう力、人間性等】 知的財産に係る法規について自ら学び、適切な保護と効果的な活用主体的かつ協働的に取り組むこと。	・知的財産の種類 ・知的財産の重要性	【知識・技能】 知的財産に係る法規について企業における事例と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 知的財産の保護と活用に関する課題を発見し、法的な根拠に基づいて、保護し活用する方策を考案している。 【主体的に学習に取り組む態度】 知的財産に係る法規について自ら学び、適切な保護と効果的な活用主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	20
	単元4 法と法規 【知識及び技能】 税に係る法規について企業における事例と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 企業における税の申告と納付に関する課題を発見し、税に関する責任を果たす方策を考案する。 【学びに向かう力、人間性等】 税に係る法規について自ら学び、法規に基づく税に関する適切な手続に主体的かつ協働的に取り組む。	・税の種類と法人の納税義務 ・法人税の申告と納付 ・消費税の申告と納付	【知識・技能】 税に係る法規について企業における事例と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 企業における税の申告と納付に関する課題を発見し、税に関する責任を果たす方策を考案している。 【主体的に学習に取り組む態度】 税に係る法規について自ら学び、法規に基づく税に関する適切な手続に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	23

3 学 期	単元5 企業責任と法規 【知識及び技能】 企業責任に係る法規について企業における事例と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 企業責任に関する課題を発見し、企業責任を果たす方策を考案して実施し、評価改善する。 【学びに向かう力、人間性等】 企業責任に係る法規について自ら学び、企業の社会的責任を果たすことに主体的・協働的に取り組む。	・法令遵守と説明責任 ・労働者の保護 ・消費者の保護 ・情報の保護 ・紛争の予防と解決	【知識・技能】 企業責任に係る法規について企業における事例と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 企業責任に関する課題を発見し、企業責任を果たす方策を考案して実施し、評価改善している。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業責任に係る法規について自ら学び、企業の社会的責任を果たすことに主体的・協働的に取り組んでいる。	○	○	○	22
	合計						
105							

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 商業 科目 ビジネス文書Ⅱ

教科：商業 科 目： ビジネス文書Ⅱ 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ ）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビジネス文書の種類や目的、文書の構成要素、敬語や用語の使い方、形式的なルールなどを体系的に学び、社会で求められる正確かつ明確な文書を作成する力を身につける。加えて、パソコンなどのICT機器を活用した文書作成の技能も習得する。	相手や目的、場面に応じた文書の内容や表現方法を考え、必要な情報を取捨選択しながら論理的に組み立て、分かりやすく表現する力を育てる。実践的な課題に対応する中で、適切に判断し、相手に伝わる文章を構成する力を養う。	ビジネス文書を通じて相手に配慮した丁寧な表現やマナーを学び、思いやりや責任感、誠実さなど社会人としての人間性を育む。また、自ら課題を見つけ解決しようとする意欲や、継続的に学び続ける姿勢を大切にできる力を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元1 ワープロソフトの基本 【知識及び技能】 ビジネス文書作成において速度や用語の使い方、形式を理解できるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 場面に応じた文書作成を考え、必要な情報を取捨選択し、表現できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 相手に配慮した表現や、学び続ける姿勢を大切にできる力を養えるようにする	タッチメソッドの基本 ・ホームポジションを習得する ・正確にキータッチする ワープロソフトの基本 ・ワープロソフトの基本設定 ・文字の入力 ワープロソフトの応用Ⅰ ・オブジェクトの挿入 ・表の挿入 ・テキストボックスの挿入 ワープロソフトの応用Ⅱ ・透かしの設定 ・段組みの設定 ・ドロップギャップの設定	【知識・技能】 タッチタイピングのホームポジションを理解することができる。 【思考・判断・表現】 タッチタイピングの基本を通して、適切に業務をこなせるように将来を見据えて取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 タッチタイピングを習得しようと意欲をもって取り組むことができる。	○	○	○	17
	単元2 ワープロソフトの基本 【知識及び技能】 ビジネス文書作成において速度や用語の使い方、形式を理解できるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 場面に応じた文書作成を考え、必要な情報を取捨選択し、表現できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 相手に配慮した表現や、学び続ける姿勢を大切にできる力を養えるようにする	タッチメソッドの基本 ・ホームポジションを習得する ・正確にキータッチする ワープロソフトの基本 ・ワープロソフトの基本設定 ・文字の入力 ワープロソフトの応用Ⅰ ・オブジェクトの挿入 ・表の挿入 ・テキストボックスの挿入 ワープロソフトの応用Ⅱ ・透かしの設定 ・段組みの設定 ・ドロップギャップの設定	【知識・技能】 タッチタイピングのホームポジションを理解することができる。 【思考・判断・表現】 タッチタイピングの基本を通して、適切に業務をこなせるように将来を見据えて取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 タッチタイピングを習得しようと意欲をもって取り組むことができる。	○	○	○	18
2 学 期	単元3 ワープロソフトの基礎・応用 【知識及び技能】 ビジネス文書作成において速度や用語の使い方、形式を理解できるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 場面に応じた文書作成を考え、必要な情報を取捨選択し、表現できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 相手に配慮した表現や、学び続ける姿勢を大切にできる力を養えるようにする	タッチメソッドの基本・応用 ・タッチメソッドの習得 ・正確にキータッチする ワープロソフトの応用Ⅰ ・オブジェクトの挿入 ・表の挿入 ・テキストボックスの挿入 ワープロソフトの応用Ⅱ ・透かしの設定 ・段組みの設定 ・ドロップギャップの設定 検定問題の取組み ・関連知識の習得 ・時間を意識したタイピング ・問題に即した文書作成技術	【知識・技能】 タイピングを正確にタッチすることができる。 ワープロソフトの応用機能を使うことができる。 【思考・判断・表現】 ワープロソフトの機能を活用し、効率よく文書を作成するために工夫しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 タイピングおよびワープロソフトの技術習得に向け、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	17

期	単元4 ワープロソフトの基礎・応用 【知識及び技能】 ビジネス文書作成において速度や用語の使い方、形式を理解できるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 場面に応じた文書作成を考え、必要な情報を取捨選択し、表現できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 相手に配慮した表現や、学び続ける姿勢を大切にする力を養えるようにする	タッチメソッドの基本・応用 ・タッチメソッドの習得 ・正確にキータッチする ワープロソフトの応用Ⅰ ・オブジェクトの挿入 ・表の挿入 ・テキストボックスの挿入 ワープロソフトの応用Ⅱ ・透かしの設定 ・段組みの設定 ・ドロップギャップの設定 検定問題の取組み ・関連知識の習得 ・時間を意識したタイピング ・問題に即した文書作成技術	【知識・技能】 タイピングを正確にタッチすることができる。 ワープロソフトの応用機能を使うことができる。 【思考・判断・表現】 ワープロソフトの機能を活用し、効率よく文書を作成するために工夫しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 タイピングおよびワープロソフトの技術習得に向け、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	17
	単元5 企業活動における文書作成 【知識及び技能】 各種文書の用途や違いを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 文書の校正作業を自ら判断し作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 将来の企業活動の様々な文書に対応しようとする意欲をもつ	各種文書の作成 文書の構成 文書の校正作業 各種文書の作成・文書の構成・文書の校正作業	【知識・技能】 各種文書の用途や違いを理解することができる。 【思考・判断・表現】 文書の校正作業を自ら判断し作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 将来の企業活動の様々な文書に対応しようとする意欲をもつことができる。	○	○	○	18
3 学 期	単元6 企業活動における文書作成 【知識及び技能】 各種文書の用途や違いを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 文書の校正作業を自ら判断し作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 将来の企業活動の様々な文書に対応しようとする意欲をもつ	各種文書の作成 文書の構成 文書の校正作業 各種文書の作成・文書の構成・文書の校正作業	【知識・技能】 各種文書の用途や違いを理解することができる。 【思考・判断・表現】 文書の校正作業を自ら判断し作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 将来の企業活動の様々な文書に対応しようとする意欲をもつことができる。	○	○	○	18
	合計						

高等学校 令和8年度（3学年用）

教科 商業

科目 ネットワーク活用

教科：商業

科 目： ネットワーク活用

単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（ 7商業749 ネットワーク活用 ）

教科 商業

の目標：

【知識及び技能】 商業に関する基本的な知識やスキル（会計、マーケティング、販売など）を理解し、実務に活かす能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】 商業活動における課題を分析し、論理的に解決策を考え、分かりやすく伝える表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】 商業に関連する課題に積極的に取り組み、自己管理やチームワークを通じて実践的なスキルを身につけ、社会的責任を理解する姿勢を育む。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ネットワークを用いたビジネスと電子決済の方法を理解し、実務に即した電子商取引サイトの制作や、集客方法などの関連技術を身に付けている	ネットワークを用いたビジネスと関連技術、電子商取引サイトの制作や集客、科学的根拠に基づいた情報発信などについて表現し、評価・改善している	電子商取引サイトの制作や集客方法について自ら学び考察し、ネットワークを用いたビジネスについて、適切な情報発信に主体的かつ協働的に取り組んでいる

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	単元1 1 章 情報通信技術の進歩と ビジネス 【知識及び技能】 1 節 ICTにより創造される 新しいビジネス 【思考力、判断力、表現力等】 1 節 ICTにより創造される 新しいビジネス 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的 かつ協働的に取り組む態度を身に 付ける	情報通信技術の進歩に伴うビジネスが変化していることを学ぶ ビジネスの形態や組織内におけるビジネスの進め方が変化していることを学ぶ 情報通信ネットワークに関する技術をビジネスに活用することの重要性を理解する 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力する	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である	○	○	○	6
	単元2 2 節 個人情報や知的財産の保護 【知識及び技能】 ビジネスを展開する際に留意すべき個人情報や知的財産の保護の概要を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 留意すべき個人情報や知的財産の保護の概要を学び、その重要性を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的 かつ協働的に取り組む態度を身に 付ける	個人情報や知的財産の概要と、それを保護することの重要性を理解している 情報通信技術を活用する際に留意すべき個人情報や知的財産の取り扱い方を具体的事例で考察する 留意すべき個人情報や知的財産の取り扱い方を具体的事例で考察し、説明することができる 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である	○	○	○	7
	単元3 3 節 関連法規とガイドライン 【知識及び技能】 インターネットを活用したビジネスに関する法規やガイドラインの概要を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する法規やガイドラインの概要を学び、その必要性を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的 かつ協働的に取り組む態度を身に 付ける	情報セキュリティや電子商取引に関する法規やガイドラインの必要性 ビジネスに情報通信技術を活用する際に守るべき法規やガイドラインの概要と、その必要性を理解している 具体的な課題と関連付けて考察し、説明することができる 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である	○	○	○	7
	単元4 2 章 情報コンテンツの制作 1 節 図形と静止画 【知識及び技能】 情報コンテンツについて、利用方法や表現方法などの基礎的な知識を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 基礎的な知識を理解するとともに、それらを作成・編集する技術を身につける 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的 かつ協働的に取り組む態度を身に 付ける	図形と静止画の情報コンテンツについて、利用方法や表現方法などの基礎的な知識を理解する 情報コンテンツについて、主体的に取り組み、利用方法や表現方法などの基礎的な知識を理解する 情報コンテンツについて、作成・編集するための基本的な技術を身につける 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である	○	○	○	7

2 学 期	単元5 2 節 音声と動画 【知識及び技能】 音声と動画の情報コンテンツについて、利用方法や表現方法などの基礎的な知識を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 情報コンテンツについて、作成・編集するための基本的な技術を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	音声と動画の情報コンテンツについて、利用方法や表現方法などの基礎的な知識を理解する 音声と動画の情報コンテンツについて、利用方法や表現方法などの基礎的な知識を理解する 情報コンテンツについて、主体的に取り組む、基本的な技術を身に付けることができたか 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である	○	○	○	7
	単元6 3 章 企業情報の発信とWebデザイン 1 節 Webページの制作とデザイン 【知識及び技能】 Webページの制作とデザインについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】 Webページ制作について必要な基本的な知識と技術を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	企業情報の発信について有用なWebサイトおよびWebページを考える Webページの制作について理解するとともに、有用なWebサイトおよびWebページを考えることができたか 企業名やロゴマークを適切に表現し、主体的な取り組みが出来たか 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である	○	○	○	7
	単元7 3 章 企業情報の発信とWebデザイン 2 節 Webページ制作の基礎 【知識及び技能】 タグの直接入力による基本的なWebページ制作のための知識と技術を身に付ける身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 CSSとJavaScriptを用いて、目的に応じた適切なWebページを制作する知識と技術を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	基本的なHTMLのタグについて理解する 企業情報の発信について有用なWebサイトを作成する技術を身に付けることができる CSSとJavaScript適用し企業にとって効果的なWebページとして適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組むことができたか 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である	○	○	○	7
	単元8 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	基本的なHTMLのタグについて理解する 企業情報の発信について有用なWebサイトを作成する技術を身に付けることができる CSSとJavaScript適用し企業にとって効果的なWebページとして適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組むことができたか 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である	○	○	○	7
	単元9 3 節 Webページ制作の応用 【知識及び技能】 CMSを利用する意義や利点を理解するとともに適切に用いて、Webサイトを構築する技術を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 CMSを用いて、目的に応じた適切なWebサイトを作成する知識と技術を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	Webサイトを構築する技術を身に付けることができたか CMSの仕組みや利用する利点を理解するとともに適切に用いてWebサイトを構築する技術を身に付けることができたか CMSを効果的に用いて企業にとって情報の発信に有用なWebサイトとして適切に表現ができたか 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である	○	○	○	7
	単元10 4 章 インターネットと情報セキュリティ 1 節 インターネットのしくみ 【知識及び技能】 インターネットの仕組み、ビジネスにおいてインターネットを活用する利点を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 インターネットサービスプロバイダの役割と業務について理解する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	インターネットとネットワークの仕組みを理解しすることができたか 科学的な根拠に基づいてインターネットを活用する利点及びインターネットサービスプロバイダの役割と業務について、課題を発見することができたか 創造的に解決するために、組織の一員として、主体的に取り組む考察できたか 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である	○	○	○	7

3 学 期	単元11 2 節 ハードウェアとソフトウェアの導入 【知識及び技能】 ビジネスにおいてインターネットを活用するために必要なハードウェアとソフトウェアの種類と機能を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータをインターネットに接続する手続と方法について理解する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	ハードウェアとソフトウェアの種類と機能及び接続する手続と方法について理解する インターネットを活用するために必要なハードウェアとソフトウェアの種類と機能を理解できたか 企業活動の改善に対する要求に基づいて適切な環境を構築するための手法を理解できたか 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である	○	○	○	7
	単元12 3 節 情報セキュリティの確保 【知識及び技能】 ビジネスにおいてインターネットを活用する際の情報セキュリティの確保について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 企業における具体的な事例と関連付けて理解する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	情報セキュリティの意義と確保について理解する インターネットを活用する際の情報セキュリティの確保について自ら学び、実務に即して理解できたか 企業における具体的な事例と関連付け、組織の一員として考察することができたか 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である	○	○	○	6
	単元13 5 章 電子商取引とビジネス 1 節 ネットワークを用いたビジネスと電子決済 【知識及び技能】 電子商取引の意義や役割について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 代金決済方法について電子的データの交換を行う電子決済のしくみを習得する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	企業間取引、企業対消費者間の商取引における契約方法について理解する ネットワークを用いたビジネスの方法を理解することができたか 電子決済のしくみ、決済方法についての手順や内容について理解することができたか 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である	○	○	○	5
	単元14 2 節 電子商取引サイトの開店準備 【知識及び技能】 電子商取引サイト開業に必要な手順を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 店舗運営を行うための基礎的な知識を習得する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	電子商取引のしくみや開発に興味を持ち、電子商取引開設のための手順を理解する 電子商取引開設のための手順を理解する 店舗運営を行うための基礎的な知識について理解することができたか 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である	○	○	○	6
	単元15 3 節 Webページ制作と集客方法 【知識及び技能】 電子商取引を行うためのシステム構築方法を理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 Webページ作成ソフトウェアやフリーソフトウェアを使って構築する技法を習得する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	電子商取引を行うためのシステム構築方法を理解できたか 実習に積極的に取り組み、電子商取引を行うためのシステム構築方法を理解することができたか 環境に適したソフトウェアを用いて、電子商取引サイトを構築する技法を考察することができたか 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である	○	○	○	6
	単元16 4 節 ビジネスの創造 【知識及び技能】 インターネットを活用したビジネスの動向や展望について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 新たなビジネスの創造について進化するAIの活用方法について習得する 【学びに向かう力、人間性等】 学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける	インターネットを活用したビジネスの動向について理解することができたか ビジネスの動向についてIoTの実装によって電子商取引市場の進展の可能性について理解することができたか 新たなビジネスの創造について考え、インターネットを活用した新たなビジネスモデルについて理解することができたか 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力がなされているか	【知識・技能】 実務に即した電子商取引サイトの制作や、関連する技術についての理解・習得に努力が必要である 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することに努力が必要である 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作やネットワークを用いたビジネスについて、意欲的な取り組みに努力が必要である	○	○	○	6
							合計
							105